

平成31年度使用

教科用図書採択について

小学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）
採択参考資料

平成30年5月

山梨県教科用図書選定審議会

目 次

□ 平成30年度山梨県教育委員会の教科用図書採択規準について	1
□ 市町村教育委員会が協議して採択する場合の方法について	4
□ 市町村教育委員会の協議が整わない場合の方法について	5
□ 採択の公正確保について	5
□ 県立特別支援学校（小学部及び中学部）の採択について	5
□ 採択参考資料の構成について	6
□ 小学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）採択参考資料	
国語	7
書写	29
社会	49
地図	71
算数	75
理科	101
生活	121
音楽	131
図画工作	141
家庭	151
保健	159

□ 平成30年度山梨県教育委員会の教科用図書採択基準について

教科用図書の採択は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」及び「同法施行令」並びに「同法施行規則」の示すことに基づくほか、次により行う。

- ・ 学習指導要領の趣旨に則り、新やまなしの教育振興プランを踏まえ、県教育委員会の提供する採択参考資料を活用するとともに、児童生徒や地域の実態等を考慮し、十分な調査研究の下に採択を行う。
- ・ 採択地区の市町村教育委員会（市町村の組合を含む。以下同じ）は、地区採択協議会を設け、教科に関する専門的な観点から調査研究を実施し、採択を行う。
- ・ 採択権者は公正確保の徹底を図るとともに、自らの権限と責任において適正な採択を行う。

1 小学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）の採択基準について

学習指導要領の趣旨に則り、新やまなしの教育振興プランを踏まえ、児童に生きる力を育むことを目指し、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む内容や形式になっているか。

(1) 内容

- ① 内容が学習指導要領に示された目標を実現させるために、適切なものであること。
 - ・ 基礎的・基本的な内容及びこれらを活用して課題を解決する体験的な学習や問題解決的な学習の内容が、適切に取り上げられていること。
 - ・ 言語活動を充実する学習が進められるように配慮がなされていること。
- ② 内容の程度が児童の実態に応じていること。
 - ・ 心身の発達段階に適応しており、心身の健康や安全及び健全な情操の育成に必要な配慮を欠くところのないこと。
 - ・ 学年間の関連が配慮され、児童の生活や経験及び興味や関心に応じていること。
 - ・ 発展的な学習内容についての扱いが適切であること。
- ③ 内容の構成・配列が適切であること。
 - ・ 系統的、発展的に構成されており、その組織及び相互の関連は適切であること。
 - ・ 自主的、自発的な学習が進められるように配慮がなされていること。
- ④ 内容が地域の実態に応じ得るように配慮されていること。
 - ・ 各地域の実態や児童の生活に広く適応できるように工夫されていること。

(2) 形式

- ① 表記や表現が適切であること。
 - ・ 表現が児童にとって分かりやすいこと。
 - ・ 文字、用語、記号、単位等の表記が適切であること。
 - ・ 統計資料、挿絵、写真、図表、地図等が信頼性のある適切なものであること。
- ② 学習に必要な資料への配慮が適切になされていること。
 - ・ 資料が学習内容の理解や問題の解決に役立ち、学習意欲を喚起するように工夫され、活用されやすいものであること。

2 中学校用教科用図書「特別の教科 道徳」の採択基準について

学習指導要領の趣旨に則り、新やまなしの教育振興プランを踏まえ、生徒に生きる力を育むことを目指し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度などの道徳性を養う内容や形式になっているか。

(1) 内容

- ① 内容が学習指導要領に示された目標を実現させるために、適切なものであること。
 - ・ 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習の内容が、適切に取り上げられていること。
 - ・ 言語活動を充実する学習が進められるよう配慮されていること。
 - ・ 情報モラルや現代的な課題について学習ができるよう配慮されていること。
- ② 内容の程度が生徒の実態に応じていること。
 - ・ 心身の発達段階に適応しており、心身の健康や安全及び健全な情操の育成に必要な配慮を欠くところのないこと。
 - ・ 学年間の関連が配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じていること。
- ③ 内容の構成・配列が適切であること。
 - ・ 系統的、発展的に構成されており、相互の関連は適切であること。
 - ・ 道徳的実践につなげられるよう配慮されていること。
- ④ 内容が地域の実態に応じ得るよう配慮されていること。
 - ・ 各地域の実態や生徒の生活に広く適応できるよう工夫されていること。

(2) 形式

- ① 表記や表現が適切であること。
 - ・ 表現が生徒にとって分かりやすいこと。
 - ・ 文字、用語、記号等の表記が適切であること。
 - ・ 挿絵、写真等が適切なものであること。
- ② 学習に必要な資料への配慮が適切になされていること。
 - ・ 資料が学習内容の理解や問題の解決に役立ち、学習意欲を喚起するように工夫され、活用されやすいものであること。

3 特別支援教育関係教科用図書「学校教育法附則第9条の規定による図書」の採択基準について

学習指導要領の趣旨に則り、新やまなしの教育振興プランを踏まえ、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じながら、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図り、生きる力を育むことができる内容や形式になっているか。

(1) 内容

- ① 内容が目標を達成させるために適切なものであること。
 - ・ 知識・理解を得させるために適切な配慮がされていること。
 - ・ 関心・意欲・態度を養うために適切な配慮がされていること。
 - ・ 基礎的・基本的な内容が適切に取り上げられていること。
 - ・ 伝統・文化や環境についての学習が進められるよう配慮されていること。
- ② 内容の程度が児童生徒の実態に応じていること。
 - ・ それぞれの児童生徒の障害の状態や発達段階に応じていること。
 - ・ 児童生徒の生活や経験及び興味や関心に応じていること。
- ③ 内容の組織・配列・分量が適切であること。
 - ・ 意欲的な学習が展開できるよう配慮されていること。
- ④ 内容が地域の実態に応じ得るよう配慮されていること。
 - ・ 各地域の実態や児童生徒の生活に広く適応できるよう工夫されていること。

(2) 形式

- ① 表記や表現が適切であること。
 - ・ 表現が児童生徒にとって分かりやすいこと。
 - ・ 図形、挿絵、写真等が児童生徒にとって適切なものであること。
 - ・ 活字等の大きさ・字間・行間が読みやすく工夫されていること。
- ② 装丁が適切であること。
 - ・ 本の大きさ、紙質等が工夫されていること。
 - ・ 製本、装丁が丈夫であること。

□ 市町村教育委員会が協議して採択する方法について

(1) 小学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）及び中学校用教科用図書「特別の教科 道徳」を採択する場合

① 採択地区協議会

採択地区内の市町村は、教科用図書の共同採択を行うため採択地区協議会を設置し、共同調査・研究を行う。

② 採択地区協議会の構成

ア 採択地区協議会の委員は、地区内の市町村教育委員会の教育長及び市町村教育委員会の連合体の代表をもって構成する。また、採択により広い視野からの意見を反映させるため、地域の実情に応じて、保護者代表等を加えるよう努めること。

イ 採択地区協議会に会長及び副会長1名を置き、それぞれ委員の互選により選任する。

③ 採択地区協議会の所掌

地区内の市町村立の小学校において使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）及び中学校において使用する教科用図書「特別の教科 道徳」について協議して教科ごと（同一の教科に複数の分野がある場合には分野ごと）に同一の教科用図書を決定する。

④ 事務局

ア 採択地区協議会の関係事務を処理するため事務局を置くこと。

イ 事務局に事務局員若干名を置くこと。

⑤ 教科用図書の調査

採択地区協議会には、教科用図書の選定に必要な専門的事項について調査研究等を行うための組織を置くものとする。

⑥ 学校の意見

各学校において展示会の開催中に行われた教科用図書の研究に基づく希望意見等を、採択地区協議会で参考にすることができる。

⑦ 市町村教育委員会が単独で採択する場合

採択地区協議会に準じた組織を置いて適切に採択を行うこと。

(2) 特別支援学級を設置する学校の設置者である市町村教育委員会が協議して採択する場合

特別支援学級を設置する学校の設置者である市町村教育委員会は、各学校の実態を把握する中で、適切な教科用図書を採択する。

なお、市町村教育委員会は、それぞれ採択協議会を設置し、十分な調査研究を行うことが望ましい。

□ 市町村教育委員会の協議が整わない場合の方法について

採択の協議が整わない場合の措置

- (1) 採択の協議が整わない場合は、県教育委員会の指導助言を得て、再度協議して決定すること。
- (2) 投票によって採決するようなことは避けること。

□ 採択の公正確保について

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」並びに「同法施行に伴う事務処理に関する通知」に基づいて、県教育委員会は教科用図書採択に関する公正確保についての指導を行うこと。また、市町村教育委員会等各採択権者はそれを受け、教科用図書採択の公正確保に努めること。

(1) 指導の方法及び内容について

① 文書等による指導

「教科書採択における公正確保の徹底等について」等の文書指導を行い、県教育委員会及び市町村教育委員会を通して、各学校における公正確保についての趣旨徹底を図るようすること。

② 説明会等による指導

教科用図書採択に関する説明会等を通して、教科用図書採択の公正確保についての趣旨徹底を図るようすること。

③ 訪問、面接等による指導

指導主事による学校訪問等の折、教科用図書採択の公正確保についての趣旨徹底を図るようすること。

(2) 情報公開について

採択事務の円滑な遂行及び採択の公正確保に支障を来さない範囲内で、採択結果及びその理由をはじめとする教科書採択に関する情報の積極的な公開を行うこと。

□ 県立特別支援学校（小学部及び中学部）の平成31年度使用教科用図書の採択について

県教育委員会は、県立特別支援学校（小学部及び中学部）において使用する教科用図書について、学校ごとに校内調査委員会を設置し、教育委員会の示した資料を基に調査研究を行うよう指導し、その結果を参考にして、採択を行うものとする。

□ 採択参考資料の構成について

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

文部科学省作成（平成30年4月）の「小学校用教科書目録（平成31年度使用）」に登録された小学校用教科用図書の種目、番号・発行者、教科用図書の記号・番号、掲載順に則って記載している。

2 調査研究の観点

山梨県教育委員会の教科用図書採択基準を基に、教科ごと原則として、「内容」と「形式」に則して5項目を設定している。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行う。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるように配慮する。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにする。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいように配慮する。

II 採択参考資料の見方について

1 教科書の発行者の記載順序

2 学年、領域、単元等の配列と構成

3 学習指導要領に基づいた調査研究項目

4 記述表現、資料中の記号、語句等の説明

5 発展的な学習内容の取り扱い

等について、各教科・分野の特性に応じて、採択参考資料の見方について示している。

○小学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）を採択する採択権者に供する採択参考資料について
小学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）については、新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書は作成されておらず、平成25年度に検定を経た教科用図書から採択することとなる。そのため、採択参考資料については、平成26年度に作成された資料を、平成31年度使用小学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」以外）の採択参考資料とする。

以上のことから、本資料は、平成26年度山梨県教科用図書選定審議会において、平成27年度使用小学校用教科用図書選定のために作成した採択参考資料を基に作成している。

平成31年度使用

小学校用教科用図書(「特別の教科 道徳」以外)

採択参考資料

国 語

番号・発行者	教科書の記号・番号
2 東京書籍	国語 131・132・231・232・331・332 ・431・432・531・631
11 学校図書	国語 133・134・233・234・333・334 ・433・434・533・534・633・634
15 三省堂	国語 135・136・235・236・335・336 ・435・436・535・536・635・636
17 教育出版	国語 137・138・237・238・337・338 ・437・438・537・538・637・638
38 光村図書	国語 139・140・239・240・339・340 ・439・440・539・639

国 語

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東京書籍 11 学校図書 15 三省堂 17 教育出版 38 光村図書

2 調査研究の観点

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることができるよう、言語活動例が適切に取り上げられているか。
- (2) 内容の程度や学年間の関連が、心身の発達に応じて配慮され、児童の生活や経験及び興味や関心に応じて、適切なものとなっているか。
- (3) 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の構成・配列が適切であり、自主的な学習ができるように配慮されているか。
- (4) 日常生活に関連のある身近な資料や、伝統的な作品が適切に取り上げられており、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することに配慮しているか。
- (5) 文字や表記等が適切で、漢字、語句、語彙、文法、語法等、言語の教育への配慮がなされており、写真や図表等も学習意欲を喚起するように工夫され、活用されやすいものであるか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 各教科用図書について、偏りのない公平な立場で調査研究に当たった。
- (2) 調査研究結果を見やすくするため、会社別、学年別に単元・教材の配列を整理した。また、概要も示し教科書の特色が明確になるように配慮した。
- (3) 事実を正確に捉え、調査員の主観に陥らないよう、調査研究した内容について、調査員で協議の上、記述した。
- (4) 採択参考資料の作成に当たっては学習指導要領に基づいて、教科用図書の単元・教材の特徴が比較できるように教科用図書全体を調査研究した。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順とした。

2 採択参考資料の構成

採択参考資料は、調査票Ⅰ（概要）、調査票Ⅱ－1、調査票Ⅱ－2の3つの調査票ごと、記載順序に従って配列してある。

3 調査票Ⅰ（概要）の調査研究項目は、調査研究の観点(1)～(5)についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…(3)(4)(5)
領域別の構成（頁数・割合・合計頁数）、総頁数、読書単元、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の単元数、資料、付録の頁数
- (2)～(5) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項、ABC各領域の指導について…(2)(3)
- (6) 言語活動例について…(1)
- (7) 読書指導について…(4)
- (8) その他の特色について…(2)(3)の発展的な内容の取扱い(4)(5)

4 調査票Ⅱの調査研究項目「単元名等」「言語活動例」は、調査研究の観点(3)について、検討する際の参考とするものである。

5 調査票Ⅱの番号、記号について

(1) 調査研究の観点(1)～(4)の詳細が分かるよう、単元、題材ごとの特徴が分かるよう次の記号を付した。左端に3領域・1事項のどの指導にかかわるかを□で示した。

☐ ……伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の取り立て指導

△ ……話すこと・聞くことの指導、□ ……書くことの指導、○ ……読むことの指導

■ ……第1章総則、第4の2の(9)(10)の配慮事項にかかわる内容、及び他教科との関連の強い内容。(9)情報教育(10)学校図書館)

● ……資料、付録として示された教材

(2) 使用教材の種類、各領域の該当する言語活動例、読書指導については、右端に次のように□で示した。

例 ……各領域で示された言語活動例に該当すると思われるものには、記号を付した。

説 ……説明的文章＝日記、記録文、報告文、意見文、論説文、評論文等

文 ……文学的文章＝物語、随筆、伝記、脚本、民話、狂言、童話、詩、俳句、短歌等

(読) ……読書指導

概 要

1 概括的な調査研究

学年	総頁数	教材数	領域区分の量 (頁数)									伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の頁数				資料付録の頁数
			A話すこと・聞くこと		B書くこと		C読むこと					伝統文化				
			頁数	割合	頁数	割合	頁数	割合	説明	文学	読書	伝統文化	割合	国語の特質	割合	
1	246	53	40	16%	28	11%	137	56%	22	107	8	8	3%	37	15%	66
2	274	40	30	11%	50	18%	169	62%	46	111	12	27	10%	30	11%	76
3	366	40	25	9%	44	16%	164	60%	45	107	12	34	12%	26	9%	92
4	270	38	25	9%	46	17%	159	59%	46	101	12	30	11%	19	7%	88
5	239	32	41	17%	35	15%	156	65%	48	96	12	8	3%	9	4%	59
6	223	31	36	16%	32	14%	148	66%	41	95	12	11	5%	13	6%	67
合計	1618	234	197	8%	235	15%	933	61%	248	617	68	118	8%	134	9%	448

*ABC各領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の頁数の割合は、全体の数のうち何%に当たるかを示している。小数点以下を捨五入しているため、単純合計が100%にならない場合もある。
 *表中の教材数について、1つの単元の中に複数の教材を含む場合は分けて数えている。ただし、古典などで複数の教材を同一のねらいでまとめている場合はそのまとまりで1つとしている。
 *「C読むこと」の「読書」の欄は、教科書が読書指導としている頁数を挙げている。それらの中で「C読むこと」のねらいも持たせていると判断できる場合には、文種(説明、文学)の合計にも加算している。

2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指準について

○伝統的な言語文化については、1年「はかしばなしをたのしもう」、2年「言いつたえられているお話を知ろう」「おばあちゃんに聞いたよ」、十二支、春の七草、小の月、いろはうた、3年「俳句に親しもう」、「わらい語を楽しもう」4年「『ことわざブック』を作ろう」「百人一首を声に出して読んでみよう」、5年「古文を声に出して読んでみよう」、「古文を親しもう」、6年「漢文を読んでみよう」「いしへの言葉に学ぶ」が掲載されている。
 ○伝統的な言語文化として扱われている教材は、1年「花さかじいさん」、2年「たいだらぼう」「やまたのおろち」「いよばの白うさぎ」、3年俳句「白ねずみ」「はとが聞くから」4年は、ことわざ・故事成語、百人一首、十首、5年「竹取物語」「伊弉諾」「おくのほろ道」「枕草子」、6年「論語」「十七夜の意法」「春曉」、名言などである。
 ○新出漢字については、全学年とも□で、読み替えについては、・印で示されている。共に出てきたページの欄外に掲載されている。筆順は、1年生は新出の下欄に、2年～6年生は巻末に示されている。前学年で学習した漢字は「漢字の学習 ○年(前学年)で習った漢字」として、短文で学習できるようになっている。
 ○各学年巻末に「新しく習った漢字」、「○学年で習った漢字」(前学年で習った漢字)一覧が読み方、使い方(1, 2年は書き順も)とともに示されている。1, 2年は上巻に「○学年上までに習った漢字」一覧が、読み方、使い方、書き順とともに示されている。
 ○言語に関する小教材は、1年で文字・表記・文の構成、2年で、主語と述語、複合語、3年で国語辞典の活用、漢字の部首、ローマ字、修飾語、慣用語、4年で漢字の音と訓、漢字辞典の活用、ローマ字(人名地名、コンピューター入力)、故事成語、接頭語、ことわざ、5年で、漢字の由来、敬語、熟語の構成、6年で熟語の構成、平仮名・片仮名の由来、などを取り上げている。
 ○ローマ字は3年上巻、4年下巻で取り扱われている。
 ○学年毎当分の漢字へのルビ振りは、1年下巻に初出している。

3 話すこと・聞くことの指準について

○単元・題材の構成については、はじめに、この単元の目標と学習内容を提示し、次に、学習活動の詳しい内容の説明や、学習活動の様子の例が示され、最後には、その活動を振り返って学習を評価する流れになっている。「言葉の力」では学習のポイントが提示してある。また、5年、6年に「読むこと」「話すこと・聞くこと」の複合単元が一つずつ設定されており、「説明会」「プレゼンテーション」をするために、教材や資料を読むという構成になっている。
 ○扱われている様子は、あいさつ、友達に話す、お話を聞いて大事なことを友達に伝える、思い出を話す、よく聞いて話す、大事なことを順序よく説明する(1年)、話して説明する、大事なことを落とさず聞く、話して紹介する、興味を持って聞く、話して考えをまとめる、わかりやすく説明する(2年)、筋道を立てて話す、話のまとまりに気をつけて聞く、司会の進行に沿って話し合う、集めた資料を活用した発表(3年)、案内する、話の組み立てを意識して聞く、自分の役割を考えてクラスで話し合う、自作ポスターを活用した発表(4年)、意見と理由を正しく聞き取る、討論、資料を活用して説明する、推薦する(スピーチ)(5年)、意見と理由とのつながり聞き取る、問題を解決するために話し合う、プレゼンテーション、意図が伝わるように工夫して話す(スピーチ)(6年)である。

4 書くことの指準について

○単元・題材の構成については、書くことの言語活動を扱った単元の他に技能練習を中心とした単元がある。単元の冒頭には、身に付けた力や言語活動の内容が示され、続いて活動の順序に従って解説がされている。また、最初に既習事項の活用を促す「つながる」があり、単元末には、書くことに必要な基本的事項が載った「言葉の力」が明示されている。1年から5年の学年末には、1年間に書いてきた文章を読み返し、文集を作るといった単元が設定されている。
 ○扱われている文種は、1年、絵日記、観察記録文、報告文、物語、ことばあそびうた、2年、観察記録文、報告文、手紙、物語、紹介文、詩、説明文、3年、紹介文(自己紹介)、レポート、物語、案内状、詩、説明文、4年、報告文、新聞、物語、依頼状・礼状、連時、ポスター、5年、詩、ポスター、物語、俳句、リーフレット、6年、随筆、意見文、物語、俳句、報告文である。

5 読むことの指準について

○単元・題材の構成については、取り組む言語活動を単元名として示し、てびきでは「学習課題(活動目標)」を提示し、取り組む学習活動を示している。単元で付けた力のポイントが「言葉の力」でまとめられている。
 ○扱われている文種は、1年生「説明的文章3、文学的文章9」、2年生「説明的文章4、文学的文章7」、3年生「説明的文章5、文学的文章7」、4年生「説明的文章5、文学的文章7」、5年生「説明的文章5、文学的文章7」、6年生「説明的文章5、文学的文章8」である。

6 言語活動例について

○掲載された単元や題材・教材は、学習指導要領の各領域で示された言語活動例やそれ以外の言語活動を通して学習させる設定になっている。どのような言語活動が取り上げられているかについては、学習指導要領の内容に示されたものに該当するものは、調査票Ⅱの各領域の単元の欄に○のように記号を付して示した。記号のないものは、学習指導要領の当該学年、領域で示された言語活動例のないものである。

7 読書指準について

○全学年「読むこと」単元の教材の後に「こんな本もいっしょに」というコーナーがあり、その教材の関連図書が紹介されている。
 ○1年下巻、2～4年各上巻、5～6年で「本は友達」という読書単元が一つずつ設定されている。
 ○2～4年各上巻、5～6年に、「図書館へ行こう」という、図書館の採用の仕方を学習する単元が一つずつ設定されている。
 ○各巻末付録に「読書の部屋」として2作品ずつ(1年上巻は1作品)掲載されている。

8 その他の特色について

○教科書の版は全てB5版で、1年～4年までは上下巻の2分冊である。
 ○2～6年の巻頭、折込みページ見開きで、学習の見通しをもたせたり学習を振り返らせたりするための「国語の学習を進めよう」「どんな学習をするのかな」を領域別に提示している。
 ○5年、6年に「読むこと」「話すこと・聞くこと」の複合単元が一つずつ設定されている。
 ○各巻末には、新しく習った漢字(画数・筆順・読み方・使い方)と前学年までに習った漢字が掲載してある。
 ○1年下巻～6年下巻各巻に前学年の既習漢字を扱った「漢字の練習」というページが3～5ページずつある。
 ○1年下巻～6年の単元末、各領域のまとめが「言葉の力」というコラムで示されており、各巻末付録「言葉の世界」に「『言葉の力』のまとめ」、2年～4年各下巻、5～6年の各巻末付録「言葉の世界」に他の学習や生活に生かすための「『言葉の力』を活用しよう」が設けられている。

概 要

1 概括的な調査研究

学年	総頁数	教材数	領域区分の量 (頁数)									伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の頁数				資料付録の頁数
			A話すこと・聞くこと		B書くこと		C読むこと									
			頁数	割合	頁数	割合	頁数	割合	説明	文学	読書	伝統文化	割合	国語の特質	割合	
1	238	50	30	13%	32	13%	110	46%	30	74	6	4	2%	50	21%	34
2	226	47	22	10%	28	12%	117	52%	39	70	8	6	3%	49	22%	64
3	228	48	34	15%	26	11%	107	47%	28	69	10	10	4%	54	24%	70
4	244	48	32	13%	34	14%	128	52%	39	79	10	14	6%	56	23%	66
5	258	48	20	8%	34	13%	136	53%	36	90	10	20	8%	45	17%	78
6	232	29	18	8%	44	19%	111	48%	32	69	10	10	4%	45	19%	106
合計	1426	270	156	11%	198	14%	709	50%	204	451	54	64	4%	299	21%	418

*ABC各領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の頁数の割合は、全体の数のうち何%に当たるかを示している。小数点以下を四捨五入しているため、単純合計が100%にならない場合もある。

*表中の教材数について、1つの単元の中に複数の教材を含む場合は分けて数えている。ただし、古典などで複数の教材を同一のねらいでまとめている場合はそのまとまりで1つとしている。

*「C読むこと」の「読書」の欄には、教科書が読書指導としている頁数を挙げています。それらの中で「C読むこと」のねらいも持たせしていると判断できる場合には、文種(説明、文学)の合計にも加算している。

2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指導について

○伝統的な言語文化については、1年「わかしのものをよみましょう」、2年「わかしのものがたりをたのしもう」、3年「言葉のリズムを感じてみよう」、4年「言葉から風景を想おう」「声に出して短歌のリズムを楽しもう」、5年「言葉の文化に親しもう」、6年「言葉の文化を体験しよう」とされている。いずれも上巻である。

○伝統的な言語文化として扱われている教材は、1年「うみの水はなぜしょっぱい」、2年「ヤマタノオロチ」、3年俳句、4年百人一首、短歌、5年「宇治拾遺物語」「文語詩(やしの実)」、6年「狂言(絵山)」、漢詩である。

○新出漢字については、1年に出ているページの欄外に書き順と共に示され、巻末に一覧がある。2年生以上は単元の最後にまとめて示されており書き順は巻末に示されている。全学年とも各単元の最後に筆順付きで示されている。また、新出漢字には、教材文中ルビが振られている。

○「0年生(前学年)で学習した漢字」として、前学年で学習した漢字を読んだり、使ったりできるよう、その熟語を含む短文として10カ所程度に分けて掲載している。

○各学年巻末に「この本で習った漢字」、「これまでに習った漢字」一覧が示されている。

○言語に関する小教材は、「言葉のきまり」「言葉の泉」にすべての領域の学習に必要な言語の知識がまとめられている。また、「漢字の部屋」では漢字自体の構成や成立背景をまとめている。主な項目は、1年で文字、表記、文の構成。2年で、音や様子を表す言葉、漢字の書き方、主語と述語、熟語。3年で動きや様子をくわしくする言葉、漢字の音読み・訓読み、国語辞典の活用、漢字の部首、ローマ字、慣用句、同じ音の漢字・同じ訓の漢字。4年で主語・述語・修飾語、漢字の部首の意味、漢字辞典の活用、接続語、ことわざ・故事成語・四字熟語、熟語の構成。5年で敬語、和語・漢語・外来語、漢字の成り立ち、慣用句、漢字の音読み・訓読み、日本語の文字の歴史、動作の状態や意味をくわしくする言葉、6年で接続語、漢字の成り立ち、熟語の構成、仮名遣いを取り上げている。

○ローマ字は3年上下巻で扱われている。

○学年を超えての漢字へのルビ振りは、1年下巻に初出している。

3 話すこと・聞くことの指導について

○単元・題材の構成については、技能練習を中心とした小教材と、比較的大きな言語活動のある大教材とに分かれている。大教材では、はじめにこの単元で学習する内容を提示し、「この単元の学習の流れ」が提示されている。次に、学習活動の詳しい内容の説明や、学習活動の様子の例が学習の流れに沿って示され、最後には、その活動を振り返って学習を評価する流れになっている。

○扱われている様子は、あいさつ、話を聞く、声の体操、友達と話す、事例を考えて話す、伝言ゲーム、わかるように話す(発表会)(1年)、順序よく話す、話し合って考えをまとめる、相手にわかりやすく発表する(2年)、メモを見ながら質問する、取材してメモを取る、話し合いの柱に沿って話し合う、スピーチ(3年)、感想を伝え合う、クラスでの話し合い、解説を説明する(4年)、構成を工夫しながら話す、メモをしながら聞く、聞き返す、資料を活用しながら議論、効果的に伝える方法を考え、発表(5年)、効果的な構成を考えながら話す、いろいろな立場から課題を分析して話し合う、パネルディスカッション(6年)である。

4 書くことの指導について

○単元・題材の構成については、「書くこと」の言語活動を扱った単元と基礎的・基本的技能や内容を演習的に取り立てている「書き方・まとめ方」「読むために書く」という小教材とに分かれている。また、単元の冒頭には、言語活動の内容やめあて、「単元の学習の流れ」の一覧が示され、それに続いて活動の手順や活動例が示されている。

○扱われている文種は、1年、報告文、絵日記、観察記録文、詩、手紙(はがき)、説明文、物語、2年、手紙、説明文、詩、物語、報告文、3年、案内状、新聞、詩、物語、報告文、4年、依頼状・お礼状、報告文、詩、物語、解説文、5年、手紙、随筆、短歌、俳句、脚本、紹介文、6年、電子メールや送付状、レポート、連珠、物語、卒業レポートである。

5 読むことの指導について

○単元・題材の構成については、単元名を言語活動で示し、てびきでは、学習のめあてを示し、表現活動の疑問で表現につなげている。単元で付けたソラのポイントを「言葉のカギ」でまとめている。

○扱われている文種は、1年生「説明的文章5、文学的文章12」、2年生「説明的文章7、文学的文章12」、3年生「説明的文章6、文学的文章12」、4年生「説明的文章6、文学的文章12」、5年生「説明的文章5、文学的文章13」、6年生「説明的文章5、文学的文章12」である。

6 言語活動例について

○掲載された単元や題材・教材は、学習指導要領の各領域で示された言語活動例やそれ以外の言語活動を通して学習させる設定になっている。どのような言語活動が取り上げられているかについては、学習指導要領の内容に示されたものに該当するものは、調査票Ⅱの各領域の単元の欄に「例ア」のように記号を付して示した。記号のないものは、学習指導要領の当該学年、領域で示された言語活動例でないものである。

7 読書指導について

○2年～6年各上巻に、「読書を楽しもう」という単元が一つずつ設定されている。

○全学年各下巻に、「読書を広げよう」という単元が一つずつ設定されている。

○全学年「読むこと」単元の教材の後に「本と友達」というコーナーがあり、その教材の関連図書が紹介されている。

○1年下巻、2年～6年各巻頭に「みんなで本を楽しもう」というページがあり、巻末「資料編」の教材と学習活動がつながっている。

8 その他の特色について

○教科書の版は全てB5版で、全学年、上下巻の2分冊である。

○「話すこと・聞くこと」「読むこと」の複合単元が、1年～2年各下巻に一つずつ、3年～6年上下各巻に一つずつ設定されている。

○2年～6年各上巻巻頭、コミュニケーションによる「学級作り」のページがある。

○各巻末「資料編」には、「国語のカギ 話す・聞く・書く」として、国語科や他教科に関連する言語活動のポイントを示している。

○各巻末に、この本で学習した漢字(画数・筆順・読み方・使い方を示している)・前学年までに学習した漢字が掲載されている。

○2年～6年各上巻巻末「資料編」に、学校図書館や公民図書館、インターネットなどの活用の仕方が示されている。

○各巻末に「保護者の方へ」というページがあり、この教科書でめざすことが示されている。

○凸版点字表が掲載されている。(4年下巻)

概要

1 構造的な調査研究

学年	総頁数	教材数	領域区分の量 (頁数)									伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の頁数				資料付録の頁数
			A話すこと・聞くこと		B書くこと		C読むこと					伝統文化		国語の特質		
			頁数	割合	頁数	割合	頁数	割合	説明	文学	読書	頁数	割合	頁数	割合	
1	207	47	25	12%	24	12%	106	51%	24	76	6	10	5%	42	20%	53
2	206	36	18	9%	32	16%	116	56%	24	82	10	12	6%	36	17%	47
3	224	38	20	9%	51	23%	108	48%	24	78	6	2	1%	25	11%	54
4	231	38	20	9%	38	17%	114	51%	24	88	2	2	1%	34	15%	47
5	236	35	32	14%	32	14%	116	49%	34	70	12	16	7%	40	17%	56
6	242	36	20	15%	36	15%	128	53%	20	102	6	18	7%	32	13%	68
合計	1346	230	135	10%	213	16%	688	51%	150	496	42	60	4%	209	16%	325

*ABC各領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の頁数の割合は、全体の数のうち何%に当たるかを示している。小数点以下を四捨五入しているため、単純合計が100%にならない場合もある。

*表中の教材数について、1つの単元の中に複数の教材を含む場合は分けて数えている。ただし、古典などで複数の教材を同一のねらいでまとめている場合はそのまとまりで1つとしている。

*「C読むこと」の「読書」の欄は、教科書が読書指導としている頁数を挙げている。それらの中で「C読むこと」のねらいも持たせていると判断できる場合には、文種(説明、文学)の合計にも加算している。

2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化については、1年「わかしほなしをたのしもう」、2年「わかしほをたのしもう」、3年「声に出して読もう一俳句」、4年「声に出して読もう一短歌」「故事成語の物語」、5年「声に出して読もう外国の詩」「狂言しびり」「句会を楽しむ」「情景を思いうかべて言読しよう」、6年「場面の様子と自分の思いを書き分けよう 自由な発想で一随筆」。「声に出して読もう一漢文」「短歌を作る」とされている。
- 伝統的な言語文化として扱われている教材は、1年「わかしほの白ウサギ」、2年「かさこじぞう」、3年俳句「カルダを作ろう」、4年「落語一じゅけい」、短歌、故事成語、5年狂言(しびり)、詩(雪土)、俳句、6年は漢文(論語)、短歌である。
- 新出漢字については、筆順とあわせて、1年生は単元の最後に、2～6年生は、「新しい漢字を学ぼう1～10」として見開き2ページずつ10回に分けて示されている。「〇年生(前学年)で学んだ漢字」として、前学年で学んだ漢字を使った熟語を見開き2ページずつ5回に分けて示している。
- 各学年巻末に「(該当学年)年生で学んだ漢字」「身に付けた漢字(これまでに学んだ漢字)」、「〇らがな・かたかな・ローマ字(3～6年)の表」の一覧が示されている。
- 言語に関する小教材は、1年で文字、表記、文の構成、漢字の始まり、2年で、主題と述語、3年生で、漢字の部首、ローマ字、修飾語、4年で、接続語、熟語、ローマ字(長音・促音・撥音・複合語・人名・地名の表記)、故事成語、5年で、仮名遣いのみまり、複合語・熟語の構成、敬語、言葉の由来(漢語・和語・外来語)、ことわざ、慣用句、6年で、漢字の形と読みと意味(同じ部首・同じ音)、漢字の成り立ち、敬語、日本語の歴史などを取り上げている。2～6年までの各学年に、国語辞典の活用に関する教材を、3年以降では、漢字辞典の活用に関する教材を番列してある。
- ローマ字は「3年国語」「4年国語」で扱われている。
- 学年配当外の漢字へのルビ振りは、1年下巻に初出している。

3 話すこと・聞くことの指導について

- 単元・題材の構成については、技能練習を中心とした小教材と、比較的大きな言語活動のある大教材に分かれている。大教材では、はじめにこの単元で学習する内容を提示し、単元の学習の流れの概要が提示されている。次に、学習活動の詳しい内容の説明や、学習活動の様子の例学習の流れに沿ってが示され、最後には、その活動を振り返って学習を評価する流れになっている。「覚えておきましょう」として学習のポイントがまとめて提示されている。別冊「学びを広げる」には、「言葉のポケット」の中で、声を出す(1年)、一対一で話するとき(3年)、グループでの話し合い(4年)、話し合いでの司会者の役割(5、6年)についてまとめている。
- 扱われている様子は、あいさつ、話す(友達・先生・みんな)、おもしろかったところを話す、声に出して読む、理由を話す、尋ねる・答える(1年)、聞きやすいように話す、声に出して読む(詩)、順序がわかるように話す、電話で伝える、話題に沿って話し合う(2年)、筋道を立てて話す、声を合わせて読む(二人組・グループ)役劇を考えながら話し合う(グループ)、話の中心に気をつけて聞く(インタビュー)(3年)、スピーチ、聞く人のことを考えて話す、落語、進行に沿って話し合う、アンケートの結果を比べて話し合う、事例を整理して発表する(4年)、スピーチ、狂言、資料を効果的に使って話す、話し合い(グループ・クラス)(5年)、スピーチ、自分たちの地域の方言や発音の特徴などに気づく、推薦発表会を開く(6年)である。

4 書くことの指導について

- 単元・題材の構成については、単元の最初に、身に付けたい方や言語活動の内容が示され、活動の順序に従って解説がされている。書くことに必要な基本的事項が「覚えておきましょう」に記されている単元もある。単元の最後には、「わたしの本だな」で、その単元の「書くこと」に関わる本が紹介されている。また、「学びを広げる」という別冊資料に、書くことの言語活動に関わる資料が掲載されている。
- 扱われている文種は、1年、絵日記、観察記録文、読書カード、物語、報告文、2年、手紙、説明文、観察記録文、報告文、物語、詩、3年、案内状、物語、紹介文、報告文、カルタ、4年、絵図状・札状、詩、ガイドブック、新聞、故事成語の物語、自分への手紙、5年、報告文、物語、新聞、レポート、俳句、意見文、6年、随筆、意見文、広告、短歌である。

5 読むことの指導について

- 単元・題材の構成については、単元名を、学習のねらいとして示している。また、学習のねらいにつながる読みの課題を設定するとともに、言語活動の手順を示している。他の学びや生活の中でも役に立つことを「覚えておきましょう」でまとめている。
- 扱われている文種は、1年生「説明的文章3、文学的文章10」、2年生「説明的文章3、文学的文章11」、3年生「説明的文章3、文学的文章9」、4年生「説明的文章3、文学的文章11」、5年生「説明的文章3、文学的文章12」、6年生「説明的文章3、文学的文章11」である。

6 言語活動例について

- 掲載された単元や題材・教材は、学習指導要領の各領域で示された言語活動例やそれ以外の言語活動を通して学習させる設定となっている。どのような言語活動が取り上げられているかについては、学習指導要領の内容に示されたものに該当するものは、調査票Ⅰの各領域の単元の欄に「例」のように記号を付して示した。記号のないものは、学習指導要領の当該学年、領域で示された言語活動例以外のものである。

7 読書指導について

- 2年～6年各巻頭に「図書館へ行こう」というページがあり、図書館の利用の仕方が掲載されている。
- 各学年「読むこと」単元の教材の後に「わたしの本だな」というコーナーがあり、その教材の関連図書が紹介されている。
- 1年下巻末、2年～6年の別冊「学びを広げる」に「読書の森」というページがあり、各学年に応じたいろいろなジャンルの図書が紹介されている。

8 その他の特色について

- 教科書の冊子は全てB5版である。1年は上下巻の2分冊、2年～6年は「小学生の国語」と「学びを広げる」の2分冊である。「学びを広げる」には、「言葉のポケット」「国語辞典や他教科に関連する言語活動のポイント、漢字や言葉に関する資料」・「読書の森」(学年に応じた図書の紹介、読書教材、古典教材など)などに関わる資料等が掲載されている。
- 2～6年の巻頭、見開きで、学習の見通しをもたせたり学習を振り返らせたりするための「〇年生で学習すること」を傾斜欄に提示している。
- 単元名、教材名に付随して、「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域以外に、「調べる」「言葉」という見出し語が用いられている。
- 各単元の終末部に「新しい漢字を学ぼう」というページがあり、漢字の読み書きの練習問題・画数・筆順・読み方・使い方を示している。
- 2～6年の各巻末に、「覚えておきましょう」のまとめで、既習内容のポイントがまとめられている。
- 各巻末には、「〇年生で学ぶ漢字」(画数・読み方を示している)と前学年までに学習した漢字が掲載されている。
- 点字表が掲載されている。('学びを広げる 4年')

概要

1 概括的な調査研究

学年	総頁数	教材数	領域区分の量 (頁数)									伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の頁数				資料付録の頁数
			A話すこと・聞くこと		B書くこと		C読むこと					伝統文化				
			頁数	割合	頁数	割合	頁数	割合	説明	文学	読書	割合	割合	割合	割合	
1	260	52	33	13%	44	17%	162	62%	32	115	15	14	5%	29	11%	24
2	260	44	20	8%	30	12%	166	64%	30	126	10	32	12%	29	11%	36
3	260	45	24	9%	31	12%	160	62%	32	120	8	18	7%	30	12%	40
4	262	42	26	10%	41	16%	154	59%	34	112	8	34	13%	36	14%	48
5	250	40	24	8%	28	11%	166	66%	22	140	4	20	10%	33	13%	58
6	238	39	18	8%	20	12%	162	68%	56	106	0	8	3%	39	17%	90
合計	1530	262	145	9%	194	13%	970	63%	206	719	45	126	8%	196	13%	296

*ABC各領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の頁数の割合は、全体の量のうち何%に当たるかを示している。小数点以下を四捨五入しているため、単純合計が100%にならない場合もある。

*表中の教材数について、1つの単元の中へ複数の教材を含む場合は分けて数えている。ただし、古典などで複数の教材を同一のねらいでまとめている場合はそのまとまりで1つとしている。

*「C読むこと」の「読書」の欄には、教科書が読書指導としている頁数を挙げる。それらの中で「C読むこと」のねらいも持たせていると判断できる場合には、文種(説明、文学)の合計にも加算している。

2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指釈について

- 伝統的な言語文化については、1年「はめしのお話をしよう」、2年「はめしのお話をしよう」3～4年「日本語のひびきにふれよう」「日本の文化に親しむ」、5～6年「日本語のひびきを味わう」「日本の文化を考えよう」とされている。
- 伝統的な言語文化として扱われている教材は、1年「天にのぼったおけやさん」、2年「かぞえた(わらべうた)」「いのはのしろうさぎ」、3年「俳句に親しむ」、4年「ことわざ・慣用句」(「竹取物語」)、「平安物語」、6年「春はあけぼの」(「枕草子」)、「言葉の時代とともに」(「坊っちゃん」)、「杜子春」である。四季の言葉や言葉遊びの小教材として1年「しりとりをしよう」、2年「いのは」を知ろう」「七章を覚えよう」、3年「きせつ言葉を集めよう-春・夏-、-秋・冬-」、4年「月のつく言葉」「もみじ」、5年「鳥」「折句を作ろう」、6年「雨」「回文を作ろう」が位置づけられている。
- 新出漢字については、全学年とも○印で、読み替えについては、●印で併記に示されている。筆順は、1年下巻までが新出したページに、2～6年は巻末に示されている。「○年生(前学年)で学んだ漢字」として、前学年に学んだ漢字を使った熟語を4～5回に分けて示している。
- 各学年巻末に「この本で習った漢字」、「これまでに習った漢字」一覧が示されている。
- 言語に関する小教材は、1年で文字・表記・文の構成、2年で、熟語、主語と述語、音や様子を表す言葉、3年で国語辞典の活用、漢字の音と訓、ローマ字、ことわざ・慣用句、修飾語、漢字の部首、4年で漢字の部首、漢字辞典の活用、漢字の音と訓、修飾語、接頭語、故事成語、熟語の置き方、5年で仮名遣い、複合語、業語の構成、和語・漢語・外来語、敬語、漢字の成り立ち、6年で、同じ訓をもつ漢字、日本語の歴史などを取り上げている。どの学年にも漢字学習のための「漢字の広場」が位置づけられている。
- ローマ字は3年上巻で扱われている。
- 学年配当外の漢字へのルビ振りは、1年下巻に初出している。

3 話すこと・聞くことの指釈について

- 単元・題材の構成については、技能練習を中心とした小教材と、比較的大きな言語活動のある大教材とに分かれている。大教材では、はじめにこの単元で学習する内容を提示し、「学習の進め方」として学習の流れの概要が提示されている。次に、学習活動の詳しい内容の説明や、学習活動の様子の例が示され、「ここが大事」として学習のポイントが示されている。最後には、「振り返り」でその活動を振り返って学習を評価する流れになっている。
- 扱われている様子は、思い出し話、聞いたことをメモに書く、聞きたいことを決めて話し合う、メモを見ながらクラスで伝える(1年)、声のものをさしを使って話す、理由を話す、話す人の方を向き、わかったことにはうなずきながら聞く、話し合いで考えを一つにまとめる、順序を表す言葉を使って説明(2年)、筋道を立てて話す、インタビューをする、話の中心に気を付けて聞く、意見や感想を伝え合う(グループ)、メモをもとに発表する(グループ→クラス)、資料を活用した発表(3年)、共通点と相違点を整理して話す、話の中心や思ったことをメモしながら聞く、クラスでの話し合い(司会者、発言者)、ポスターを活用した発表(4年)、要約して伝える、推薦するものを話す、意見の共通点と相違点を聞き分ける、意見交換会、資料を使った効果的な発表(プレゼンテーション)(5年)、引用して話す、関連づけて意見を述べ合う(グループ)、パネルディスカッション(6年)である。

4 書くことの指釈について

- 単元・題材の構成については、2年生以上の上巻に、「書くこと」の日常化を図るための小教材が設定されている。また、単元の冒頭には、「学習の進め方」という活動の流れ図や言語活動の内容やねらいが書かれており、それに続いて活動の手順や参考になる活動例が提示されている。最後には「振り返り」で、自己評価の観点も示されている。
- 扱われている文種は、1年、報告文、絵日記、説明文、物語、観察記録文、2年、日記、手紙、報告文、詩、物語、観察記録文、説明文、3年、説明文、依頼状・礼状、報告文、詩、4年、詩、報告文、学級新聞、区鑑、物語、5年、ポスター、意見文、俳句、短歌、報告文、6年、パンフレット、随筆、物語、意見文である。

5 読むことの指釈について

- 単元・題材の構成については、導入部で目的とめあてをもち、展開部で目的に応じて読み深め、活用部で学んだ読みの力を活用するという構成になっている。単元で付けた力のポイントを「ここが大事」でまとめている。
- 扱われている文種は、1年生「説明的文章4、文学的文章9」、2年生「説明的文章2、文学的文章11」、3年生「説明的文章3、文学的文章9」、4年生「説明的文章3、文学的文章9」、5年生「説明的文章3、文学的文章9」、6年生「説明的文章3、文学的文章10」である。

6 言語活動例について

- 掲載された単元や題材・教材は、学習指導要領の各領域で示された言語活動例やそれ以外の言語活動を通して学習させる設定になっている。どのような言語活動が取り上げられているかについては、学習指導要領の内容に示されたものに該当するものは、調査票Ⅱの各領域の単元の欄に例示のように記号を付して示した。記号のないものは、学習指導要領の当該学年、領域で示された言語活動例でないものである。

7 読書指釈について

- 1年～4年各上巻に、「図書館へ行こう」という図書館の利用の仕方を学習する単元が一つずつ設定されている。
- 全学年「読むこと」単元の教材の後に「本を読もう」というコーナーがあり、その教材の関連図書が紹介されている。
- 各巻末に「○年生で読みたい本」が示されており、各学年50冊程度の本が紹介されている。

8 その他の特色について

- 教科書の版は全てB5版で、全学年、上下巻の2分冊である。
- 1年下巻～6年の巻末付録に、見開きで、学習の見直しをもたせたり学習を振り返らせたりするための「この本で学ぶこと」を領域別に提示している。
- 単元名に付随して、「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域以外に、「文化」「読書」という見出し語が用いられている。
- 5年に「読むこと」「書くこと」、6年に「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の複合単元が一つずつ設定されている。
- 各巻末には、新しく学んだ漢字(簡体・筆順・読み方・使い方)と前学年(下巻の場合は現学年の上巻)までに学習した漢字が掲載されている。
- 各学年最後の単元の後に、1年間の学習を振り返るための「国語の学習 これまで これから」というページがある。
- 出版年表が掲載されている。(4年下巻)

概 要

1 概観的な調査研究

学年	総頁数	教材数	領域区分の量 (頁数)									伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の頁数				資料付録の頁数
			A話すこと・聞くこと		B書くこと		C読むこと					事項の頁数				
			頁数	割合	頁数	割合	頁数	割合	説明	文学	読書	伝統文化	割合	国語の特質	割合	
1	252	53	26	10%	32	13%	157	62%	26	119	12	37	15%	33	13%	20
2	250	46	18	7%	32	13%	141	56%	36	101	4	7	3%	34	14%	26
3	244	49	17	7%	30	12%	140	57%	29	103	8	7	3%	34	14%	48
4	246	42	21	9%	30	12%	148	60%	48	94	6	6	2%	33	13%	54
5	231	36	21	9%	38	16%	151	65%	49	94	8	15	6%	23	10%	53
6	237	40	24	10%	30	13%	133	52%	42	71	20	15	6%	21	9%	47
合計	1460	266	127	9%	192	13%	870	60%	230	682	58	87	6%	178	12%	248

*ABC各領域及び伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の頁数の割合は、全体の数のうち何%に当たるかを示している。小数点以下を四捨五入しているため、単純合計が100%にならない場合もある。

*表中の教材数について、1つの単元の中に複数の教材を含む場合は分けて数えている。ただし、古典などで複数の教材を同一のねらいでまとめている場合はそのまま1つとしている。

*「C読むこと」の「読書」の欄には、教科書が読書指導としている頁数を挙げてある。それらの中で「C読むこと」のねらいも持たせていると判断できる場合には、文種(説明、文学)の合計にも加算している。

2 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の指導について

○伝統的な言語文化については、民話・昔話の読み聞かせ教材「聞いて楽しもう」が全学年に、3, 4, 5, 6年には「声に出して楽しもう」が位置付けられている。

○伝統的な言語文化として扱われている教材は、1年「まのむりようし」、2年生「いぶきの白うさぎ」、3年「たのきゅう」短歌・いろは歌、俳句、4年「ふるまのり」、短歌・俳句、5年「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」「蘭語」「漢詩(春曉)」、6年狂言「袖山伏」「天地の文」である。

○2年以上の各学年に、季節に関連した詩・童謡・唱歌や短歌・俳句を扱った小教材「季節の言葉」が示されている。

○新出漢字については、全学年とも○印で、読み替えについては、●印で示されている。筆順は、2年下巻までは単元の最後に、3~6年は巻末に示されている。

○前学年で学習した漢字は「漢字の広場」○年生(前学年)で習った漢字として、5回際語で示されている。

○各学年巻末に「この本で習った漢字」「これまでに習った漢字」一覧が示されている。

○言語に関する小教材は1年で文字・表記・文の構成、漢字の成り立ち、2年で主語と述語、様子を表す言葉、3年で国語事典の活用・漢字の音と訓、部首、ローマ字、修飾語、動き・様子・物や事を表す言葉、ことわざ、4年で漢字の部首、漢字事典の活用、慣用句、接頭語、熟語、5年で漢字の成り立ち、敬語、和語・漢語・外来語、複合語、6年で漢字の形と音・意味、熟語の成り立ち、敬語、日本で使う文字(仮名の由来、日本語表記、ローマ字との関わり)などを取り上げている。

○ローマ字は3年上巻で扱われている。

○学年巻末の漢字へのルビ振りは、1年下巻に初出している。

3 話すこと・聞くことの指導について

○単元・題材の構成については、技能練習を中心とした小教材と、比較的大きな言語活動のある大教材とに分かれている。大教材では、はじめにこの単元で学習する内容を提示し、活動の流れが型式化してある。次に、学習活動の詳しい内容の説明や、学習活動の様子の例が学習の流れに沿って示されている。最後には、その活動を振り返って、よかったことを伝え合ったり、学習内容について話し合ったりする活動が設定され、「ふりかえろう」で学習を評価する流れになっている。

○学習の最後のページには、「たいせつ」としてポイントが提示してある。

○扱われている様子は、知らせたいことを話す、友だちに聞いて、みんなに知らせる、二人で考える、順番を話し合う(1年)、大事なことを落とさずに話したり聞いたりする、友だちと考えを出し合う、順序を考えて発表する(2年)、筋道を立てて話す、友だちの話を聞き合い、質問をしたり、感想を伝えたりする、グループごとのように説明するを話し合う、集めた資料を活用した発表(3年)、自分の立場を明らかにし、理由とともに話す、話を聞きながらメモを取る、クラスでの話し合い(回会、参加者)、発表の内容と発表の組み立てを考える(4年)、友達インタビューしたことを一文にまとめて紹介する、話の意図を考えて聞き合う、考えを明確にして話し合う、説得力のあるスピーチ(5年)、主張と理由の関わりをわかりやすく説明する、互いの意見を聞き合って考えを深める、討論、効果的に資料を活用した発表(グループ)(6年)である。

4 書くことの指導について

○単元・題材の構成については、単元の冒頭に「たしかめよう」「活動の流れ」「ふりかえろう」という一覧が示され、課題設定や取材の方法から、記述、推敲、交流まで、それぞれの段階で行う活動が提示されている。その単元で学ぶ基本的な知識・技能などは「たいせつ」欄に記されている。単元の最後には、「ふりかえろう」で、自己評価の観点も示されている。また、学年末には、1年間を振り返ったり、今後の自分について考えたりしたことを書く小単元が設けられている。

○扱われている文種は、1年、観察記録文、手紙、報告文、2年、報告文、観察記録文、紹介文、物語、説明文、詩、3年、報告文、手紙文、説明文、物語、4年、新聞、意見文、リーフレット、詩、報告文、手紙(自分への手紙)、5年、報告文、俳句、提案文、説明文、物語、6年、パンフレット(推薦文)、短歌、意見文、解説文、随筆である。

5 読むことの指導について

○単元・題材の構成については、単元名を、「指導事項」と「言語活動」で示している。また、指導事項につながる読みの課題を設定するとともに、言語活動の手順を示している。単元で付けた力のポイントを「たいせつ」でまとめている。

○扱われている文種は、1年生「説明的文章4、文学的文章14」、2年生「説明的文章4、文学的文章10」、3年生「説明的文章4、文学的文章13」、4年生「説明的文章4、文学的文章11」、5年生「説明的文章5、文学的文章14」、6年生「説明的文章5、文学的文章14」である。

6 言語活動例について

○掲載された単元や題材・教材は、学習指導要領の各領域で示された言語活動例やそれ以外の言語活動を通して学習させる設定になっている。どのような言語活動が取り上げられているかについては、学習指導要領の内容に示されたものに該当するものは、調査票Ⅱの各領域の単元の欄に「例」のように記号を付して示した。記号のないものは、学習指導要領の当該学年、領域で示された言語活動例にないものである。

7 読書指導について

○全学年「読むこと」単元の教材の後に「この本、読もう」というコーナーがあり、その教材の関連図書が紹介されている。また、各巻末にも「この本、読もう」というページがあり、各学年に応じたいろいろなジャンルの図書が紹介されている。

○1年下巻ごろ、2~4年各上巻、5~6年で「本は友達」という読書単元が一つずつ設定されている。

8 その他の特色について

○教科書の版は全てB5版で、1年~4年までは上下巻の2分冊である。

○3~6年の巻頭、見開きで、学習の見通しをもたせたり学習を振り返らせたりするための「○年生の学習を見わたそう」を領域別に提示している。

○2年~6年各巻頭「いつも気をつけよう」というページがあり、これまでに学習した内容が領域ごとに示されている。

○2年~6年各上巻巻頭に「言葉の準備運動」という「話すこと・聞くこと」の単元が設定されている。

○各巻末付録には、「たいせつ」のまとめとして、既習内容のポイントがまとめられている。

○各巻末に、この本で習った漢字(画数・筆順・読み方・使い方を示している)と前学年までに習った漢字が掲載されている。

○5年、8年に「話すこと・聞くこと」「書くこと」の複合単元が一つずつ設定されている。

○凸版点字表が掲載されている。(4年上巻)

[調査票Ⅱ-1] [2 東京書籍] (小学校 国語)

1 学年		2 学年	
上	下	上	下
<p>AC ○みんなのせかい</p> <p>A ○はきはきあいさつ 例ウ</p> <p>○よろしくね 例ウ</p> <p>伝 ○じをかこう</p> <p>C ○ほんがたくさん (読)</p> <p>A ○あいうえおのうた</p> <p>C ○あめですよ 文</p> <p>(とよかかずひこ)</p> <p>伝 ○ふたとぶた</p> <p>A ○ともだちにはなそう 例エ</p> <p>○とんことん 例ア</p> <p>(ぶしかえつこ)</p> <p>伝 ○ねことねっこ</p> <p>○ことばあそび</p> <p>伝 ○あひるのあくび (まきさちお)</p> <p>伝 ○ぶんをつくろう</p> <p>○おばさんとおばあさん</p> <p>○きいてつたえよう 例ウ</p> <p>○はへをつかかってぶんをかこう</p> <p>C ○どうやってみをまもるのかな 例ウ</p> <p>伝 ○いしやといしゃ</p> <p>B ○こんなことしたよ 例イ</p> <p>C ○おおきなぶ (うちだりさこ やく)</p> <p>○ほんのひろば (読)</p> <p>B ○えにっきをかこう 例イ</p> <p>C ○あるけあるけ (つるみまさお)</p> <p>C ○木 文</p> <p>(しみずたみこ)</p> <p>A ○はなしたいなききたいな 例ア</p> <p>伝 ○かんじのはなし</p> <p>C ○かみから 文 例ア</p> <p>(もりやまみやこ)</p> <p>伝 ○かぞえうた 文</p> <p>ふろく ことばのせかい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ことばのせかい どくしょのへや わたしのかさはそらのいろ (あまみきみこ) ●としよかんってどんなところ ●こくごのノートをつくりかた ●ひらがなのひょう ●あたらしくならったかんじ ●ことばのひろば 	<p>C ○ありがとう</p> <p>文 (しょうじたけし)</p> <p>一 ねはなしをよもう</p> <p>C ○サラダでげんき 文 例エ</p> <p>(かどのえいこ)</p> <p>伝 ○かたかなをかこう</p> <p>■ ○ほんはともだち (読)</p> <p>「はじめてよんだほん」</p> <p>(かどのえいこ)</p> <p>○ねんせいのほんだな</p> <p>B ○わたしのはっけん 例イ</p> <p>伝 ○よう日と日づけをおぼえよう</p> <p>二 のりものことをしらべよう</p> <p>C ○いろいろなおね 例ウ</p> <p>B ○おもいだしてかこう 例イ</p> <p>A ○「好きなものクイズ」をしよう 例イ</p> <p>B ○ことばあそびうたをつくろう 例ア</p> <p>三 いろいろなおはなしをよもう</p> <p>C ○おとうとねずみチロ 文 例オ</p> <p>(もりやまみやこ)</p> <p>○いろいろなおはなしをよもう</p> <p>みみずのたいそう (かんざわとしこ)</p> <p>伝 ○せめがしはなしをたのしもう 文</p> <p>B ○おはなしをつくろう 例ア</p> <p>四 いろいろなやりかたをくらべて</p> <p>かんがえよう</p> <p>C ○歯がぬけたらどうするの 例エ</p> <p>A ○「じゃんけんやさん」をひらこう 例ア</p> <p>伝 ○まとめてよぶことば</p> <p>五 こえにだしてよもう</p> <p>C ○スイミー 例オ</p> <p>(レオ・レオニ)</p> <p>たにかゆしゅんたろう やく)</p> <p>伝 ○かたちのにているかん字 例ウ</p> <p>B ○「おもいでブック」をつくろう 例エ</p> <p>ふろく ことばのせかい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ことばのせかい どくしょのへや 花いっぱいなあれ (まつたにみやこ) じゃんけん ●こえを出そう ●まちがえやすいかきかた ●むかしはなしをよんでもらおう 花さかじいさん (いしぎきひろし) ●あたらしくならったかん字 ●一年上でならったかん字 ●ことばのひろば ●かたかな 	<p>C ○たけのこくん 文</p> <p>一 こえに出して読もう</p> <p>C ○風のゆうびんやさん 文 例ア</p> <p>(たけしたふみこ)</p> <p>■ ○としよかんへいこう</p> <p>伝 ○かん字の書き方に気をつけよう</p> <p>B 伝 ○こんなことがあったよ 例イ</p> <p>二 たんぽぽのひみつを見つけよう</p> <p>C ○たんぽぽ (ひらやまかずこ)</p> <p>伝 ○かたかなで書くことば</p> <p>A ○ことばで絵をつたえよう 例ア</p> <p>B ○かんさつしたことを書こう 例イ</p> <p>三 ばめんにごとに読もう</p> <p>C ○お手紙 文 例ア</p> <p>(アーノルド・ローベル)</p> <p>みきたく やく)</p> <p>A ○まよい犬をさがそう</p> <p>四 二つのせつめいをくらべよう</p> <p>C ○ふろしきは、どんなぬの 例ウ</p> <p>○主語とじゆつ語に気をつけよう</p> <p>B ○じゅんじょよく書こう 例イ</p> <p>○日本語のしらべ 夏</p> <p>C ○本は友だち (読)</p> <p>■ ○どうわの王さま (やなせたかし)</p> <p>○二年生の本だな</p> <p>○しを讀もう</p> <p>C ○いろいろなおとのあめ 文 例ア</p> <p>(きしだえりこ)</p> <p>C ○空にぐうんと手をのびせ (しんざわとしこ)</p> <p>例ア</p> <p>A ○たからものをしようかいしよう 例エ</p> <p>伝 ○声に出してみよう</p> <p>伝 ○言いつたえられているお話をしろう</p> <p>B ○「ありがとう」をつたえよう 例オ</p> <p>ふろく ことばのせかい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●読書のへや あしたも友だち (うちだりんたろう) ヨットカーのつくりかた ●声をとどけよう ●げんこうよう紙のつかみ方 ●言いつたえられているお話を読もう いっばの白うさぎ (かおむらたかし) ●ことばのひろば ●「ことばの力」のまとめ ●新しくならったかん字 ●二年上までにならったかん字 	<p>C ○あまやどり 文</p> <p>一 声やうごきであらわそう</p> <p>C ○名前を見てちょうだい</p> <p>あまみきみこ 文 例イB</p> <p>○絵を見てお話を作ろう 例ア</p> <p>○日本語のしらべ</p> <p>二 どうぶつのおひみつをみんなでさぐる</p> <p>C ○ピーパーの大作事 例ウ</p> <p>(なかむわしろう)</p> <p>伝 ○なかまになることばをあつめよう</p> <p>A ○あそびのやくそくを話し合おう 例イ</p> <p>B ○名人をしようかいしよう 例エ</p> <p>三 むかし話をしようかいしよう</p> <p>C 伝 ○かさこじぞう 文 例オ</p> <p>(いずさききょうこ)</p> <p>伝 ○おくりがはに気をつけよう</p> <p>○日本語のしらべ</p> <p>B ○しがるこいたことを 例ア</p> <p>C 伝 ○おばあちゃんに聞いたよ</p> <p>B ○同じところ、ちがうところ 例ウ</p> <p>伝 ○はなたいのいみのことば 例イ</p> <p>四 あなのやくわりを考えよう</p> <p>C ○あなのやくわり (いっだゆみこ) 例イ</p> <p>ウ 伝 ○組み合わせたことばをつかおう</p> <p>A ○「おもちゃ教室」をひらこう 例ア</p> <p>五 紙しばいをしよう</p> <p>C ○ニャーゴ 文 例イ</p> <p>(みぎにしたつや)</p> <p>B ○「ことばのアルバム」を作ろう 例エ</p> <p>ふろく ことばのせかい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●読書のへや ないた赤はこ (はまだひろすけ) ●ことばの広場 ●「ことばの力」のまとめ ●日本のお話 ●新しくならったかん字 ●二年下までにならったかん字

[調査票Ⅱ-1] 【11 学校図書】 (小学校 国語)

1 学年		2 学年	
上	下	上	下
<p>例イ ○あいさつしよう</p> <p>例エC ○おなまえおしえて</p> <p>例イ ○おはなしをきこう</p> <p>例イ ○こえのたいそう</p> <p>例イ ○となえうた</p> <p>例イ ○えんぴつをもって</p> <p>例イ ○えからさがそう</p> <p>例イ ○みつけてはなそう</p> <p>例イ ○ことばをつなげよう</p> <p>例イ ○ひらがなひろば</p> <p>例イ ○しりとりにめいる</p> <p>例イ ○いもものみつけた</p> <p>例イ ○にているじ</p> <p>例イ ○や・のつくじ</p> <p>例イ ○ともだちとはなしましょう</p> <p>例イ ○つまるおん</p> <p>例イ ○まてまてかえるくん</p> <p>例イ ○のぼすおん</p> <p>例イ ○たぬきのじてんしゃ</p> <p>例イ ○ちいさい や・ゆ・よ</p> <p>例イ ○いきものあし</p> <p>例イ ○きのうのこと</p> <p>例イ ○は・を・へ</p> <p>例イ ○おおきなかぶ</p> <p>例イ ○おはなしであそびましょう</p> <p>例イ ○おほんともだち</p> <p>例イ ○すきなほんをひらいてみましょう</p> <p>例イ ○かぞえうた</p> <p>例イ ○かずのかんじ</p> <p>例イ ○えにつき</p> <p>例イ しをあじわいましょう</p> <p>例イ ○いるか</p> <p>例イ ○おさるがふねをかきました</p> <p>例イ (まどみちお)</p> <p>例イ ○かんじのへや1</p> <p>例イ ○うみの水はなぜしょっぱい</p> <p>例イ (きさかりょう)</p> <p>例イ ○かたかなをみつけましょう</p> <p>例イ ○わたしのはっけん</p> <p>例イ ○なぜでしょう</p> <p>例イ しりょうへん</p> <p>●月よに (あわなおこ)</p> <p>●このぼんでかくしゅうしたかん字</p> <p>●ひらがなをたしかめよう</p> <p>●ひらがなのひょう</p>	<p>例イ ○うみほごきげん(し) (かんざわとしこ)</p> <p>例イ ○手ぶくろ</p> <p>例イ ウクライナみんわ</p> <p>例イ 一 じどう車くらべをしよう</p> <p>例イ ○くらしをまもる車</p> <p>例イ ○ことばのきまり1</p> <p>例イ ○かん字のへや1</p> <p>例イ 二 しらせたいことをはなそう</p> <p>例イ ○わたしのたからもの</p> <p>例イ ○ことばのいずみ1</p> <p>例イ ○かん字のへや2</p> <p>例イ ○こころがうごいたこと(し)</p> <p>例イ 三 こえに出してよう</p> <p>例イ ○はじめは「や!!」</p> <p>例イ こうやま よしこ</p> <p>例イ ○どくしよびじゅつかんをつくる</p> <p>例イ う</p> <p>例イ ○どくしよのへや</p> <p>例イ 四 おおなしをつくらう</p> <p>例イ ○「音」をさがして おおなしづ</p> <p>例イ くり</p> <p>例イ ○つたわったかな</p> <p>例イ ○はがきをかこう</p> <p>例イ ○ことばのきまり2</p> <p>例イ ○かん字のへや3</p> <p>例イ 五 じゅんじよをかみがえておおなし</p> <p>例イ しりょう</p> <p>例イ ○まめ</p> <p>例イ ○ことばであそぼう</p> <p>例イ 六 わかるようにつたえよう</p> <p>例イ ○ようふくのきかた</p> <p>例イ ○ことばのいずみ2</p> <p>例イ ○かん字のへや4</p> <p>例イ 七 めたかのぼうけんのようすをかん</p> <p>例イ がえよう</p> <p>例イ ○めたかのぼうけん</p> <p>例イ (いじちえいしん)</p> <p>例イ 八 やくわりをきめてよう</p> <p>例イ ○ろくべえ まってろよ</p> <p>例イ (はいたにけんじろう)</p> <p>例イ ○これからのあなたへ</p> <p>例イ ○うれしかった(し)</p> <p>例イ (おのでらえつこ)</p> <p>例イ しりょうへん</p> <p>●おんちよろちよろ (せたていじ)</p> <p>●手ぶくろ</p> <p>●「つぎは、どうなる？」をたの</p> <p>しりょう</p> <p>●じゅぎょうでつかうことば</p> <p>●一年生で学しゅうしたかん字</p> <p>●かたかなをたしかめよう</p> <p>●かたかなのひょう</p>	<p>例イ ○おねぎぼうずのがくたい(し)</p> <p>例イ (のろさかん)</p> <p>例イ ○みんなでのりえゲーム</p> <p>例イ ○ランパンパン</p> <p>例イ インド民話</p> <p>例イ 一 おおなしをしようかいしよう</p> <p>例イ ○スイミー</p> <p>例イ レオレオニ</p> <p>例イ ○ことばのきまり1</p> <p>例イ ○かん字のへや1</p> <p>例イ ○線ひきとぬき書き</p> <p>例イ ○あたらしいかん字</p> <p>例イ 二 ペンギンの子そだてをまとめよう</p> <p>例イ ○エンペラーペンギンの子そだて</p> <p>例イ (おちのりこ)</p> <p>例イ ○ことばのいずみ1</p> <p>例イ ○かん字のへや2</p> <p>例イ ○メモの書き方</p> <p>例イ 三 しらせたいことを話そう</p> <p>例イ ○じぶんでチャレンジ</p> <p>例イ ○あたらしいかん字</p> <p>例イ ○ことばをつないで文をつくらう</p> <p>例イ ○ことばのきまり2</p> <p>例イ ○かん字のへや3</p> <p>例イ 四 カレンダーにまとめよう</p> <p>例イ ○はたるの一生</p> <p>例イ (ささきこん)</p> <p>例イ ○ひょうを作る</p> <p>例イ 五 どくしよをたのしもう</p> <p>例イ ○きつねのおきやくさま</p> <p>例イ (あまんきみこ)</p> <p>例イ ○本話クイズ大会をしよう</p> <p>例イ ○どくしよのへや</p> <p>例イ ○あたらしいかん字</p> <p>例イ ○ことばをつないで文をつくらう</p> <p>例イ しをあじわおう</p> <p>例イ ○たべもの</p> <p>例イ (なかえとしお)</p> <p>例イ ○いんらんおとのあめ</p> <p>例イ (きしだえりこ)</p> <p>例イ わかしのものがたりをたのしもう</p> <p>例イ ○ヤマタノオロチ</p> <p>例イ (きさかりょう)</p> <p>例イ ○知らせたいことを手紙に書こう</p> <p>例イ 六 ちがいをせつ明しよう</p> <p>例イ ○たこのすみ いかのすみ</p> <p>例イ (いまいずみただあき)</p> <p>例イ 七 知ろう・つたえよう</p> <p>例イ ○ちがいをくらべて書こう</p> <p>例イ ○ことばのいずみ2</p> <p>例イ ○かん字のへや4</p> <p>例イ ○あたらしいかん字</p> <p>例イ ○ことばの広場</p> <p>例イ しりょうへん</p> <p>●おまえ うまそうだな (みやにし たつや)</p> <p>●図書室に行つてよう</p> <p>●ランパンパン</p> <p>●インドみんわ</p> <p>●おもしろい音をたのしもう</p> <p>●じゅぎょうでつかうことば</p> <p>●国語のカギ</p> <p>●この本で学しゅうしたかん字</p> <p>●一年生で学しゅうしたかん字</p>	<p>例イ ○いちばんぼし(し)</p> <p>例イ (まどみちお)</p> <p>例イ 一 じゅんじよのわけを考えよう</p> <p>例イ ○食べるのは、どこ</p> <p>例イ ○ことばのきまり1</p> <p>例イ ○かん字のへや1</p> <p>例イ 二 話し合つて考えをまとめよう</p> <p>例イ ○やつてごらん、おもしろいよ</p> <p>例イ ○ことばのいずみ1</p> <p>例イ ○かん字のへや2</p> <p>例イ ○したことをいきいきと(し)</p> <p>例イ ○あたらしいかん字</p> <p>例イ ○ことばをつないで文をつくらう</p> <p>例イ 三 どう場人ぶつになって読もう</p> <p>例イ ○かさこじぞう</p> <p>例イ (いづさききょうこ)</p> <p>例イ ○あたらしいかん字</p> <p>例イ ○本の本を作らう</p> <p>例イ ○読書のへや</p> <p>例イ 四 お話を作らう</p> <p>例イ ○つづき語を作らう</p> <p>例イ ○どう言えたいのか</p> <p>例イ ○ことばのきまり2</p> <p>例イ ○かん字のへや3</p> <p>例イ 五 作り方をせつ明しよう</p> <p>例イ ○とべとべまわれ</p> <p>例イ ○ことばであそぼう</p> <p>例イ 六 体けしたことをほうこくしよう</p> <p>例イ ○地まきの行事のできごとをほう</p> <p>例イ こくしよう</p> <p>例イ ○ことばのいずみ2</p> <p>例イ ○かん字のへや4</p> <p>例イ ○あたらしいかん字</p> <p>例イ ○ことばをつないで文をつくらう</p> <p>例イ 七 図やひょうにせい理してせつ明し</p> <p>例イ よう</p> <p>例イ ○どんぐり</p> <p>例イ (こうやすずむ)</p> <p>例イ 八 見つけたことを知らせよう</p> <p>例イ ○お手紙</p> <p>例イ (アーノルド・ローベル)</p> <p>例イ ○あたらしいかん字</p> <p>例イ ○ことばをつないで文をつくらう</p> <p>例イ ○これからのあなたへ</p> <p>例イ ○山(し)</p> <p>例イ (はらくにこ)</p> <p>例イ しりょうへん</p> <p>●あいさつのみぶりとことば</p> <p>●お父さんの手 (まはらみと)</p> <p>●となえておぼえることば</p> <p>●じゅぎょうでつかうことば</p> <p>●国語のカギ</p> <p>●この本で学しゅうしたかん字</p> <p>●二年生までで学しゅうしたかん字</p>

【調査票Ⅱ-1】 【15 三省堂】 (小学校 国語)

1 学年		2 学年	
上	下	小学生のこくご	学びを広げる
<p>A ○みつめたみつめた</p> <p>C ○おはなしきかせて 例イ</p> <p>A ○はきはきあいさつ 例ウ</p> <p>A ○わたしのなまえ</p> <p>A ○くちのたいそう</p> <p>○あいうえおではじまることば</p> <p>○ことばみつけ</p> <p>A ○わたしのすきなもの 例エ</p> <p>○‘や’がつくことば</p> <p>○ちいさいがつくことば</p> <p>○ひとまじえておはなしをしたのしもう</p> <p>C ○にくをくわえたいぬ 例ア (かゆさきひろし)</p> <p>○ひらがなのひょう</p> <p>○のぼすおんがあることば</p> <p>○ちいさいやゆよがつくことば</p> <p>あいうえおであそぼう</p> <p>C ○あいうえおにぎり 例ア (ねじめしょういち)</p> <p>○わたし、まるこ</p> <p>B ○かいてつたえよう 例イ</p> <p>おはなしをしたのしもう</p> <p>C ○どうぞのいす 例ア (こうやまよしこ)</p> <p>いろいろなこえ</p> <p>A ○もじのおと 例ウ (たにかわしゅんたろう)</p> <p>えをみながらよもう</p> <p>C ○しっぽしっぽ 例ウ (ほりひろし)</p> <p>○はへを</p> <p>B ○えにつきをかこう 例イ</p> <p>こえにだしてよもう</p> <p>C ○きもち 例ウ (さくらももこ)</p> <p>くふうしてよもう</p> <p>C ○おおきなかぶ 例ア (アレクセイ=トルストイ うちだりさこ やく)</p> <p>○かみじのはじまり</p> <p>A ○きのうこんなことがあったよ 例エ</p> <p>○としよかんへいこう 例ウ</p> <p>○かたかな</p> <p>B ○いぬのきもち 例ア</p> <p>○かぞえうた</p> <p>ふろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●このほんでまなぶかんじ ●ひらがなとかたかなのひょう <p>まなびをひろげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こえをだそう ●じをかこう ●ちいさなとしよかん ●どくしよのじかん ●ちようちようひらひら ●みんなおなじでもみんなちがう 	<p>きもちをかながえながらよもう</p> <p>C ○あいているから 例ア (マージュー=ニューマン ひさやまたいち やく)</p> <p>○いっしゅうかん</p> <p>よくみてかこう</p> <p>B ○みのまわりのいきもの 例イ</p> <p>○なかまのことば</p> <p>ちがいにきをつけてよもう</p> <p>C ○ぼうしのはたらき 例ウ (よこやまり)</p> <p>○えをかいてみる？</p> <p>こえにだしてよもう</p> <p>C ○ピンときた！ 例ア (かえるたくお)</p> <p>○なかまのことば②</p> <p>かきとめておこう</p> <p>B ○わたしのよんだ本 例エ</p> <p>A ○ねえ、どっち？ 例ア</p> <p>むかしおはなしをしたのしもう</p> <p>C ○いぬの白ウサギ 例ア (みやかわひろ)</p> <p>おはなしをつくらう</p> <p>B ○きよたいなきよだい 例ア (はせがわせつこ)</p> <p>○なかまのことば③</p> <p>じゅんじよにきをつけてよもう</p> <p>C ○なにかができるかな 例ウ (なかせいらともひこ)</p> <p>たずねよう、こたえよう</p> <p>A ○クイズでおしえます 例イ</p> <p>○かたががにているかん字</p> <p>よんでおもったことをはなそう</p> <p>C ○いしころ 例ウ (たにかわしゅんたろう)</p> <p>ようすをおもうかまながらよもう</p> <p>C ○夕日のしずく 例ア (あまみきこ)</p> <p>はっきりつたわるようにかこう</p> <p>B ○できるよくなったこと 例エ</p> <p>ふろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ひらがなとかたかなのひょう ●この本で学ぶかん字 ●一年上で学んだかん字 <p>学びをひろげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こえの大きさ ●ノートのかきかた ●小さなとしよかん ●ろくべえまつてるよ ●なにかに見える？ 	<p>二年生で学しゅうすること</p> <p>こえにだしてよもう</p> <p>C ○シーソーのつたら (きしだえりこ) 例ウ</p> <p>おはなしをきこう</p> <p>A ○おぼく、だんごむし (とくだゆきひさ) 例ウ</p> <p>○としよかんへいこう 例ウ</p> <p>○あたらしいかん字を学ぼう1</p> <p>こえに出してよもう</p> <p>C ○たろうのともだち (むらやまけいこ) 例ア</p> <p>○かたかな</p> <p>みんなにきこえるようにはなそう</p> <p>A ○できたらいいな 例エ</p> <p>○あたらしいかん字を学ぼう2</p> <p>じゅんじよをたしかめながらよもう</p> <p>C ○つばねのすだち (もとかわひろし) 例ウ</p> <p>○なかまのことば</p> <p>○一年生で学んだかん字①</p> <p>○あたらしいかん字を学ぼう3</p> <p>自分の声で</p> <p>A ○せみ (有馬敏) 例ア 他 短歌・詩</p> <p>じゅんじよにきをつけて書こう</p> <p>B ○このまえあったこと 例イ</p> <p>○まる、てん、かぎ</p> <p>○あたらしいかん字を学ぼう4</p> <p>気持ちを考えながら読もう</p> <p>C ○お手紙 (アーノルド=ローベル みきたく やく) 例ア</p> <p>B ○手紙をこうかんしよう 例ア</p> <p>○ことばを見つけよう 例ウ</p> <p>○あまさんのおへや 例ウ ようすを思いうかべながら読もう</p> <p>C ○雨のうた (つるみまさお) 例ア</p> <p>○一年生で学んだかん字②</p> <p>○新しいかん字を学ぼう5</p> <p>じゅんじよがわかるように話そう</p> <p>A ○夏休みの思い出 例エ できるようにになったこと</p> <p>B ○なにをつたえようとしているの 例ウ よくかんさつしてかこう</p> <p>B ○見て、聞いて、さわって 例イ</p> <p>○本を大切にしよう 例ウ</p> <p>○新しいかん字を学ぼう6</p> <p>行動にきをつけて読もう</p> <p>C ○きつねのおきやくさま (あまみきこ) 例ア</p> <p>○しゅ語とじゅつ語</p> <p>○一年生で学んだかん字③</p> <p>○新しいかん字を学ぼう7</p> <p>たいじなことをおとさず読もう</p> <p>C ○たねのたび 例ウ</p> <p>○なかま分けをしよう</p> <p>○ことばのいみと読み方</p> <p>詩を声に出して読もう</p> <p>C ○お月夜 (きたはらはくしゅう) 例ア</p> <p>○新しいかん字を学ぼう8</p> <p>つながりにきをつけて書こう</p> <p>B ○わたしのはっけん 例エ</p> <p>A ○電話でつたえよう 例ウ</p> <p>むかし話を楽しもう</p> <p>C ○かさこじょう (いわざききょうこ) 例ア</p> <p>お話をそうぞうしよう</p> <p>B ○きぜつライオン (ねじめしょういち) 例ア</p> <p>○一年生で学んだかん字④</p> <p>○新しいかん字を学ぼう9</p> <p>読んで、作って、あそぼう</p> <p>C ○紙パックでこまを作ろう (いまいみさ) 例イ 話たいこそって話し合おう</p> <p>A ○コンテストに出すこまをきめよう 例イ</p> <p>○にたいみのことば</p> <p>○一年生で学んだかん字⑤</p> <p>○新しいかん字を学ぼう10</p> <p>読んで思ったことを話そう</p> <p>C ○くまさん (まど・みちお) 例ウ おもしろいところを見つけよう</p> <p>C ○フレデリック (レオ=レオニ たにかわしゅんたろう やく) 例ア</p> <p>書いたものを読み合おう</p> <p>B ○みんなの思い出 例ア</p> <p>ふろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●二年生で学ぶかん字 ●一年生で学んだかん字 ●ひらがなとかたかなのひょう ●「おぼえておきましょう」のまとめ 	<p><言葉のポケット></p> <p>B ○原こう用紙に 例ウ 書いてみよう</p> <p>○国語学習のた めの用語集 例ウ</p> <p>○ちがう字で同 じ読み</p> <p><読書の森></p> <p>○小さな図書館 例ウ</p> <p>○スープと馬頭 例ウ 琴 例ウ モンゴル民話 例ウ 藤公之介再話 例ウ</p> <p>C ○古屋のもり 例ウ (坪田誠尚)</p>

1 学年		2 学年	
上	下	上	下
<p>○なかよし 例ア</p> <p>○あかるいあいさつ 例ウ</p> <p>○みんなのなまえ 例エ</p> <p>○おはなしたくさんききたいな 例ア</p> <p>○こえをあわせてあいうえお 例ア</p> <p>○みつけてはなそう、たのしくきこう 例イ</p> <p>○かき、かぎ 例イ</p> <p>○ことばをつなごう 例ア</p> <p>○くまさんとありさんのごあいさつ 例ア</p> <p>○ねこ、ねっこ 例ア</p> <p>○ほんをよもう 例ア</p> <p>○かるたをつくってあそぼう 例イ</p> <p>○たのしくよもう 1 (ほどみちお) 例イ</p> <p>○ごじゅうおん 例イ</p> <p>○えとことばでかこう 例イ</p> <p>○けむりのきしゃ 例ア</p> <p>○のぼすおん 例イ</p> <p>○ぶんをつくろう 例イ</p> <p>○みんなのはなそう 例イ</p> <p>○たのしくよもう 2 (ほどみちお) 例イ</p> <p>○すずめのくらし 例ウ</p> <p>○しゃ、しゅ、しよ 例ウ</p> <p>○しらせたいことをかこう 例ウ</p> <p>○は、を、へ 例イ</p> <p>○としよかんへいこう 例イ</p> <p>○おはなしのくに 例ア</p> <p>○おおきなかぶ 例ア</p> <p>ろしあのおはなし 例イ</p> <p>○えにつき 例イ</p> <p>○なつのおもいでをはなそう 例イ</p> <p>○かたかなのことば 例ア</p> <p>○けんかした山 (あんどうみきお) 例ア</p> <p>○みんなであのしくよみましよう 例ア</p> <p>○かんじのはじまり 例ウ</p> <p>○だれがたべたのでしょうか 例ウ</p> <p>○たのしかったことをかこう 例イ</p> <p>○かぞえた 例イ</p> <p>ふろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1ねんせいでよみたい本① ●ただしくきちんとかこう ●ましがえやすいひらがな ●かんじをまなぼう ●ひらがなのひょう ●かたかなのひょう 	<p>○ひろがることば 例ア</p> <p>しをよもう 例イ</p> <p>○いろいろなおとのあめ (きしだりえこ) 例ア</p> <p>○こねこをだいたことある? 例ア</p> <p>(はせがむせつこ) 例イ</p> <p>○カードにカメラでしらせよう 例ア</p> <p>一 のりものをしょうかいしよう 例イ</p> <p>○はたらくじどう車 例ウ</p> <p>○のりもののことをしらせよう 例ウ</p> <p>二 おはなしかみをしよう 例イ</p> <p>○うみへのながいたび (いまえよしも) 例ア</p> <p>○おはなしのつづきをかこう 例ア</p> <p>三 ことばのはたらきをしろよう 例イ</p> <p>○おもしろいことば 例イ</p> <p>○かたかな 例イ</p> <p>四 むかしのおはなしをたのしく 例イ</p> <p>○天このぼったおけやさん 例イ</p> <p>○日つげとよみ日 例イ</p> <p>五 ようすをよく見てかこう 例イ</p> <p>○見つけたことをしらせよう 例イ</p> <p>○かん字のひろば2 例イ</p> <p>かん字のよみかた 例イ</p> <p>六 たのしくよんで、本をしょうかいしよう 例イ</p> <p>○りすのわすれもの 例イ</p> <p>○「おはなしどうぶつえん」をつくって、本をしょうかいしよう 例イ</p> <p>七 みぶりについて せつめいしよう 例イ</p> <p>○みぶりでつたえる 例ウ</p> <p>○ここがだいじ 例ウ</p> <p>○かんじのひろば3 例イ</p> <p>かわるよみかた 例イ</p> <p>八 きいたことを正しくつたえよう 例イ</p> <p>○学校のことをつたえあおう 例イ</p> <p>○しりとりをしよう 例イ</p> <p>九 したことをおもい出してかこう 例イ</p> <p>○おもい出してかこう 例イ</p> <p>○文をつくろう 例イ</p> <p>○かんじのひろば4 例イ</p> <p>にているかん字 例イ</p> <p>十 がまくんやかえるくんに 手がみをかこう 例イ</p> <p>○お手がみ (アーノルド＝ローベール) 例イ</p> <p>○こくごのがくしゅう 例イ</p> <p>これから 例イ</p> <p>ふろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●かたかなのひょう ●この本で学ぶこと ●かん字を学ぼう ●1年生でよみたい本②③ 	<p>○ひろがることば 例ア</p> <p>げんきに声を出そう 例イ</p> <p>○つくしたれの子 例イ</p> <p>わらべうた 例イ</p> <p>一 お話の中のできごとを、日記に書こう 例イ</p> <p>○「えいっ」 (みきたく) 例イ</p> <p>○つづけてみよう 例イ</p> <p>二 つなかりをせつめいしよう 例イ</p> <p>○すみれとあり (やざまよしこ) 例イ</p> <p>○図書館で本をさがそう 例イ</p> <p>○手紙を書いてつたえよう 例イ</p> <p>三 みんなの前で話そう 例イ</p> <p>○すきなことをつたえよう 例イ</p> <p>○漢字の広場1 例イ</p> <p>画と書きじゅん 例イ</p> <p>四 見つけたことをわかりやすく書こう 例イ</p> <p>○たんけんしたことをつたえよう 例イ</p> <p>○漢字の広場2 例イ</p> <p>なかまの言葉と漢字 例イ</p> <p>五 きつねのおきゃくさま 例イ</p> <p>○きつねのおきゃくさま (あまみきこ) 例イ</p> <p>○かたかなで書く言葉 例イ</p> <p>○「いろは」を知ろう 例イ</p> <p>六 言葉のはたらきをしろよう 例イ</p> <p>○うれしくなる言葉 例イ</p> <p>○みじか言葉で 例イ</p> <p>○まとめていうと 例イ</p> <p>七 話し合せてきめよう 例イ</p> <p>○「グループはっぴょう会」をひらこう 例イ</p> <p>○漢字の広場3 例イ</p> <p>二つの漢字でできている言葉 例イ</p> <p>八 お話のつづきを書こう 例イ</p> <p>○わにのおじいさんのたからもの (かわさきひろし) 例イ</p> <p>○絵を見てお話を書こう 例イ</p> <p>ふろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この本で学ぶこと ●ノートに文をうつす ●気をつけて書くところ ●はがきの書き方 ●言葉の木 ●漢字を学ぼう ●2年生でよみたい本①② 	<p>○雨だれ (しろとまこと) 例イ</p> <p>しを讀もう 例イ</p> <p>○てんとむし (かわさきひろし) 例イ</p> <p>○せかいじゅうの海が (マザーグースのうた) 例イ</p> <p>○メモをもとに文章を書こう 例イ</p> <p>一 音讀まっぴょう会をしよう 例イ</p> <p>○かさこじぞう (かわさきひろし) 例イ</p> <p>○七草をおぼえよう 例イ</p> <p>二 しゃんをつかかって、せつめいしよう 例イ</p> <p>○さげが大きくなるまで 例イ</p> <p>○主語とじゆつ 例イ</p> <p>三 じゅんじよを考えてせつめいしよう 例イ</p> <p>○生きもののことをせつめいしよう 例イ</p> <p>○漢字の広場4 例イ</p> <p>漢字のつづき方と読み方 例イ</p> <p>四 心にこたつたところを、つたえ合おう 例イ</p> <p>○ないた赤かみ (はまだひろすけ) 例イ</p> <p>○「お話びじゅつかん」を作ろう (お) 例イ</p> <p>五 むかしのお話を楽しもう 例イ</p> <p>○おひさまのしろうさぎ (ぶくながたけひこ) 例イ</p> <p>○ほんたいていのお話、にたいみの言葉 例イ</p> <p>六 作り方をせつめいしよう 例イ</p> <p>○きつつき 例イ</p> <p>○「おもちゃ大会」をひらこう 例イ</p> <p>○音や様子をあらわす言葉 例イ</p> <p>○漢字の広場5 例イ</p> <p>同じ読み方の漢字 例イ</p> <p>七 思い出して書こう 例イ</p> <p>○一年間のできごとをふりかえって 例イ</p> <p>○漢字の広場6 例イ</p> <p>組み合わせでできている漢字 例イ</p> <p>八 お話を讀んで、しょうかいしよう 例イ</p> <p>○アレキサンダーとぜんまいおぼろ 例イ</p> <p>○国語の学習 例イ</p> <p>これまでこれから 例イ</p> <p>ふろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この本で学ぶこと ●ましがえやすいかたかな ●横書きの書き方 ●言葉の木 ●漢字を学ぼう ●2年生でよみたい本③④

1 学年		2 学年	
上	下	上	下
<p>A ○あさ (なかむわりえこ) 文</p> <p>さあはじめよう</p> <p>A ○なんていうかな 例イ</p> <p>C ○どんなおはなしか 例イ</p> <p>○ (せんせいにあわせていってみましょう)</p> <p>B ○どうぞよろしく 例イ</p> <p>A ○こえのおおきさどうするの</p> <p>AB ○ (うたにあわせてあいうえお)</p> <p>B ○ことばをつくらう</p> <p>A ○えをみてはなそう 例イ</p> <p>○ かきとかぎ</p> <p>C ○あさのおひさま (かみざわとし) 文 例イ</p> <p>○ はなのみち (おかのぼこ) 文 例イ</p> <p>B ○ふんをつくらう</p> <p>○ ねことねこ</p> <p>A ○わねをはなそう 例イ</p> <p>○ おばさんとおばあさん</p> <p>C ○くちばし (むらたこういち) 例イ</p> <p>○ おもちゃとおもちゃ</p> <p>A ○おもいだしてはなそう 例イ</p> <p>AB ○ あいうえおであそぼう (なかむわりえこ)</p> <p>B ○ おおきくなった 例イ</p> <p>C ○ おおきくなった (はそへたし)</p> <p>A ○ たからものをおしえよう 例イ</p> <p>B ○ ○は○を○をつかおう</p> <p>B ○ すきなこと、なかに 例イ</p> <p>C ○ おおきなかぶ 文 例イ</p> <p>C ○ おはんはともだち (例)</p> <p>B ○ こんなことをしたよ 例イ</p> <p>C ○ いちねんせいとうた (なかむわりえこ) 文</p> <p>はなそう、きこう</p> <p>A ○ なつやすみのことをはなそう 例イ</p> <p>○ ひらがなあつまれ</p> <p>おはなしをたのしもう</p> <p>C ○ ゆうやけ 文 例イ (もりやまみやこ)</p> <p>○ かたかなをみつけよう</p> <p>よんでたしかめよう</p> <p>C ○ とうみのかくれんぼ 例イ</p> <p>かんじでかこう</p> <p>C ○ かずとかんじ</p> <p>ふろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●よこがきのかきかた ●このほんでならうかんじ ●かたかな ●ひらがな 	<p>こえにだしてよもう</p> <p>C ○ くじちくも 文 例イ (なかむわりえこ)</p> <p>よく見てかこう</p> <p>B ○ しらせたいな、見せたいな 例イ</p> <p>○ まちがいをなおそう</p> <p>○ かん字のはなし</p> <p>○ ことばを見つげよう</p> <p>くらべてよもう</p> <p>C ○ じどう車くらべ 例イ</p> <p>○ かたかなをかこう</p> <p>きいてたのしもう</p> <p>C ○ まのいりようし 文 例イ (いながかずこ)</p> <p>ほんはともだち</p> <p>C ○ えかしばなしがいっぱい (例)</p> <p>きいてしらせよう</p> <p>A ○ ともだちに、きいてみよう 例イ</p> <p>○ 日づけとよう日</p> <p>本はともだち</p> <p>○ 本をえらんでよもう (例)</p> <p>C ○ ずうっと、ずっと、大すきだよ (ハンス=ウィルヘルム) 文 例イ</p> <p>こえに出してよもう</p> <p>C ○ てんとうむし 文 (かむさきひろし)</p> <p>ことばって、おもしろいな</p> <p>○ ものの名まえ</p> <p>○ かたかなのかたち</p> <p>てがみをかこう</p> <p>B ○ てがみでしらせよう 例イ</p> <p>おはなしをたのしもう</p> <p>C ○ たぬきの糸車 (きしなみ) 文 例イ</p> <p>○ ことばをたのしもう</p> <p>ふたりでかんがえよう</p> <p>A ○ これは、なんでしょう 例イ</p> <p>ちがいをかんがえてよもう</p> <p>C ○ どうぶつのおちゃん (ますいみつこ) 例イ</p> <p>○ 〇にているかん字</p> <p>すきなところをさがしてよもう</p> <p>C ○ だてだてのおばあさん (さのようこ) 文 例イ</p> <p>おもい出してかこう</p> <p>B ○ いっこといっぱい、一年生 例イ</p> <p>ふろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まのいりようし (いながかずこ) ●しのひろば ●かたかなとひらがな ●これまでにならったかん字 ●この本でならうかん字 	<p>いつも気をつけよう・練習してみよう</p> <p>ことばのじゅんじゆんどう</p> <p>A ○ じゅんじゆんにならぼう</p> <p>一 おはなしを音読しよう</p> <p>C ○ あきのとう 文 例イ (くどうなおこ)</p> <p>C ○ きせつのことば1 春がいっぱい 文</p> <p>書くことをきめて、しらせよう</p> <p>A ○ 今週のニュース 例イ</p> <p>二 じゅんじゆんにつけて読もう</p> <p>C ○ たんぽぽのちえ 例イ</p> <p>(うえむらとしお)</p> <p>○ かん字のひろば 一年生でならったかん字1</p> <p>三 ていねいにかんさつして、きろくしよう</p> <p>B ○ かんさつ名人にならう 例イ</p> <p>きいてたのしもう</p> <p>C ○ 〇はの白うさぎ 文 例イ (なかむわりえこ)</p> <p>○ かたかなのひろば</p> <p>だいなことをおとさずに、話したり聞いたりしよう</p> <p>A ○ 〇ともさんはどこかな 例イ</p> <p>○ 同じぶぶんをもつかん字</p> <p>四 お話を読んで、かんそうを書こう</p> <p>C ○ スイミー 文 例イ</p> <p>○ かん字のひろば 一年生でならったかん字2</p> <p>くみ立てを考えて書き、知らせよう</p> <p>B ○ こんなもの、みつけたよ 例イ</p> <p>○ 丸、点、かぎ</p> <p>○ うれしいことば</p> <p>本はともだち</p> <p>○ お話クイズをしよう (例)</p> <p>C ○ ミリーのすてきなぼうし (きたむらさとし) 文 例イ</p> <p>○ かん字のひろば 一年生でならったかん字3</p> <p>C ○ きせつのことば 夏がいっぱい 文</p> <p>こえに出して読もう</p> <p>C ○ おおきなあれ (さかたひろお) 文 例イ</p> <p>つたえたいことをはっぴょうしよう</p> <p>A ○ 大きなもの、教えたい 例イ</p> <p>○ カンジーはかせの大きはつめい</p> <p>○ ことばであそぼう</p> <p>五 読んで考えたことを話そう</p> <p>C ○ どうぶつ園のじゅうい (うえたみや) 例イ</p> <p>ふろく がくしゅうを広げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「たいせつ」のまとめ ●いっはの白うさぎ (なかむわりえこ) ●この本、読もう ●ことばのたからばこ ●これまでにならったかん字 ●この本でならうかん字 	<p>一 音読がきをしよう</p> <p>C ○ お手紙 文 例イ (アーノルド=ローベル)</p> <p>○ 主語と述語</p> <p>○ かん字の読み方</p> <p>C ○ きせつのことば 秋がいっぱい 文</p> <p>二 まとまりに分けて、お話を書こう</p> <p>B ○ 話のさくしやにならう 例イ</p> <p>○ かたかなで書くことば</p> <p>三 せつめいのしかたに気をつけて読もう</p> <p>C ○ しかけカードの作り方 例イ</p> <p>○ かん字のひろば (いしむつみ)</p> <p>B ○ おもちの作り方 例イ</p> <p>四 組み立てを考えて、はっぴょうしよう</p> <p>A ○ あつらいいな、こんなもの 例イ</p> <p>○ 〇にたいみのことば、はんたいのいみのことば</p> <p>五 じんぶつと自分をくらべて読もう</p> <p>C ○ わたしはねえさん 文 例イ (いしむつみ)</p> <p>○ かん字の広場 一年生でならったかん字4</p> <p>C ○ きせつのことば 冬がいっぱい 文</p> <p>声に出してたのしもう</p> <p>C ○ てのひろを太線に (やなせたかし) 文 例イ</p> <p>ことばについて考えよう</p> <p>○ ようすをあらわすことば</p> <p>詩を作ろう</p> <p>B ○ 見たこと、かんじたこと 文 例イ</p> <p>聞いてたのしもう</p> <p>C ○ 三まいのおふだ 文 例イ</p> <p>六 知っていることとつなげて読もう</p> <p>C ○ おにごっこ (もりしたはるみ) 文 例イ</p> <p>○ かん字の広場 一年生でならったかん字5</p> <p>すすんで考えを出し合おう</p> <p>A ○ みんなできめよう 例イ</p> <p>○ なかまのことばとかん字</p> <p>七 お話を、そうぞうしながら読もう</p> <p>C ○ スーホの白い馬 (おつかゆうぞう) 文 例イ</p> <p>○ ことばを楽しもう</p> <p>できごとや気もちがたつたわらうように書こう</p> <p>B ○ 楽しかったよ、二年生 例イ</p> <p>ふろく がくしゅうを広げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「たいせつ」のまとめ ●この本、読もう ●十二支のはじまり (たにしんすけ) ●三まいのおふだ (せたていじ) ●これまでにならったかん字 ●この本でならうかん字

[調査票Ⅱ-2] 【2 東京書籍】 (小学校 国語)

3 学年		4 学年	
上	下	上	下
<p>○春の子ども (門倉詠)</p> <p>一 音読しよう</p> <p>○すいせんのラッパ (工藤直子)</p> <p>○図書館へ行こう ○日本語の調べ〜春 ○自分をしょうかいしよう ○国語じてんのつかみ方を知ろう</p> <p>二 読んで感そうをつたえ合おう</p> <p>○自然のかくし絵 (矢島絵)</p> <p>○「こそあど言葉」を使い分けよう</p> <p>○話したいな、うれしかったこと</p> <p>三 物語のしかけをさがそう</p> <p>○ゆうすげ村の小さな旅館 (茂市久美子)</p> <p>○漢字の組み立てと意味を考えよう</p> <p>○インタビューしてメモを取ろう</p> <p>○調べて書こう、わたしのレポート</p> <p>○俳句に親しもう ○日本語の調べ〜夏</p> <p>○本は友だち ○本との出会い (田部井博子) ○三年生の本だな (詩) 詩を読もう</p> <p>○紙のこうき ○夕日がせなかをおしてくる</p> <p>四 書き手のくふうを考えよう</p> <p>○「おけんだより」を読みくらべよう</p> <p>○はにのこったことを ○ローマ字</p> <p>ふろく 言葉のせかい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●読書の部屋 山のお書館 (肥田美代子) 道具を使う動物たち (堀近十九一) ●聞いてみよう ●書くときに気をつけよう ●学習で使う言葉 ●ローマ字の書き方 ●言葉の広場 ●「言葉の力」のまとめ ●日本の俳句 ●新しく習った漢字 ●二年までに習った漢字 	<p>○ぼくがここに (まど・みちお)</p> <p>一 感想をつたえ合おう</p> <p>○サーカスのライオン (川村たかし)</p> <p>○人物を考えて書こう</p> <p>○ようすをくわしく表そう</p> <p>○日本語の調べ〜秋</p> <p>○グループで話し合おう</p> <p>○慣用語を使おう</p> <p>○案内の手紙を書こう</p> <p>二 はたらく犬について調べよう</p> <p>○もうどう犬の御縁 (吉原順平)</p> <p>三 世界の物語をしょうかいしよう</p> <p>○はりねずみと金貨 (ウラジーミル・オルロフ 田中潔 やく)</p> <p>○日本語の調べ〜冬</p> <p>○気持ちを言葉こ ○わらい語を楽しもう</p> <p>四 世界の家のつくりについて考えよう</p> <p>○人をつづね (小松義夫)</p> <p>○漢字の表わす意味を考えよう</p> <p>○町について調べてしょうかいしよう</p> <p>○理由がわかるように書こう</p> <p>○いろいろなつたえ方を知ろう</p> <p>五 音読発表会をしよう</p> <p>○モチモチの木 (斎藤隆夫)</p> <p>○「わたしのベストブック」を作ろう</p> <p>ふろく 言葉の世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ●読書の部屋 手ぶくろを買いに (新美南吉) ●インタビューをしよう ●手紙を書こう ●学習で使う言葉 ●言葉の広場 ●「言葉の力」のまとめ ●「言葉の力」を活用しよう ●日本のわらい話 ●新しく習った漢字 ●三年までに習った漢字 ●ローマ字の表 	<p>○水平線 (小泉周二)</p> <p>一 音読しよう</p> <p>○こわれた千の楽器 (野呂さかん)</p> <p>○図書館へ行こう ○日本語の調べ〜春</p> <p>○心の動きを伝えよう</p> <p>○漢字の読み方に気をつけよう</p> <p>二 説明のまとまりを見つけよう</p> <p>○ヤドカリとインゲンチャク (武田正倫)</p> <p>○案内係ごなるう ○漢字辞典の使い方を知ろう</p> <p>三 人物の変化をとらえよう</p> <p>○走れ (村中幸衣)</p> <p>○メモの取り方をくふうして聞こう</p> <p>○ローマ字</p> <p>○みんなで新聞を作ろう</p> <p>○「ことわざブック」を作ろう</p> <p>○日本語の調べ〜夏</p> <p>○本は友だち ○本は楽しむもの (米村でんじろう) ○四年生の本だな (詩) 詩を読もう</p> <p>○ふしぎ (金子みすゞ)</p> <p>○よかったなあ (まど・みちお)</p> <p>四 身の回りの文章を読みくらべよう</p> <p>○広告と説明書を読みくらべよう</p> <p>○文の組み立てを考えよう</p> <p>○わたしの考えたこと</p> <p>ふろく 言葉の世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ●読書の部屋 一つの花 (今西祐行) 色さいとぐらし ●聞いてみよう ●新聞のわりつけ ●整理して書こう ●学習で使う言葉 ●言葉の広場 ●「言葉の力」のまとめ ●日本のかると ●新しく習った漢字 ●三年までに習った漢字 ●ローマ字の表 	<p>○きみに (和合亮一)</p> <p>一 感想を伝え合おう</p> <p>○ごんぎつね (新美南吉)</p> <p>○ある人物になったつもりで</p> <p>○文と文をつなぐ言葉の動きを考えよう</p> <p>○日本語の調べ〜秋</p> <p>○クラスで話し合おう</p> <p>○はなびやお札の手紙を書こう</p> <p>二 くらしの中にある「和」と「洋」を調べよう</p> <p>○くらしの中の和と洋</p> <p>○同じ読み方の漢字に気をつけよう</p> <p>三 読書会を開こう</p> <p>○世界一美しいぼくの村 (小林豊)</p> <p>○日本語の調べ〜冬</p> <p>○言葉をつなげて</p> <p>○「百人一首」を声に出して読んでみよう</p> <p>四 わたしたちの生活とロボットについて考えよう</p> <p>○「ゆめのロボット」を作る (小林宏)</p> <p>○漢字を使って読みやすい文を書こう</p> <p>○報告します、みんなの生活</p> <p>○目的や形式に合わせて書こう</p> <p>五 音読ぎきをしよう</p> <p>○木竜うるし (人形ぎき) (木下順二)</p> <p>○「言葉のタイムカプセル」を残そう</p> <p>ふろく 言葉の世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ●読書の部屋 世界一美しい村へ帰る (小林豊) ●アンケートで調べよう ●あて名の書き方 ●学習で使う言葉 ●言葉の広場 ●「言葉の力」のまとめ ●「言葉の力」を活用しよう ●日本の短歌 ●新しく習った漢字 ●四年までに習った漢字 ●ローマ字の表

[調査票Ⅱ-2] [11 学校図書] (小学校 国語)

3 学年		4 学年	
上	下	上	下
<p>○どきん (詩) (谷川俊太郎)</p> <p>○コロコロ・スピーチ</p> <p>○三まいのおふだ にいかたの昔話</p> <p>ふしぎな物語を読もう</p> <p>○つり橋わたれ (長崎源之助)</p> <p>○言葉のきまり1</p> <p>○漢字のへや1</p> <p>○引用</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○にせてみます</p> <p>二 合図としのしるしを書きよめる</p> <p>○合図としのしるし</p> <p>○言葉のいずみ1</p> <p>○漢字のへや2</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>○文章のまとまりと分かりやすさ</p> <p>三 しょうかいしたいことを話そう</p> <p>○わたし・ぼくの「好きなこと」「とくいわざ」しょうかい</p> <p>○言葉のきまり2</p> <p>○漢字のへや3</p> <p>○新しい漢字</p> <p>四 読書を楽しもう</p> <p>○あらしの夜に (木村裕一)</p> <p>○おもしろさを話し合おう</p> <p>○読書のへや 詩を味わおう</p> <p>○うち知ってんねん (島田陽子)</p> <p>○夕日がせなかをおしてくる (阪田寛夫)</p> <p>○言葉のリズムを感じてみよう 俳句</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>○案内状を書こう</p> <p>五 知ろう・つたえよう</p> <p>○見てきたことを新聞にまとめよう</p> <p>○言葉のいずみ2</p> <p>○漢字のへや4</p> <p>○ローマ字</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>しりょうへん</p> <ul style="list-style-type: none"> ●夏の宿題 (後藤みわこ) ●図書室で本をさがそう ●三まいのおふだ (水沢謙一) ●三にかんけいのある物語を楽しもう ●じゅ業で使う言葉 ●国語のカギ ●この本で学習した漢字 ●二年生までに学習した漢字 	<p>○いきもの (詩) (江藤直子)</p> <p>○マンホールのふた</p> <p>一 感想文を書こう</p> <p>○ネコのひげ (折井英治)</p> <p>○言葉のきまり1</p> <p>○漢字の部屋 1</p> <p>二 学級会で話し合おう</p> <p>○クラスレクリエーションをしよう</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>○言葉のいずみ</p> <p>○漢字のへや2</p> <p>○見たこと、感じたこと (詩)</p> <p>三 物語をしようかひしよう</p> <p>○モチモチの木 (斎藤孝介)</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○絵をくらべながら読んでみよう</p> <p>○本のポップを作ろう</p> <p>○読書の部屋</p> <p>四 話を作ろう</p> <p>○写真が動き出す</p> <p>○心をとどけよう、受け止めよう</p> <p>○言葉のきまり2</p> <p>○漢字のへや3</p> <p>五 分類して整理し、説明しよう</p> <p>○冬眠する動物たち</p> <p>○言葉で遊ぶ</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>○考えを広げよう、まとめよう</p> <p>六 調べたことをほうこくしよう</p> <p>○遊びをくらべよう</p> <p>○言葉のいずみ2</p> <p>○漢字のへや4</p> <p>七 おもしろさをくらべよう</p> <p>○わにのおじいさんのたから物 (川崎洋)</p> <p>○ローマ字</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>これからのあなたへ</p> <p>○なにかをひとつ (やなせたかし)</p> <p>しりょうへん</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ミラクル ミルク (中西敏夫) ●わたしたち手で話します (フランツ・ヨーゼフ・ファイニク) ●じゅ業で使う言葉 ●国語のカギ ●この本で学習した漢字 ●三年生までに学習した漢字 	<p>○春のうた (詩) (草野心平)</p> <p>○遊びの教えっこ</p> <p>○頭にかきの木 日本民話</p> <p>一 イメージをふくらませて読もう</p> <p>○白いぼうし (あまみきみこ)</p> <p>○言葉のきまり1</p> <p>○漢字の部屋1</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>○ムササビのひみつ</p> <p>二 要点をたしかめ、筆者の問いに答えよう</p> <p>○あめんぼおんせん者か (日向誠彦)</p> <p>○要約</p> <p>○言葉のいずみ1</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>○漢字の部屋2</p> <p>○まとまり (段落) と分かりやすさ</p> <p>三 しょうらいのゆめを話そう</p> <p>○ドリームツリーを作って発表しよう</p> <p>○言葉のきまり2</p> <p>○漢字の部屋3</p> <p>○すじ道を立てて書く</p> <p>○新しい漢字</p> <p>四 読書を楽しもう</p> <p>○ポレポレ (西村まり子)</p> <p>○みづみづな人物をしょうかいしよう</p> <p>○読書の部屋</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>詩を味わおう</p> <p>○はじめて小鳥が孵んだとき (原田直友)</p> <p>○ふしぎ (金子みすず)</p> <p>○言葉から風景を想像しよう 百人一首</p> <p>○身の回りのメディアを研究しよう</p> <p>○いらい状とお礼状 (手紙)</p> <p>六 知ろう・つたえよう</p> <p>○見学したことを報告しよう</p> <p>○言葉のいずみ2</p> <p>○言葉の広場</p> <p>○新しい漢字</p> <p>しりょうへん</p> <ul style="list-style-type: none"> ●だまし絵で分かる脳のしくみ (竹内龍人) ●一つの花 (今西祐行) ●地いきの図書館を利用しよう ●頭にかきの木 (唯野元弘) 日本民話 ●おもしろさを分かち合おう ●じゅ業で使う言葉 ●国語のカギ ●この本で学習した漢字 ●三年生までに学習した漢字 	<p>○ぶどう (詩) (野呂和)</p> <p>○落ち葉でなく落ちえだ (高柳芳恵)</p> <p>一 自分の考えを深めよう</p> <p>○さわっておどろく (広瀬吉二郎)</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉のきまり1</p> <p>○漢字の部屋1</p> <p>二 問題を解決するために話し合おう</p> <p>○自分の安全は、自分で守ろう</p> <p>○言葉のいずみ1</p> <p>○漢字の部屋2</p> <p>○心に残っていること (詩)</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>三 物語の書かれ方を話し合おう</p> <p>○ごんぎつね (新美南吉)</p> <p>○生活の中に生きている読書 (読)</p> <p>○読書の部屋 (読)</p> <p>四 話を作り上げよう</p> <p>○これであなたも作家になれる</p> <p>○言葉のいろいろな表じよう</p> <p>○言葉のきまり2</p> <p>○漢字の部屋3</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>五 文化のちがいをまとめよう</p> <p>○手で食べる、はしで食べる (森枝卓士)</p> <p>○言葉で遊ぶ</p> <p>六 絵から読み取ったことを伝えよう</p> <p>○ミニギャラリーの解説委員になろう</p> <p>○言葉のいずみ2</p> <p>七 表現のくふうを見つけよう</p> <p>○世界でいちばんやかましい音 (ベンジャミン=エルギン)</p> <p>○新しい漢字</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう</p> <p>これからのあなたへ</p> <p>○ぼくがここに (まどみちお)</p> <p>しりょうへん</p> <ul style="list-style-type: none"> ●りんご畑の九月 (後藤竜二) ●じゅ業で使う言葉 ●国語のカギ ●この本で学習した漢字 ●四年生までに学習した漢字

[調査票Ⅱ-2] 【15 三省堂】 (小学校 国語)

3 学年		4 学年	
小学生の国語	学びを広げる	小学生の国語	学びを広げる
<p>三年生で学ぼうすること 声に出して読もう</p> <p>○ うんとこしょ (谷川俊太郎) 例イ</p> <p>お話を聞こう</p> <p>○ ききみみずきん (木下順二) 例イ</p> <p>○ 図書館へ行こう</p> <p>○ 新しい漢字を学ぼう 1</p> <p>人物のようすに気をつけて読もう</p> <p>○ ピータイルねこ (岡田厚) 例イ</p> <p>○ 言葉のなかま分け</p> <p>すじ道を立てて読そう</p> <p>○ 小さなできごと</p> <p>○ 新しい漢字を学ぼう 2</p> <p>まとまりに気をつけて読もう</p> <p>○ 米と麦 (吉田久) 例イ</p> <p>○ 本をさがそう</p> <p>○ あんないの手紙を書こう</p> <p>○ 二年生で学んだ漢字①</p> <p>○ 新しい漢字を学ぼう③</p> <p>○ 声を合わせて楽しく読もう</p> <p>中心をはっきりさせて書こう</p> <p>○ 自分を見つめて</p> <p>○ 国語じてんをつかおう</p> <p>○ 新しい漢字を学ぼう 4</p> <p>会話に気をつけて、声に出して読もう</p> <p>○ うさぎのさいばん (キム=センシ カみやこじ やく) 例イ</p> <p>○ 何をしているのかな</p> <p>○ 送りがな</p> <p>○ 声に出して読もう一俳句</p> <p>○ あまんさんのへや</p> <p>様子进行いかへながら読もう</p> <p>○ ぼくら (木村信子)</p> <p>○ 二年生で学んだ漢字②</p> <p>○ 新しい漢字を学ぼう 5</p> <p>役わりを考えながら話し合おう</p> <p>○ よりよいウラスを作ろう</p> <p>○ 漢字の組み立て</p> <p>○ 図かんでしらべよう</p> <p>つたえたいことに合わせて書き方をくふうしよう</p> <p>○ こんなり方をおすすめします</p> <p>○ ローマ字</p> <p>○ 新しい漢字を学ぼう 6</p> <p>人物の気持ちを考えながら読もう</p> <p>○ わすれられないおくり物 (スーザン=バーレイ 小川仁央 やく) 例イ</p> <p>○ 漢字じてんを引いてみよう</p> <p>○ 二年生で学んだ漢字③</p> <p>○ 新しい漢字を学ぼう 7</p> <p>まとまりごとの大事なことをとらえよう</p> <p>○ 「農業」をする魚 (新田広末) 例イ</p> <p>○ まとめた言葉</p> <p>○ こそあど言葉</p> <p>くふうして音読しよう</p> <p>○ 夕日がせなかをおしてる (坂田寛夫) 例イ</p> <p>○ 新しい漢字を学ぼう 8</p> <p>組み立てを考えて書こう</p> <p>○ クラスのことを調べよう</p> <p>○ 南の島へようこそ</p> <p>くふうして楽しく書こう</p> <p>○ カルタを作ろう</p> <p>○ 二年生で学んだ漢字④</p> <p>○ 新しい漢字を学ぼう 9</p> <p>読んで、生活の中でたしかめよう</p> <p>○ 身ぶりのわたらき (東山安子) 例イ</p> <p>話の中心に気をつけて聞こう</p> <p>○ 昔のことを聞いてきました</p> <p>○ くわしくする言葉</p> <p>○ 二年生で学んだ漢字⑤</p> <p>○ 新しい漢字を学ぼう 10</p> <p>読んで感じたことをつたえ合おう</p> <p>○ 〇いち (三越左千夫) 例イ</p> <p>場面の様子を思いかへながら読もう</p> <p>○ おいたのぼうし (あまんきみこ) 例イ</p> <p>読む人のことを考えて、つたえ方をくふうしよう</p> <p>○ 三年生は楽しいよ</p>	<p><言葉のポケット></p> <p>○ 〇一対一で話すと きには</p> <p>○ 〇わかりやすい文 を書くには</p> <p>○ 〇アンケートを活 用しよう</p> <p>○ 〇国語学習のため の用語集</p> <p>○ 〇動きを表す言葉</p> <p>○ 〇ちがう字で同じ 読み</p> <p>○ 〇ローマ字で遊ぼ う</p> <p><読書の森></p> <p>○ 〇小さな図書館</p> <p>○ 〇手ぶくろを買い に</p> <p>○ 〇いのちのおはな し</p> <p>○ 〇星取り「笑い 話」</p> <p>○ 〇いろは歌</p> <p>○ 〇竹取物語</p>	<p>四年生で学習すること 声に出して読もう</p> <p>○ 〇まいにち「おまつ」 (工藤直子) 例イ</p> <p>お話を聞こう</p> <p>○ 〇おじいちゃんの水のおいがした (今森光彦) 例イ</p> <p>○ 〇図書館へ行こう</p> <p>○ 〇新しい漢字を学ぼう 1</p> <p>様子を思いかへながら音読しよう</p> <p>○ 〇白いぼうし (あまんきみこ) 例イ</p> <p>○ 〇文と文をつなぐ言葉</p> <p>○ 〇くんのことを考えて読もう</p> <p>○ 〇こんなこと、ありませんか</p> <p>○ 〇新しい漢字を学ぼう 2</p> <p>段落のつながりに気をつけて読もう</p> <p>○ 〇打ち上げ花火のひみつ (研木一馬) 例イ</p> <p>○ 〇ふせん紙を使って整理しよう</p> <p>○ 〇お誕生日の手紙を書こう</p> <p>○ 〇三年生で学んだ漢字①</p> <p>○ 〇新しい漢字を学ぼう 3</p> <p>感じたことをくふうして書き表そう</p> <p>○ 〇みんなの詩、わたしの詩</p> <p>○ 〇漢字辞典をつかおう</p> <p>○ 〇新しい漢字を学ぼう 4</p> <p>場面をつらかりに気をつけて読もう</p> <p>○ 〇いわたくちのおおあちゃん (天野真美) 例イ</p> <p>○ 〇写真に題名をつけよう</p> <p>○ 〇漢字の意味</p> <p>○ 〇声に出して読もう一短歌</p> <p>○ 〇あまんさんのへや</p> <p>様子进行いかへながら読もう</p> <p>○ 〇夏の海 (川崎洋) 例イ</p> <p>○ 〇三年生で学んだ漢字②</p> <p>○ 〇新しい漢字を学ぼう 5</p> <p>進行にそって話し合おう</p> <p>○ 〇安全について考えよう</p> <p>○ 〇漢字の足し算</p> <p>○ 〇百科事典でしらべよう</p> <p>理由をはっきりさせて書こう</p> <p>○ 〇お気に入りの場所</p> <p>○ 〇ローマ字</p> <p>○ 〇新しい漢字を学ぼう 6</p> <p>気持ちの変化を考えながら読もう</p> <p>○ 〇ごんぎつね (新美南吉) 例イ</p> <p>○ 〇国語辞典を活用しよう</p> <p>○ 〇三年生で学んだ漢字③</p> <p>○ 〇新しい漢字を学ぼう 7</p> <p>段落の関係をとらえて読もう</p> <p>○ 〇月のかげ絵 (藤井旭) 例イ</p> <p>○ 〇大きくなったらなりたいもの</p> <p>○ 〇文の区別れ</p> <p>くふうして音読しよう</p> <p>○ 〇冬の満月 (筒木あきこ) 例イ</p> <p>○ 〇新しい漢字を学ぼう 8</p> <p>組み立てをくふうして書こう</p> <p>○ 〇新聞でニュースを伝える</p> <p>○ 〇新聞のくふうを知ろう</p> <p>○ 〇故事成語の物語</p> <p>○ 〇三年生で学んだ漢字④</p> <p>○ 〇新しい漢字を学ぼう 9</p> <p>読んで考えたことをたしかめよう</p> <p>○ 〇じゃんけんの仕組み (加藤良平) 例イ</p> <p>○ 〇レポーターになろう</p> <p>○ 〇漢字の使い分け</p> <p>○ 〇三年生で学んだ漢字⑤</p> <p>○ 〇新しい漢字を学ぼう 10</p> <p>読んで感じたことを伝え合おう</p> <p>○ 〇ふしぎ (金子みすゞ) 例イ</p> <p>人物像をとらえて読もう</p> <p>○ 〇あたまにつまった石ころが (キャロル=オーテ イス=ハースト 千葉茂樹 やく) 例イ</p> <p>○ 〇二十才のわたし</p>	<p><言葉のポケット></p> <p>○ 〇グループで話す ときには</p> <p>○ 〇お願いの手紙を 書くときには</p> <p>○ 〇インタビューす るときには</p> <p>○ 〇国語学習のため の用語集</p> <p>○ 〇感覚を表す言葉</p> <p>○ 〇ちがう字で同じ 読み</p> <p>○ 〇点字の五十音表</p> <p>○ 〇点字について知 るう</p> <p><読書の森></p> <p>○ 〇小さな図書館</p> <p>○ 〇一つの花</p> <p>(今西祐行) 例イ</p> <p>○ 〇より確かに、より 豊かに読もう</p> <p>○ 〇まんじゅうこわ い</p> <p>(石崎洋司) 例イ</p> <p>○ 〇小倉百人一首</p> <p>(藤) 例イ</p> <p>○ 〇浦島太郎 (藤) 例イ</p>
<p>ふろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三年生で学ぶ漢字 ● 身につけたい漢字 ● ひらがな・かたかな・ローマ字の表 ● 「おぼえておきましょう」のまとめ 		<p>ふろく</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 四年生で学ぶかん字 ● 身につけたいかん字 ● ひらがな・かたかな・ローマ字の表 ● 特別な書き表し方をするかたかな ● 「覚えておきましょう」のまとめ 	

3 学年		4 学年	
上	下	上	下
<p>○ひろがる言葉 ことばと出会おう ○かえるのびよん (谷川俊太郎) ○「聞き取りクイズ」をしよう 一 物語のつぎをそうぞうしよう ○白い花びら (やえがしなおこ) ○「発見ノート」を作ろう ○国語辞典の引き方 二 大事なことをまとめよう ○めだか (杉浦宏) ○本で調べよう 三 理由やれいをあげて説明しよう ○生き物のとくちょうをくらべて書こう ○漢字の広場1 漢字学習ノート 四 日本語のひびきにふれよう ○俳句に親しむ ○きせつの言葉を集めよう 一春・秋一 五 すじみちを立てて発表しよう ○たからものをしょうかいしよう ○漢字の広場2 漢字の音と訓 六 言葉の使い方を考えよう ○気持ちをつたえる話し方・聞き方 七 物語をそうぞうして書こう ○のらねこ (三木卓) ○いろいろな手紙を書こう 八 調べたことをほうこくしよう ○見学したことを知らせよう ○漢字の広場3 送りがな 九 物語をしょうかいしよう ○わすれられないおくりもの (スーザン=パーレイ 小川二 央 訳) ○ローマ字 ふろく ●この本で学ぶこと ●ことばの木 ●漢字を学ぼう ●3年生で読みたい本①②</p>	<p>○いたそうね (岡山孝介) 一 絵文字について説明しよう ○くらしと絵文字 ○はつとしたことを詩に書こう ○きせつの言葉を集めよう 一秋・冬一 二 話し合っ、みんなの考えをまとめよう ○係の活動について考えよう ○漢字の広場4 へんとづくり 三 物語のおもしろいところをしょうかいしよう ○モチモチの木 (斎藤隆介) ○「おすすめ図書カード」を活用しよう ○こそあど言葉 四 日本文化に親しもう ○ことわざ・慣用句 ○漢字の広場5 三年生で学ぶ漢字② ○詩を楽しもう ○文の組み立て 五 たまごの見分け方をしょうかいしよう ○どちらが生たまごでしょう ○漢字の広場6 漢字の組み立て 六 調べてほうこくしよう ○町の行事について調べよう 七 中心場面を明らかにして書こう ○強く心にのこっていることを ○漢字の広場7 二つの漢字の組み合わせ 八 物語を読んで、手紙を書こう ○おにたのぼうし (あまんきみこ) ○国語の学習 これまでこれから ふろく ●この本で学ぶこと ●横書きの手紙の書き方 ●いろいろなかっこ ●言葉の木 ●漢字を学ぼう ●3年生で読みたい本③④</p>	<p>○ひろがる言葉 言葉と出会おう ○春のうた (草野心平) ○くらべて発見しよう 一 想像を広げて日記を書こう ○白いぼうし (あまんきみこ) ○心のスケッチをしよう ○漢字の広場1 漢字の部首 二 わかったことを説明しよう ○花を見つける手がかり (吉原順平) ○分類をもとに本を見つけよう ○漢字辞典の引き方 三 課題こそって報告文を書こう ○見学したことを報告しよう 四 日本語のひびきにふれよう ○短歌の世界 ○月のつく言葉 五 話の組み立てを考えて、発表しよう ○写真をもとに話そう ○漢字の広場2 漢字の音を表す部分 六 言葉の使い方を考えよう ○言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ ○修辭語 七 物語の世界を想像して、音読したり、えんじたりしよう ○そろそろ (三遊亭円徳) 八 よりよい話し合いの仕方を考えよう ○クラスで話し合おう ○学級新聞を作ろう 九 感想を友達に伝えよう ○一つの花 (今西祐行) ○漢字の広場3 送りがなの使い方 付録 ●この本で学ぶこと ●言葉の木 ●司書 ●漢字を学ぼう ●4年生で読みたい本①②</p>	<p>○ひろがる言葉 一 興味をもったことをしょうかいしよう ○ウミガメの命をつなぐ (松田乾) ○もみじ 二 ぶんたんして図かんを作ろう ○「不思議かん」を作ろう ○漢字の広場4 いろいろな意味を表す漢字 三 テーマを決めて、本をしょうかいしよう ○ごんぎつね (新美南吉) ○「読書発表会」をしよう ○二つのことがらをつなぐ 四 日本文化に親しもう ○故事成語 ○物語を書こう ○詩を読もう ○漢字の広場5 熟語のでき方 五 「便利」について考えよう ○「便利」ということ (太田正己) 六 ポスターを使って発表しよう ○調べてわかったことを発表しよう ○漢字の広場6 同じ読み方の漢字の使い分け ○点(・)を打つところ 七 様子がわかるように、言葉を選んで書こう ○心の動きがわかるように 八 音節がきをしよう ○木竜うるし(人形がき) (木下順二) ○国語の学習 これまでこれから 付録 ●この本で学ぶこと ●「百人一首」を読もう ●アンケートのとおり方 ●言葉の木 ●漢字を学ぼう ●4年生で読みたい本③④</p>

3 学年		4 学年	
上	下	上	下
<p>三年生の学習を見わたそう いつも気をつけよう・続けてみよう ことばのじゅんぷりうんどう</p> <p>A ○よく聞いて、じこしようかい 詩を楽しもう</p> <p>C ○どきん (谷川俊太郎)</p> <p>一 場面のようなすを思いうかべ、音読しよう</p> <p>C ○きつぎの商店 (林原玉枝)</p> <p>B ○国語辞典のつかい方 D ○漢字の音と訓 E ○きせつの言葉1 春の楽しみ</p> <p>話の中心に気をつけて聞き、しつもんをしたり、かんそうを言ったりしよう</p> <p>A ○よい聞き手になろう B ○きちんとつたえるために C ○こそあど言葉 D ○漢字の広場 二年生で習った漢字1</p> <p>二 まとまりをとらえて読み、かんそうを語そう</p> <p>C ○言葉で遊ぶ (小野浩輔) D ○こまを楽しむ (佐藤正樹)</p> <p>声に出して楽しもう</p> <p>C ○俳句を楽しもう</p> <p>三 ざいりょうを集めて、ほうこくする文章を書こう</p> <p>B ○気になる記号 C ○符号など D ○漢字の広場 二年生で習った漢字2</p> <p>聞いて楽しもう</p> <p>C ○たのきゅう (武田明)</p> <p>D ○きせつの言葉2 夏の楽しみ</p> <p>四 読んで、かんじたことを発表しよう</p> <p>C ○もうすぐ雨に (伊木梓)</p> <p>気持ちががったわろ手紙を書こう</p> <p>B ○「ありがどう」をつたえよう</p> <p>D ○漢字の広場 二年生で習った漢字3</p> <p>本は友だち</p> <p>C ○本を使って調べよう (今森光彦)</p> <p>D ○里山は、未来の風景 詩を楽しもう</p> <p>C ○わたしと小鳥とすずと (金子みすゞ) D ○山のてっぺん (岸田祐子)</p> <p>五 進行を考えながら話し合おう</p> <p>A ○つたえよう、楽しい学校生活</p> <p>D ○へんとつくり E ○ローマ字</p> <p>ふろく 学習を広げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「たいせつ」のまとめ ●この本、読もう ●言葉のたから箱 ●学習に用いる言葉 ●たのきゅう (武田明) ●ひらがなとかたかな ●ローマ字の表 ●これまでに習った漢字 ●この本で習う漢字 	<p>一 場面のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう</p> <p>C ○ちいちゃんのかげおくり (あまんきみこ)</p> <p>D ○漢字の広場 二年生で習った漢字4</p> <p>E ○修飾語</p> <p>B ○きせつの言葉3 秋の楽しみ</p> <p>二 せつめいのくふうについて話し合おう</p> <p>C ○すがたをかえる大豆 (国分枝術)</p> <p>れいをあげてせつめいしよう</p> <p>B ○食べ物のひみつを教えます</p> <p>声に出して楽しもう</p> <p>D ○短歌を楽しもう E ○漢字の意味</p> <p>三 おもしろいと思うところを、しょうかめいしよう</p> <p>C ○三年とうげ (李錦玉)</p> <p>組み立てにそって、物語を書こう</p> <p>B ○たから島のぼうげん D ○漢字の広場 二年生で習った漢字5</p> <p>言葉について考えよう</p> <p>D ○言葉进行分类する E ○きせつの言葉4 冬の楽しみ</p> <p>詩を楽しもう</p> <p>C ○雪 (三好達治) D ○ゆき (草野心平) E ○雪 (山村暮鳥)</p> <p>B ○自分だけの詩集を作ろう</p> <p>四 考えの進め方をとらえて、科学読み物をしょうかめいしよう</p> <p>C ○ありの行列 (大滝哲也)</p> <p>しりょうから分かったことを、すじ道を立てて語そう</p> <p>A ○しりょうから分かる、小学生のこと D ○コンピュータのローマ字入力 E ○カンジーはかせの音読かるた</p> <p>五 本で調べて、ほうこくする文章を書こう</p> <p>B ○ことわざについて調べよう</p> <p>D ○漢字の広場 二年生で習った漢字6</p> <p>六 心にこったことを、自分の言葉で表そう</p> <p>C ○モチモチの木 (斎藤孝介)</p> <p>B ○わたしの三大ニュース</p> <p>ふろく 学習を広げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「たいせつ」のまとめ ●この本、読もう ●脚本 とらとおじいさん アルビントレセルト ●知ると楽しい「故事成語」 ●学習に用いる言葉 ●ローマ字の表 ●これまでに習った漢字 ●この本で習う漢字 	<p>四年生の学習を見わたそう いつも気をつけよう・続けてみよう 言葉のじゅんぷり運動</p> <p>A ○ばらばら言葉を開き取ろう 詩を楽しもう</p> <p>B ○春のうた (草野心平)</p> <p>一 登場人物の人がらをとらえ、話し合おう</p> <p>C ○白いぼうし (あまんきみこ)</p> <p>D ○漢字の組み立て E ○漢字辞典の使い方</p> <p>B ○きせつの言葉1 春の風景</p> <p>話し合ひのしかたについて考えよう</p> <p>A ○よりよい話し合ひをしよう</p> <p>二 きょうみをもったところを発表しよう</p> <p>C ○大きな力を出す (西嶋尚彦)</p> <p>D ○動いて、考えて、また動く (高野節)</p> <p>D ○漢字の広場 三年生で習った漢字1</p> <p>声に出して楽しもう</p> <p>C ○短歌・俳句に親しもう (一)</p> <p>三 調べたことを整理して書こう</p> <p>B ○新聞を作ろう D ○いろいろな意味をもつ言葉 聞いて楽しもう</p> <p>C ○ふるぎのもり (額田貞二)</p> <p>四 場面の様子に着目して読み、しょうかめいしよう</p> <p>C ○一つの花 D ○きせつの言葉2 夏の風景</p> <p>組み立てを考えて書こう</p> <p>B ○自分の考えをつたえるには D ○漢字の広場 三年生で習った漢字2</p> <p>本は友達</p> <p>C ○「読むこと」について考えよう (説)</p> <p>D ○かが (ニコライ=スラトコフ)</p> <p>詩を読もう</p> <p>C ○忘れもの (高田敏子) D ○ぼくは川 (阪田寛夫)</p> <p>D ○カンジーはかせの漢字しりとり</p> <p>五 調べたことを整理し、発表しよう</p> <p>A ○だれもが関わり合えるように D ○手と心で「読」(資料) (大島健甫)</p> <p>D ○漢字の広場 三年生で習った漢字3</p> <p>付録 学習を広げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「たいせつ」のまとめ ●この本、読もう ●言葉のたから箱 ●山はこ、おことわり (あまんきみこ) ●ふるぎのもり (額田貞二) ●手紙で伝えよう ●ローマ字の表 ●これまでに習った漢字 ●この本で習う漢字 	<p>一 読んで考えたことを話し合おう</p> <p>C ○こんぎつね (新後南吉)</p> <p>D ○きせつの言葉3 秋の風景</p> <p>D ○慣用句</p> <p>二 段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう</p> <p>C ○アップとルーズで伝える (中谷日出)</p> <p>説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう</p> <p>B ○「クラブ活動リフレット」を作ろう 声に出して楽しもう</p> <p>C ○短歌・俳句に親しもう (二)</p> <p>三 心に残ったことを感想文を書こう</p> <p>C ○プラタナスの木 (椎名誠)</p> <p>D ○漢字の広場 三年生で習った漢字4</p> <p>言葉について考えよう</p> <p>D ○文と文をつなぐ言葉 詩を楽しもう</p> <p>C ○のはらうた (江藤直子)</p> <p>詩を書こう</p> <p>B ○野原に集まれ D ○季節の言葉 冬の風景</p> <p>四 きょうみをもったところを中心に、しょうかめいしよう</p> <p>C ○ウサギのなぞを追って (飯本勝巳)</p> <p>D ○漢字の広場 三年生で習った漢字5</p> <p>大事なことを落とさずに聞こう</p> <p>A ○聞き取りメモの工夫 D ○熟語の意味</p> <p>五 本で調べて、ほうこくする文章を書こう</p> <p>B ○わたしの研究レポート D ○まちがえやすい漢字</p> <p>六 読んで感じたことが伝わるように、音読しよう</p> <p>C ○初雪のふる日 (安房直子)</p> <p>D ○漢字の広場 三年生で習った漢字6</p> <p>未来の自分に手紙を書こう</p> <p>B ○十年後のわたしへ</p> <p>付録 学習を広げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「たいせつ」のまとめ ●この本、読もう ●百人一首に親しもう ●学習に用いる言葉 ●これまでに習った漢字 ●この本で習う漢字

【調査票Ⅱ-3】 【2 東京書籍】 (小学校 国語)

5 学年		6 学年	
<p>○ぼくらのもの 文 (与田準一)</p> <p>一 音読しよう</p> <p>○だいたいようぶ だいじようぶ 文 いとうひろし</p> <p>■ ○図書館へ行こう ○日本語の調べ春</p> <p>○一つの言葉から 例ア</p> <p>二 筆者の考えをまとめて伝え合おう</p> <p>○動物の体と気候 例イ (増井光子)</p> <p>○文の組み立てに気をつけよう</p> <p>○意見と理由を聞き取ろう</p> <p>三 物語の山場をとらえよう</p> <p>○世界でいちばんやがましい音 文 (ベンジャミン・エルキン松岡 享子 訳)</p> <p>四 書き手の意図を考えながら新聞を 読もう</p> <p>○新聞の記事を読み比べよう 例イ 例イ</p> <p>○漢字の由来に関心を持とう</p> <p>○立場を決めて討論をしよう ○日本語の調べ夏</p> <p>○本は友達 (説) ○すてきなこと (あさのあつこ) ○五年生の本だな</p> <p>詩を味わおう</p> <p>○解読風船 文 (黒田三郎)</p> <p>○水のこころ 文 (高田敏子)</p> <p>○資料を生かして考えたことを書 ころ</p> <p>○古文を声に出して読んでみよう</p> <p>○敬語を適切に使おう</p>	<p>五 物語の良さを解説しよう</p> <p>○注文の多い料理店 文 (宮沢賢治)</p> <p>○不思議な世界へ出かけよう 例ア</p> <p>○意味をそえる言葉に目を向けよ う ○日本語の調べ秋</p> <p>六 和の文化について調べよう</p> <p>○和の文化を受けつぐ 例イ (中山圭子)</p> <p>○熟語の構成を知ろう</p> <p>七 伝記を読んで、感想文を書こう</p> <p>○手塚治虫 例イ (国松俊英)</p> <p>○日本語の調べ冬</p> <p>○五・七・五で表そう 例ア</p> <p>○古文に親しもう</p> <p>○伝えよう、委員会活動 例イウ</p> <p>八 わたしたちとメディアとの関わり について考えよう</p> <p>○テレビとの付き合い方 例イ (佐藤二雄)</p> <p>○六年生におくる字をすいせんし よう 例イ</p> <p>○方言と共通語</p> <p>九 朗読で発表しよう</p> <p>○大造いさんとがん 文 (椋島十)</p> <p>○わたしの文章見本帳を作ろう</p> <p>付録 言葉の世界 ●読書の部屋 宮沢賢治 西本鶏介 森林のおくりもの (富山和子) ●聞いてみよう ●文章の種類 ●学習で使う言葉 ●言葉の広場 ●「言葉の力」のまとめ ●「言葉の力」を活用しよう ●日本の文学館 ●新しく習った漢字 ●五年までに習った漢字 ●ローマ字の表</p>	<p>○いのち 文 (小海永二)</p> <p>一 朗読しよう</p> <p>○サボテンの花 文 (やなせたかし)</p> <p>○生きる 文 (谷川俊太郎)</p> <p>■ ○図書館へ行こう ○日本語の調べ春</p> <p>○ずい筆を書こう 例ア</p> <p>二 文章を読んで自分の考えを持とう</p> <p>○イースター島にはなぜ森林がな いのか 例イ (鷲谷いづみ)</p> <p>○意見と理由とのつながりを聞き 取ろう</p> <p>○熟語の構成を考えよう</p> <p>三 人物と人物との関係を考えよう</p> <p>○風切るつばさ 文 (木村裕一)</p> <p>四 新聞の投書を読んで意見を書こう</p> <p>○新聞の投書を読み比べよう 例イ 例イ</p> <p>○問題を解決するために話し合お う ○日本語の調べ夏</p> <p>○本は友達 (説) ○未知の世界へ (山崎直子) ○六年生の本だな</p> <p>詩を味わおう</p> <p>○いま始まる新しいいま 文 (川崎洋)</p> <p>○資料を生かして呼びかけよう 例イ</p> <p>○漢文を読んでみよう</p> <p>○日本の文学に関心を持とう</p>	<p>五 感動の中心をとらえよう</p> <p>○海のいのち 文 (立松和平)</p> <p>○物語を作ろう 例ア</p> <p>○場面に応じた言葉を使おう ○日本語の調べ秋</p> <p>六 町の未来をえがこう</p> <p>○町の幸福論を考える 例イ 例イ (山崎和)</p> <p>○言葉の由来に関心をもとう</p> <p>七 本を読んですいせんしよう</p> <p>○ヒロシマのうた 文 例イ (今西祐介)</p> <p>○日本語の調べ冬</p> <p>○句会を開こう 例ア</p> <p>○いこしえの言葉と学ぶ</p> <p>○言葉は変わる</p> <p>○出会いにありがとう</p> <p>八 将来の夢や生き方について考えよ う</p> <p>○プロフェッショナルたち 例イ 例イ</p> <p>○六年間をふり返って書こう 例イ</p> <p>九 未来をよめかたって</p> <p>○君たちに伝えたいこと 文 (日野原直明)</p> <p>○春に 文 (谷川俊太郎)</p> <p>付録 言葉の世界 ●読書の部屋 ●桃花片 (岡野薫子) ●未来を生かす自然のエネルギー 一 (牛山泉) ●聞いてみよう ●構成を考えよう ●学習で使う言葉 ●言葉の広場 ●「言葉の力」のまとめ ●「言葉の力」を活用しよう ●日本の伝統芸能 ●新しく習った漢字 ●小学校で習う漢字 ●ローマ字の表</p>

【調査票Ⅱ-3】 【11 学校図書】 (小学校 国語)

5 学年		6 学年	
上	下	上	下
<p>○今日はきのうの続きだけれど (詩) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>みつはし ちかこ</p> <p>○つなげてトーク <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○やまなし (宮沢賢治) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>一 物語のその後を話し合おう</p> <p>○みちくさ (阿部夏丸) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉のきまり1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢字の部屋1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○生命のかて・塩 (半田昌之) <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>二 要旨をとらえ、感想を伝え合おう</p> <p>○東京スカイツリーのひみつ (藤井友臣) <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>○言葉のいずみ1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢字の部屋2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○筋道 (論理) をたしかめる <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>三 自分の考えを提案しよう</p> <p>○学校を百倍すてきにする方法 <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>○言葉のいずみ2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢字の部屋3 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>四 読書を楽しもう</p> <p>○注文の多い料理店 (宮沢賢治) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○物語の人物が答えます <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○読書の部屋 (読) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>詩を味わおう</p> <p>○手紙 (鈴木敏史) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○OL マガレト=ライズ=ブレイク 言葉の文化に親しもう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○宇治拾遺物語 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○文語詩 やしの実 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○手紙の書き方 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>五 随筆を書こう</p> <p>○わたし風「枕草子」 <input checked="" type="checkbox"/> 例ア</p> <p>○言葉のきまり2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉の広場 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>資料編</p> <p>●和紙の心 (阿田誠之) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●父ちゃんの手紙 (長崎源之助) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●インターネットを活用して情報をさがそう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●やまなし (宮沢賢治) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●おもしろさを分析しよう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●授業で使う言葉 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●国語のカギ <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●この本で学習した漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●四年生までに学習した漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p>	<p>○紙風船 (詩) (黒田三郎) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>一 紀行文を読もう</p> <p>○トロッコ電車で行く黒部きょうこく (横溝英一) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉のきまり1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢字の部屋1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○意見と根拠をとらえる <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>二 立場を決めて討論をしよう</p> <p>○より良い考え方はどっち? <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>○表やグラフを使って伝えよう <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>○言葉のいずみ1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢字の部屋2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○短歌・俳句を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 例ア</p> <p>三 人の生き方を読もう</p> <p>○レイチェル=カーソン (上遠恵子) <input checked="" type="checkbox"/> 例ア</p> <p>○なぜ本を読むのか (読) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○読書の部屋 (読) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>四 きゃく本を作ろう</p> <p>○人物を生き生きとえがき出そう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○親しみを表現しよう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉のきまり2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢字の部屋3 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>五 情報の伝わり方を知り、考えを深めよう</p> <p>○メディア・リテラシー入門 (池上彰) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○オーディエンス <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉で遊ぼう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>六 情報を整理して発信しよう</p> <p>○来年の新入生に学校しようかいをしよう <input checked="" type="checkbox"/> 例ア</p> <p>○言葉のいずみ2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○ゆず (杉みき子) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>七 すぐれた描写を報告しよう</p> <p>○大直じいさんとがん (横溝十) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉の広場 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>これからのあなたへ</p> <p>○雲の上の青い空 (新井尚) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>資料編</p> <p>●木竜うるし (人形劇) (木下順二) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●授業で使う言葉 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●国語のカギ <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●この本で学習した漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●五年生までに学習した漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p>	<p>○出発 (詩) (井上靖) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○プラス思考でアドバイス <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○服を着たゾウ (星新一) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>一 主題を考えよう</p> <p>○遠眼鏡の海 (山下明生) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉のきまり1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢字の部屋1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○インターネット・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○発明・発見は、はてなから (米村でんじろう) <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>二 脳の働きを知り、自分自身に生かそう</p> <p>○自分の脳を自分で育てる (川島隆太) <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>○言葉のいずみ1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>三 すいせんスピーチをしよう</p> <p>○すいせんします。この委員会活動 <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>○言葉のいずみ2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢字の部屋2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○文章構成の効果を考える① <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>四 読書を楽しもう</p> <p>○フリードルとテレジンの小さな画家たち <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○絵を見て語り合おう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○読書の部屋 (読) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○卒業レポートを書こう (予告編) <input checked="" type="checkbox"/> 例ア</p> <p>詩を味わおう</p> <p>○ヒロシマの傷 (与田惟一) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○きのうより一回だけ多 (川崎洋) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>言葉の文化を体験しよう</p> <p>○狂言 盆山 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢詩 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○電子メールや送り状 (送付) の書き方 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>五 調べたことをレポートにまとめよう</p> <p>○言語感覚を豊かにしよう <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>○言葉のきまり2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢字の部屋3 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>資料編</p> <p>●ジプシーとの約束 (黒島英俊) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●川とノリオ いぬい とみこ <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●目的に応じて調べよう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●服を着たゾウ (星新一) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●感想を語り合おう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●伝統芸能に親しもう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●授業で使う言葉 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●国語のカギ <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●この本で学習した漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●五年生までに学習した漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p>	<p>○土 (詩) (三好達治) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>一 意見文を書こう</p> <p>○本物の森で未来を守る <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>○言葉のきまり1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢字の部屋1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○読み取り方を考える <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>二 新しい課題を見つけるために話し合おう</p> <p>○パネルディスカッションをしよう <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>○言葉の泉1 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○発想力を発見する (大副信) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○心と言葉をつなげよう (連詩の制作) <input checked="" type="checkbox"/> 例ア</p> <p>三 物語の世界を読み合おう</p> <p>○きつねの窓 (安房直子) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○木むしの道しるべ (読) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○読書の部屋 (読) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>四 創作にチャレンジ</p> <p>○ぼくの・私の物語作り <input checked="" type="checkbox"/> 例ア</p> <p>○みんながなっとくする結論を産み出そう <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>○言葉のきまり2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>五 私たちのこれからを考えよう</p> <p>○国境なき大陸 南極 (柴田鉄治) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○文章構成の効果を考える② <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>六 レポートをまとめよう</p> <p>○卒業レポートを書こう <input checked="" type="checkbox"/> 例イ</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉の泉2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○漢字の部屋2 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>七 自分に照らして考えよう</p> <p>○その日、ぼくが考えたこと (重松清) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○新しい漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>○言葉をつないで文を作ろう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>これからのあなたへ</p> <p>○支度 (黒田三郎) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>資料編</p> <p>●山へ行く牛 (川村たかし) <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●授業で使う言葉 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●国語のカギ <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●さまざまな表現のくふう <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●この本で学習した漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●小学校で学習した漢字 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p> <p>●中学校で学習する読み方 <input checked="" type="checkbox"/> 文</p>

5 学年		6 学年	
小学生の国語	学びを広げる	小学生の国語	学びを広げる
<p>五年生で学習すること 声に出して読もう ○はしる電車の中で(まど・みちお) お話を聞こう A ○クマよ (星野道夫) B ○図書館へ行こう C ○新しい漢字を学ぼう1 表現を味わい、ゆたかに想うしよう ○カネトくん (ときあえり) ○かたかなのきまり 組み立てをくふうして話そう A ○おすめします、この一さつ B ○新しい漢字を学ぼう2 内容を正確にとらえよう C ○「十秒」が命を守る (松森敏幸) D ○インターネットを使って調べよう E ○国語辞典で受けつく言葉の文化 F ○四年生で学んだ漢字① G ○新しい漢字を学ぼう③ H ○狂言 しびり 事かたを集め、整理して書こう B ○人とかかわりの中で C ○言葉の構成 D ○新しい漢字を学ぼう4 様子が伝わるようにくふうして音読しよう C ○競走 (佐藤新彦) D ○このあと、どうなる? E ○あまさんのへや (読) 情景を思い浮かべて読もう C ○雪 (三好達治) D ○土 (三好達治) E ○四年生で学んだ漢字② F ○新しい漢字を学ぼう5 資料を効果的に使って話そう A ○メディアについて考える B ○本の分類を知ろう (読) C ○文の種類 D ○新しい漢字を学ぼう6 人物の生き方について考えよう C ○洪庵のたいまつ (司馬遼太郎) 伝えたいことを明確にして書こう B ○グループ新聞 C ○漢字辞典で受けつく言葉の文化 D ○四年生で学んだ漢字③ E ○新しい漢字を学ぼう7 構成をおさえて、要旨をとらえよう C ○動物の「言葉」人間の「言葉」 (池上嘉彦) D ○情報を分類して整理しよう E ○歌謡 F ○新しい漢字を学ぼう8 効果が組み立てをくふうして書こう A ○見学レポート B ○写真と絵、どちらを選ぶ? 声に出して読もうー外国の時 C ○山のあなた (カール=ブッセ 上田敏 やく) C ○耳 (ジャン=コクトー 堀内大学 やく) D ○シャボン玉 (ジャン=コクトー 堀内大学 やく) E ○世界中の海が (まさあ・ぐうす 北原白秋 く) F ○四年生で学んだ漢字④ G ○新しい漢字を学ぼう9 表現のよいところを見つけ合おう B ○句会を楽しむ 読んで、自分の考えを広げよう C ○コウノトリが教えてくれた (池田啓) 計画的に話し合おう A ○動物とともに生きるため B ○言葉の由来 C ○四年生で学んだ漢字⑤ D ○新しい漢字を学ぼう10 読んで感じたことを伝え合おう C ○さりざりと雪の降る日 (山本なおこ) すぐれた描写を味わおう C ○大造じいさんとガン (柳川十) 自分の考えが深まるように書こう B ○心を動かされた言葉</p>	<p><言葉のポケット> A ○司会をする時 は B ○お礼の手紙を 書くときには C ○国語学習のた めの用語集 D ○ものの教え方 E ○数字の書き表 し方 F ○つながる言葉 G ○似た意味の言 葉 H ○空の言葉 I ○違う字で同じ 読み <読書の森> A ○小さな図書館 (読) B ○あいつの年賀状 (読) C ○重松清 D ○メディアとのつ き合い (読) E ○一枚の絵を言葉 で書いてみる (金田一秀純) F ○俳句 (杜甫) G ○春曉 (孟浩然) (読) H ○平家物語 (読)</p>	<p>六年生で学習すること 声に出して読もう C ○千枚田 (藤井要) お話を聞こう A ○ぶたばあちゃん (マーガレット=ワイルド 今村薫子 やく) B ○図書館へ行こう C ○新しい漢字を学ぼう1 朗読を楽しもう C ○竜 (今江祥智) D ○国語辞典から広がる言葉の世界 目的や意図が伝わるように話そう A ○このニュース、わたしはこう思う B ○ニュースと編集について C ○新しい漢字を学ぼう2 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えを深めよう C ○宇宙時代を生きる (野口聡一) D ○送りがなのきまり E ○五年生で学んだ漢字① F ○新しい漢字を学ぼう3 G ○わたしたちの言葉 場面の様子や自分の思いとを書き分けよう B ○自由な発想でー随筆一 C ○文才の表現 D ○新しい漢字を学ぼう4 心情の変化を考えながら読もう C ○如題 (丘林二) D ○あなたの意見は? E ○あまさんの部屋 情景を思い浮かべながら読もう C ○だいち (谷川俊太郎) D ○五年生で学んだ漢字② E ○新しい漢字を学ぼう5 理由を明らかにして話そう A ○おかしな話の人物 B ○調べるための本 C ○漢字の形と読みと意味 D ○新しい漢字を学ぼう6 人物の関わりを考えながら読もう C ○まほう使いのチョコレート・ケーキ (マーガ レット=マーヒー 石井桃子 やく) 表現の効果を考えて書こう B ○よさを伝える広告 C ○漢字辞典から広がる文字の世界 D ○五年生で学んだ漢字③ E ○新しい漢字を学ぼう7 事実と意見をおさえて、要旨をとらえよう C ○「なべ」の国、日本 (渡辺あきこ) D ○レポートの組み立て E ○場面に合った言葉 F ○新しい漢字を学ぼう8 自分の意見を明確にして書こう B ○説得力のある意見 C ○どんな国? D ○声に出して読もうー漢文 E ○五年生で学んだ漢字④ F ○新しい漢字を学ぼう9 表現のくふうを楽しもう B ○短歌を作る 読んで人間の生き方について考えよう C ○猿橋勝子 (堀切真穂) 自分の意見をはっきりさせて話し合おう A ○平和な世の中を築くためにーパネルディスカ ッションー B ○日本語の歴史 C ○五年生で学んだ漢字⑤ D ○新しい漢字を学ぼう10 表現のおもしろさを味わおう C ○雪むわり (宮澤賢治) 読んで感じたことを伝え合おう C ○あいたくて (工藤直子) 自分の学びを本にまとめよう B ○世界に一本の「マイブック」 C ○二十一世紀に生きる君たちへ (司馬遼太郎)</p>	<p><言葉のポケット> A ○司会の役割・みん なの役割 B ○説得力のある文 章を書くには C ○国語学習のため の用語集 D ○言葉の輸出入 E ○体を使った言葉 F ○四季の言葉 G ○違う字で同じ読 み ●常用漢字一覧 <読書の森> ●小さな図書館 C ○山人 (読) D ○山ノ内 (読) E ○字のなまじき (向田邦子) F ○少数意見 (読) G ○おかしな話 (読) H ○枕草子 (読) I ○徒然草 (読) J ○おくのほそ道 (読) K ○松尾芭蕉</p>
<p>付録 ●五年生で学ぶ漢字 ●身につけたい漢字 ●ひらがな・カタカナ・ローマ字の表 ●「覚えておきましょう」のまとめ</p>	<p>付録 ●六年生で学ぶ漢字 ●身につけたい漢字 ●ひらがな・カタカナ・ローマ字の表 ●「覚えておきましょう」のまとめ</p>		

5 学年		6 学年	
上	下	上	下
<p>○ひろがる言葉 言葉で伝えよう</p> <p>○水平線 (小泉周二)</p> <p>○「要約伝言ゲーム」をしよう</p> <p>○「情報ノート」を作ろう</p> <p>一人物の心情を想像して、物語の続きを書こう</p> <p>○いつか大切なところ</p> <p>○しようかみポスターをつくろう</p> <p>二 日本語のひびきを味わおう</p> <p>○漢文に親しむ</p> <p>○かなづかいで気をつけること</p> <p>三 「町じまん」を一つ通んで、せいせんしよう</p> <p>○「わか町ベスト・スリー」を決めよう</p> <p>○漢字の広場1 漢字学習ノート</p> <p>四 新聞記事を書いて、言葉と事実について考えよう</p> <p>○言葉と事実 (福沢周亮)</p> <p>○新聞を読もう</p> <p>○鳥</p> <p>○漢字の広場2 複合語</p> <p>五 確かな言葉の使い手になろう</p> <p>○話し言葉と書き言葉</p> <p>六 立場を決めて話し合おう</p> <p>○「意見こうかん会」をしよう</p> <p>○漢字の広場3 熟語の構成</p> <p>七 立場を変えて書きかえよう</p> <p>○大造じいさんとがん (柳川十)</p> <p>○和語・漢語・外来語</p> <p>付録</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この本で学ぶこと ●くぎり符号の使い方 ●言葉の木 ●漢字を学ぼう ●5年生で読みたい本①② 	<p>○風の又三郎より (宮沢賢治)</p> <p>詩を味わおう</p> <p>○素朴な琴 鳴く虫 はたはたのうた 雪</p> <p>○敬語</p> <p>一 多様な情報を読み取り、自分の考えを深めよう</p> <p>○世界遺産 白神山地区からの提言 一意見文を書こう</p> <p>○漢字の広場4 漢字の成り立ち</p> <p>二 日本の文化を考えよう</p> <p>○「古典」を楽しむ</p> <p>○俳句・短歌を作ろう</p> <p>三 本のせいせんをしよう</p> <p>○雪むたり</p> <p>(宮沢賢治)</p> <p>○「図書せいせん会」を開こう</p> <p>○折角を作ろう</p> <p>四 まんがに対する考えを文章に表そう</p> <p>○まんがの方法 (石田佐恵子)</p> <p>○言葉の種類</p> <p>五 資料をくふうして効果的に発表しよう</p> <p>○ひみつを調べて発表しよう</p> <p>○漢字の広場5 同じ音の漢字</p> <p>六 活動を報告する文章を書いて、文集にまとめよう</p> <p>○クラスで活動報告をしよう</p> <p>○漢字の広場6 送りがなのきまり</p> <p>七 自分の考えをまとめよう</p> <p>○みすゞがしの旅 (矢崎節夫)</p> <p>○国語の学習 これまでこれから</p> <p>付録</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この本で学ぶこと ●附子 (狂言) ●短歌や俳句を楽しもう ●自分の考えをまとめよう ●電子メールで伝え合う ●言葉の木 ●漢字を学ぼう ●5年生で読みたい本③④ 	<p>○ひろがる言葉 言葉で伝え合おう</p> <p>○風景 純銀もざいく 紙風船</p> <p>○引用して話そう</p> <p>○考えや意見をノートにまとめよう</p> <p>一 随筆を読んで、経験をもとにして書こう</p> <p>○薫風 (熊まどか)</p> <p>○「迷う」 (日高敏隆)</p> <p>○学校案内パンフレットを作ろう</p> <p>○漢字の広場1 三字以上の熟語の構成</p> <p>二 話し合って、考えや意見を一つにまとめよう</p> <p>○グループで話し合おう</p> <p>三 森林のはたらきと健康</p> <p>○森林のはたらきと健康 (谷田貝光克)</p> <p>○漢字の広場2 複数の意味をもつ漢字</p> <p>四 日本語のひびきを味わおう</p> <p>○折角はあげばの (いぬいとみこ)</p> <p>○世代による言葉のちがひ</p> <p>○雨</p> <p>五 感想を話し合おう</p> <p>○川とノリオ (いぬいとみこ)</p> <p>○敬意を表す言い方</p> <p>六 確かな言葉の使い手になろう</p> <p>○心を見せる言葉</p> <p>七 随筆を書こう</p> <p>○随筆を書こう</p> <p>○漢字の広場3 熟語の意味</p> <p>八 意見を出し合おう</p> <p>○未来の自動車</p> <p>付録</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この本で学ぶこと ●ブラッキーの話 (梨木香歩) ●伝えられてきた作品 ●言葉の星座 ●漢字を学ぼう ●6年生で読みたい本①② 	<p>○ひろがる言葉 詩を味わおう</p> <p>○イナゴ (まどみちお)</p> <p>○主題を整える</p> <p>一 物語の世界を想像して書こう</p> <p>○きつねの窓 (安房直子)</p> <p>○一年生に向けて物語を書こう</p> <p>○漢字の広場4 五年生で学んだ漢字④</p> <p>二 筆者の考えを読み、感想を書こう</p> <p>○ぼくの世界、君の世界 (西研)</p> <p>○回文を作ろう</p> <p>三 説得力のある文章を書こう</p> <p>○意見文を書こう</p> <p>○漢字の広場5 音を表す部分</p> <p>四 大切な本をしようかみしよう</p> <p>○私の大切な一冊</p> <p>五 興味のある人物をしようかみしよう</p> <p>○伊能忠敬 (国松俊英)</p> <p>○漢字の広場6 同じ訓をもつ漢字</p> <p>六 日本の文化を考えよう</p> <p>○言葉は時代とともに</p> <p>○日本語の文字</p> <p>○漢字の広場7 さまざまな読み方</p> <p>七 国語の学習 これまでこれから</p> <p>○君へ (日野原重明)</p> <p>○二十一世紀に生きる君たちへ (司馬遼太郎)</p> <p>付録</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この本で学ぶこと ●子どもたちを救いたい 一オードリー・ヘプバーンの願い (真鍋 和子) ●自分を支える言葉 (岡本 夏木) ●翻訳家 ●言葉の星座 ●漢字を学ぼう ●中学生になるみなさんへ ●6年生で読みたい本③④

5 学年	6 学年		
<p>五年生の学習を見わたそう いつも気をつけよう・続けてみよう 言葉のじゅんじゆん運動 A ○教えて、あなたのこと 五年生の国語学習を始めよう C ○ふるさと (室生犀星) 例イ C ○あめ玉 (新美南吉) 例イ</p> <p>一 登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう C ■なまえつけてよ (蜂飼耳) 例イ B ○漢字の広場 四年生で習った漢字1 B 伝 ○季節の言葉1 春の空 例イ 新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けよう C ○新聞を読もう 例イ B ○漢字の成り立ち 例イ</p> <p>二 筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう C ○見立てる (野口廣) 例イ C ■生き物まつり柱形 (本川達雄) 例イ B ○漢字の広場 四年生で習った漢字2 声に出して楽しもう C 伝 ○古典の世界(一) 例イ 話しの内容を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう A ○きいて、きいて、きいてみよう B ○歌謡 本は友達 C ■○広がる、つながる、わたしたちの読書 (読) 例イ C ○千年の釘にいとむ (内藤成吾) 例イ B ○漢字の広場 四年生で習った漢字3 C 伝 ○季節の言葉2 夏の空 例イ</p> <p>三 事実と考えを区別して、活動を報告する文章を書こう B ○次への一歩-活動報告書 例イ 詩を味わおう C ○からたちの花 (北原白秋) 例イ B ○カンジエ博士の暗号解読 言葉をよりすぐって俳句を作ろう B ○日常を十七音で 例イ B ○麻語・漢語・外来語 例イ</p> <p>四 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう A B ○明日をつくるわたしたち 例イ B ○漢字の読み方と使い方 例イ</p> <p>五 すぐれた表現に着目して、ものごたりのみよく伝え合おう C ■○大造じいさんとガン (柳川十) 例イ B ○漢字の広場 四年生で習った漢字4 B 伝 ○季節の言葉3 夏の空 例イ</p>	<p>六 説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう C ○天気を予想する。 (武田康男) 例イ 理由付けを明確にして説明しよう B ○グラフや表を引用して書こう 例イ B ○同じ読み方の漢字 例イ</p> <p>七 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう C ■○百年後のふるさとを守る (河田忠昭) 例イ 声に出して楽しもう C 伝 ○古典の世界(二) 例イ 言葉について考えよう B ○分りやすく伝える 例イ 詩を味わおう C ○詩の楽しみ方を見つけよう 例イ 八 事例と意見の関係をおさえて、自分の考えをまとめよう C ○想像力のスイッチを入れよう (下村健一) 例イ B ○漢字の広場 四年生で習った漢字5 聞いて楽しもう C ○見るなのざしき 例イ 説得力のある構成を考え、せいせんするスピーチをしよう A ○せいせんします 例イ B ○複合語 例イ B 伝 ○季節の言葉4 冬の空 例イ</p> <p>九 特色をとらえながら読み、物語をめぐって話し合おう C ■○わらぐつの中の神様 (杉みき子) 例イ 表現を工夫して物語を書こう B ○一まいの写真から 例イ B ○漢字の広場 四年生で習った漢字6 五年生をふり返ろう B ○六年生になったら 例イ</p> <p>付録 学習を広げよう ●「たいせつ」のまとめ ●この本、読もう ●言葉のたから箱 ●のどがゆめいた (ウーリー=オルレブ) ●ニュース番組作りの現場から (清水建宇) ●通信文のいろいろ ●古典に親しもう ●見るなのざしき (櫻井信夫) ●ローマ字の表 ●学習に用いる言葉 ●これまでに習った漢字 ●この本で習う漢字</p>	<p>六年生の学習を見わたそう いつも気をつけよう・続けてみよう 言葉の準備運動 A ○つないで、つないで、一つのお話 詩を味わおう C ○支度 (黒田三郎) 例イ</p> <p>一 登場人物の心情をとらえ、感想をまとめよう C ■○カレーライス (重松清) 例イ B ○漢字の広場 五年生で習った漢字1 B 伝 ○季節の言葉1 春のいぶき 例イ</p> <p>二 筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう C ○笑うから楽しい (中村真) 例イ C ■○時計の時間と心の時間 (一川誠) 例イ 立場を明確にして主張し合い、考えを広げる討論をしよう。 A ○学級討論会をしよう 例イ A ○伝えにくいことを伝える 例イ B ○漢字の形と音・意味 本は友達 C ■○私と本 (星野道夫) 例イ B ○漢字の広場 五年生で習った漢字2 聞いて楽しもう C ○河鹿の屏風 (岸なみ) 例イ B 伝 ○季節の言葉2 夏のさかり 例イ</p> <p>三 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう B ○ようこそ、わたしたちの町へ 例イ 詩を味わおう C ○せんねん、まんねん 例イ B ○兼語の成り立ち 言葉を選んで、短歌を作ろう B ○たのしみは 例イ B ○漢字の広場 五年生で習った漢字3</p> <p>四 意見を聞き合って考えを深め、意見を書こう A B ○未来がよりよくなるために 例イ C ○平年のとりでを築く(資料) 例イ B ○漢字の広場 五年生で習った漢字4 B ○生活の中の言葉 例イ</p> <p>五 自分の感じたことを、短歌で表現しよう C ■○やまなし ○イーハトーヴの夢(資料) 例イ B 伝 ○季節の言葉3 秋の深まり 例イ</p>	<p>六 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう C 伝 ○「鳥獣戯画」を読む 例イ B ○絵画や写真を見るときは読み取ったことや感じたことを表現しよう B ○この絵、わたしはこう見る 例イ B ○漢字を正しく使えるように 例イ B ○覚えておきたい言葉 例イ</p> <p>七 伝統文化を楽しもう C 伝 ○伝えられてきたもの (山本東次郎) 例イ C 伝 ○狂言 柿山伏 例イ C 伝 ○柿山伏について (山本東次郎) 例イ B ○日本で使う文字 B ○漢字の広場 五年生で習った漢5 言葉について考えよう B ○表現を選ぶ 例イ C 伝 ○天地の文 (福澤諭吉) 例イ 詩を味わおう C ○未知へ 例イ</p> <p>八 筆者の考えをとらえ、自分の考えと比べて書こう C ■○自然に学ぶ暮らし 例イ B ○漢字の広場 五年生で習った漢6 随筆を書こう B ○忘れられない言葉 例イ B 伝 ○カンジエ博士の山登り 例イ B 伝 ○季節の言葉4 春を待つ冬 例イ</p> <p>九 登場人物の関係をとりえ、人物の生き方について話し合おう C ■○海の命 (中村桂子) 例イ 話し方を工夫し、資料を示してスピーチをしよう A ○今、私は、ぼくは卒業するみなさんへ 中学校へつなげよう C ○生きる (谷川俊太郎) 例イ C ○生き物はつながりの中に (中村桂子) 例イ C ○かえられた願い-日本人になること (ドナルド=キーン) 例イ</p> <p>付録 学習を広げよう ●「たいせつ」のまとめ ●この本、読もう ●言葉の宝物 ●宇宙飛行士 一ぼくがゆめいた夢 (野口聡一) ●心にひびく手紙 ●河鹿の屏風 (岸なみ) ●考えを助ける図表 ●ローマ字の表 ●六年間に習う漢字 ●この本で習う漢字</p>

平成31年度使用

小学校用教科用図書(「特別の教科 道徳」以外)

採択参考資料

書 写

番号・発行者	教科書の記号・番号
2 東京書籍	書写 131・231・331・431・531・631
11 学校図書	書写 132・232・332・432・532・632
15 三省堂	書写 133・233・333・433・533・633
17 教育出版	書写 134・234・334・434・534・634
38 光村図書	書写 135・235・335・435・535・635
116 日本文教出版	書写 136・236・336・436・536・636

書 写

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東京書籍 11 学校図書 15 三省堂 17 教育出版 38 光村図書 116 日本文教出版

2 調査研究の観点

- (1) 我が国の伝統的な文字文化やこれからの日常生活に役立つ様々な文字文化に関する認識及び、それらに親しむ態度を育成するような内容となっているか。
- (2) 内容の程度が、各学年における児童の発達段階や経験を踏まえたものとなっているか。
- (3) 各学年における「書写に関する事項」が系統的に構成、配列されているか。毛筆の指導が、硬筆による書写の能力の基礎を養うものとして取り上げられていることを受け、どのような関連を持たせているか。
- (4) 学習場面や日常生活における、話す、聞く、書く、読むといった言語活動に役立つよう配慮されているか。
- (5) 文字や表記が適切で、学習に必要な図表や写真等の資料への配慮が適切になされているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 各教科用図書について、公正な立場で、審議会から示された調査の観点に基づいて調査に当たった。
- (2) 事実を正確に捉え、調査員の主観に陥らないよう、調査研究した内容について、調査員で協議の上、記述した。
- (3) 採択参考資料の作成に当たっては、観点を焦点化した項目を設定し、その項目に沿って各教科用図書の内容を簡略かつ具体的に記述し、各教科用図書の特徴が比較対照できるようにした。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の会社名の記載順序は、発行者の番号順とした。

2 採択参考資料は、調査票Ⅰ（概要）、調査票Ⅱ（各学年）の2つの調査票ごと、記載順序に従って配列してある。

3 調査票Ⅰ「概要」の調査研究項目は、調査研究の観点(1)～(5)についてまとめている。

(1) 概括的な調査研究（数値データ）

① 頁、単元 ② 毛筆、硬筆、硬筆と毛筆の関連 ③ 伝統と文化 ④ 日常生活とのつながり

(2) 具体的な指導事項等について

① 姿勢・用具の持ち方 ② 用具 ③ 筆順・点画 ④ 字形 ⑤ 配列・配置
⑥ 漢字と仮名の調和 ⑦ 硬筆・毛筆との関連

(3) 日常生活や学習活動とのつながり（言語活動例等）について

(4) 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

(5) その他の特色について

4 調査票Ⅰ「概要」の調査研究項目の内容については、学習する学年を示した。学年の記述がないものは共通で学習する内容とした。

5 調査票Ⅱの調査項目は、調査研究の観点(3)、(5)について検討する際の参考とするためのものである。

6 調査票Ⅰ及び調査票Ⅱの記号について

毛筆は「毛」、小筆は「小」、フェルトペンは「フ」、サインペンは「サ」、ボールペンは「ボ」、鉛筆は「鉛」、
チョークは「チ」、クレヨン「ク」、色鉛筆は「色」、指書きは「指」、万年筆は「万」、写真は「写」、図版
は「図」、表は「表」、シールは「シ」、学年を超える内容の場合は「超」、として示した。

【調査票Ⅰ】 【2 東京書籍】 (小学校 書写)

概 要

1 概括的な調査研究

○教科書は各学年1冊で6分冊となっている。

	頁数	単元数
1年	41	4
2年	41	4
3年	49	8
4年	49	8
5年	49	7
6年	49	7
総頁数	278	38

	毛筆を扱っている教材数		硬筆を扱っている教材数	硬筆・毛筆の関連を扱っている教材数	伝統と文化を扱っている教材数	日常生活とのつながりを扱っている教材数
	漢字の楷書・仮名	漢字の行書・仮名				
1年	0	0	19	0	2	4
2年	0	0	18	0	3	4
3年	8	0	8	8	4	6
4年	8	0	8	8	4	5
5年	7	0	8	7	5	8
6年	7	1	8	7	5	8
全	30	1	69	30	13	35

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢・用具の持ち方

- 硬筆の姿勢の写(全学年)と解説図(1・2年)がある。
- 鉛の持ち方指導ではしの持ち方と対比させている。(1年)
- 毛筆の正しい姿勢と毛筆の持ち方の写図と解説がある。(3・4・5・6年)
- 立って書くときの姿勢と床の上で書く姿勢の写がある。(3・4・5・6年)

(2) 用具

- 用具の置き方と扱い方の写と解説(3・4・5・6年)、筆のおろし方の写がある。(3年)
- 墨のすり方・持ち方の図と紙ばさみの図がある。(3・4・5・6年) 用具の後始末の解説がある。(3・4・5・6年)
- 様々な筆記具やそれを用いて書かれた作品を紹介している。(3・4・5・6年)

(3) 筆順・点画

- 筆順が番号や色で示されている。クイズのように番号を書き込む問題がある。(1・2年)
- 毛筆の穂先の向きと動きを朱墨で表している。(3・4・5・6年)
- 数字・矢印・点などを用いて、筆順や点画の注意点を示している。(全学年)
- 筆順を間違えそうな漢字を特に取り出し、示している。(全学年)

(4) 字形

- 字形の留意点を特徴的な形の具体物で示している。(1年)
- 類似したひらがなとかたかな・かたかなと漢字を対比して扱っている。(2年)
- 字形が正確にとらえやすいように、点線で方向や広さを示している。(全学年)
- 文字の成り立ちから字形が理解できるような50音表を示している。(5・6年)

(5) 配列・配置

- 文字の中心(2・3年)文字の大きさ(4・5年)配列(5・6年)の注意を重点的に扱っている。
- 横書きで中心を揃える方法を2種類示している。(3・4年)
- 文字の中心と大きさ(5年)配列(6年)で字間・行間・余白について触れている。

(6) 漢字と仮名の調和

- 横書きで中心を揃える方法を示しながら文字の大きさやバランスについて紹介している(3・4年)
- 漢字とかたかなの大きさについて、補助線を入れて示している(4・5・6年)

(7) 硬筆・毛筆との関連

- 「硬筆に広げよう」で、写と同じめあてをもった硬筆の類似教材がある。(3・4・5・6年)
- 「まとめ」で、毛筆文字を題材に硬筆でも既習事項を確認するようにしている。(3・4・5・6年)
- 毛筆学習の前後に手本の字を鉛筆で書かせる欄を設けている。(3・4・5・6年)

3 日常生活や学習活動とのつながり(言語活動例など)

- 身の回りの多様な文字を写や図で示している。
- 学習活動に関連して日常生活に生かされる内容を数多く取り上げている。(全学年)
 - ・名前を書く(1年)・日記(1・2年)・はがき(2・3・4年)・手紙(2・4・5・6年)・感謝状(2年)・メモ(5年)
 - ・調べ学習の記録、観察記録(3年)・新聞(4年)・原稿用紙の書き方(3年)・グラフの書き方(4・5年)・パンフレットの書き方(5年)
 - ・模造紙への書き方・色紙・短冊の字配り(6年)
- 手書き文字とコンピュータの比較を示している。(4年)

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 俳句等を小で書く単元がある。(5年)
- 資料や付録として、伝統と文化について興味関心を高め、理解を深める内容を取り上げている。
 - ・どうやって作るの 筆・和紙・すずり・すみ(3年)・文字にこめられた思い(6年)写
- 伝統的な言語文化に関する文をなぞり書きする教材を設けている。
 - ・花さかじいさん(1年)・いろはうた・春の七草(2年)・俳句(3年)
 - ・百人一首(4年)・竹取物語・枕草子・おくのほそ道(5年)・論語(6年)
- 「書き初め」について、その意味や歴史など生活とのつながりがわかるコラムがある。(3・4・5・6年)

5 その他の特色について

- キャラクターに「硬筆に広げよう」「生活に広げよう」の看板を持たせ、日常化へのつながりを示している。(全学年)
- 「調べよう」→「確かめよう」→「広げよう」と学習過程を示している。(全学年)
- 裏表紙に「しょしゃたいそう」が示され授業前の準備を紹介している。(1・2年)
- 超中学校で学習する「行書」を紹介し、興味関心に応じて取り組む教材を設けている。(6年)
- 判型の横幅を広くした紙面を用いている。
- 毛筆の手本を見開き左ページに掲載している。また、見開きで半紙大の手本を一作品掲載している。(3・4・5・6年)
- 当該学年の配当漢字一覧(硬筆)(1・2年)、当該学年の漢字一覧(硬筆・毛筆)と既習の漢字一覧(毛筆)(3・4・5・6年)がある。

[調査票Ⅰ] 【11 学校図書】 (小学校 書写)

概 要

1 概括的な調査研究

○教科書は各学年1冊で6分冊となっている。

	頁数	単元数	毛筆を扱っている教材数		硬筆を扱っている教材数	硬筆・毛筆の関連を扱っている教材数	伝統と文化を扱っている教材数	日常生活とのつながりを扱っている教材数
			漢字の楷書・仮名	漢字の行書・仮名				
1年	41	9	0	0	25	0	3	2
2年	41	9	0	0	23	0	3	5
3年	49	10	9	0	6	9	3	6
4年	45	9	8	0	6	8	5	6
5年	45	7	7	0	6	7	5	7
6年	41	7	7	1	4	7	5	4
総頁数	262	51	31	1	70	31	24	30

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢・用具の持ち方

- 硬筆の姿勢(1・2年), 毛筆の姿勢(3・4・5・6年)の[写]と解説がある。
- [写]の持ち方の[写](1・2・5・6年)と解説(1・2年), [写]の持ち方の[写](1・2年), [写]の持ち方の[写]がある。(1年)
- 毛筆の持ち方の[写](5・6年), [写]と解説(3・4年), [写]の持ち方の[写]と解説(3・4・5・6年)がある。
- 立って書く姿勢, 床で書く姿勢の[写]がある。(3・4・5・6年)

(2) 用具

- 毛筆用具の置き方の[写]と解説がある。(3年)
- 用具の扱い方(すみの持ち方・すみのすり方・筆のおろし方・筆の持ち方・後始末)の[写]と解説がある。(3・4年)
- 学習に入る前に, 姿勢と用具の扱い方の折り込み資料がある。(全学年)

(3) 筆順・点画

- 筆順を番号で示している。(全学年)
- 点画のつながりを図形や矢印・点線で示している。(全学年)
- マス目を4つの部屋に分けて, どの部分から書くか示している。(1年)
- どの字にも筆順の数字が示されている。(全学年)
- 穂先の通り道と筆圧の確かめ方を, 朱墨を使った写真や[写]で説明している。(3・4・5・6年)

(4) 字形

- 文字の外形を図形や点線でわかるように示している。(1・2・3・4年)
- 穂先の通り道と筆圧の確かめ方を, 朱墨を使った写真や[写]で説明している。(3・4・5・6年)
- ひらがな練習の導入で, なぞり書きや写し書きを取り入れている。(1年)

(5) 配列・配置

- 中心線や補助線などを用いて文字の中心(3・4年), 文字の大きさと配列(5・6年)の注意事項を示している。
- 横書きの教材が系統的に取り入れられている。(2・3・4・5・6年)

(6) 漢字と仮名の調和

- 横書きで中心を揃える方法を示しながら漢字と仮名のバランスや文字の大きさについて紹介している(3・4年)
- 漢字と仮名の大きさについて, 補助線を入れて示している(4年)
- [写]で短歌や俳句を書くことで, 言葉の字配りについて示している。(6年)

(7) 硬筆・毛筆との関連

- [写]で学んだことを硬筆に生かすように構成している。(3・4・5・6年)
- 「硬筆に生かそう」という単元で, 画の長短・文字の中心・漢字の組み立て・筆順と字形などの学習内容がある。(3・4・5・6年)

3 日常生活や学習活動とのつながり(言語活動例など)

- 学習活動に関連して, 日常生活に生かせる内容を取り上げている。
 - ・名前・絵日記(1年) ・ありがとうカード ・観察カード(2年) ・はがき(1・2・3年) ・手紙(4・6年)
 - ・調べ学習のレポート ・読書記録 ・メモの取り方(3・5年) ・掲示物(3・4・5・6年) ・学級新聞 ・算数ノート(4年) ・目標カード(4・5年)
 - ・詩(4・5年) ・報告文(6年) ・プログラム(6年)
- 原稿用紙の書き方(2・3・5年), 罫線のある用紙への書き方(3年)を示している。
- 手本教材として, 国語の教科書でよく扱われる教材を用いている。
- 様々な筆記具について取り上げている。(2・5・6年)
- 「生活に生かそう」という単元で, 書写で学んだことを生かした活動や生活の中で書写で学んだことを生かしている具体例を示している。

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化にかかわる教材や資料を取り上げている。(全学年)
 - ・昔話「もたろう」(1年) ・季節の言葉「春の七草・数え歌」(2年) ・短歌や俳句・詩(3・4・5・6年)
- [写]で, 好きな短歌や俳句を書く活動がある。(6年)
- 文字の成り立ちから字形が理解できるような50音表を示している。(5・6年)

5 その他の特色について

- キャラクターを登場させて基本的技能や用語の解説を示している。(全学年)
- [写]「できたかなシール」を用いて自己評価に生かすようにしてある。(1・2年)
- 「観察」→「試し書き」→「自己評価/課題の見いだし」→「練習」→「まとめ書き」のプロセスを示している。(全学年)
- 見開き教材で, 半紙原寸サイズの手本を掲載している。(3・4・5・6年)
- 筆の穂先のマーク(始筆の角度)が, 各手本についている(3・4・5・6年)
- [写]中学校で学習する「行書」を紹介し, 興味関心に応じて取り組めるようになっている。(6年)
- 見開きで半紙大の毛筆の手本を五作品(3年のみ四作品)掲載している。他の見本は, 見開き右ページに掲載している。(3・4・5・6年)
- 当該学年の配当漢字一覧(硬筆)(1・2年), (毛筆)(3・4・5・6年)が巻末にある。

概 要

1 概括的な調査研究

○教科書は各学年1冊で6分冊となっている。

	頁数	単元数
1年	41	4
2年	41	4
3年	45	5
4年	45	6
5年	45	5
6年	45	5
総頁数	262	29

	毛筆を扱っている教材数		硬筆を扱っている教材数	硬筆・毛筆の関連を扱っている教材数	伝統と文化を扱っている教材数	日常生活とのつながりを扱っている教材数
	漢字の楷書・仮名	漢字の行書・仮名				
1年	0	0	23	0	1	3
2年	0	0	16	0	2	5
3年	11	0	4	10	3	4
4年	12	0	7	8	3	6
5年	8	0	14	8	4	12
6年	8	0	15	9	4	11
全	39	0	79	35	17	41

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢・用具の持ち方

- 硬筆の正しい姿勢と \square 、 \square の正しい持ち方の \square と解説がある。(1・2・5・6年)
- 毛の正しい姿勢と毛の正しい持ち方の \square と解説がある。(3・4・5・6年)
- 「小筆で書こう」という小単元で、 \square の姿勢と持ち方について \square と解説がある。(3年)
- 「書き初め」の単元の中で、立って書く時の姿勢、床で書く時の姿勢、 \square の正しい持ち方の \square と解説がある。(3・4・5・6年)

(2) 用具

- 児童が学ぶ文字は、 \square 、 \square 、 \square で書いた時の実際の線を示している。(1・2年)
- \square 、 \square 、 \square 、 \square 、 \square で書いた時の違いについて \square で示している。(2年)
- 習字道具の使い方について \square で示し解説している。(3・4年)
- 筆、硯、墨、和紙の原料や作り方を \square と \square で示し解説している。(4年)

(3) 筆順・点画

- 筆順が数字で示され、決まりについて色分けや \square で示している。(全学年)
- 指書きでなぞるときや、 \square 、 \square の筆順を点描、矢印、数字で表している。(全学年)
- 穂先の向きや通り道を \square で示している。(3・4年)

(4) 字形

- 文字の組み立てについて、形や色分けをして示している。(全学年)
- 楷書の字形の整え方について、十字線のガイドで示したり、課題について \square 形や \square などの \square で示したりしている。(1・2年)
- 誤った字形について、 \square で示している。(2・3・4・5・6年)

(5) 配列・配置

- 硬筆での縦書き・横書き、「 \square 」の使い方を含むのそれぞれについて行の整え方のポイントを \square で示している。(1・2年)
- 小さく書く字の位置と大きさを、十字に区切ったマスで意識させている。(1・2年)
- 文字や行のバランスを各学年に応じた例示をしながら解説している。(3・4・5・6年)
- 文や文章の「全体の整い」を意識させるため、 \square で示している。(5年)

(6) 漢字と仮名の調和

- 漢字とひらがなの大きさの違いやバランスを \square で示している(3・4・5・6年)
- 「文字の大きさと配列」という単元で漢字と仮名のバランス、漢字と漢字のバランスなど例示しながら解説している。(4年)

(7) 硬筆・毛筆との関連

- 同じ文字を硬筆と \square で書かせることによって \square で学んだことを硬筆でも意識させるような連携をとっている。(3・4・5・6年)
- 硬筆で学んだことを \square で確かめている。(4・5・6年)
- 効果的な表し方を理解させるために、 \square と硬筆で書いた時を比べている。(5・6年)

3 日常生活や学習活動とのつながり (言語活動例など)

- 身近にある多様な文字を、 \square や \square で示している。(1・2・5年)
- 学習活動に関連して、日常生活に生かせる内容を数多く取り上げている。(全学年)
 - ・書き初め(全学年)・名前を書く・作文を書く・絵日記を書く(1年)
 - ・板書・カードの書き方(誕生日・ありがとう)・新年のめあて・お礼の手紙・発見したこと・はがき(文面)(2年)
 - ・原稿用紙の使い方(文集作り)・はがきの書き方(表裏)・ノートを整理する(縦書き)・毛筆作品を飾る(3年)
 - ・お礼の手紙を書く(封書)・新聞を書く・ノートを整理する(横書き)・絵手紙を書く(4年)
 - ・観察文をノートに書く・クラス目標・アンケート・教室の文字・用紙に応じた書き方・本作り(5年)
 - ・場面にふさわしい速さ・目的に応じた筆記用具と書き方(看板、カード、ポスター)・色紙に書く(6年)

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化にかかわる教材や資料を取り上げている。(全学年)
 - ・書き初め(全学年)・毛筆の文字 \square (2年)・毛筆作品を飾る・はんこを作ろう(3年)・俳句を書こう(5年)
 - ・昔の人の書いた文字を \square や \square などの資料で提示してある。短歌、絵巻物、原稿、手紙文字の由来(6年)

5 その他の特色について

- 「書く」→「わかる」→「書いてたしかめる」→「振り返る」という学習過程を明確にしている。(1・2年)
- 「考えよう」→「書いて確かめよう」→「毛筆で確かめよう」→「確かめ合おう」という学習過程を明確にしている。(5・6年)
- 学びのポイントを児童に分かりやすい簡潔な言葉で表している。(全学年)
- 学年の最後に、今まで学習したことを生かし、総合的に表現する活動を設けている。(全学年)
- 毛筆の手本を見開き左ページに掲載している。(3・4・5・6年)また、見開きで半紙大の手本を一作品掲載している。(3年)
- 当該学年の配当漢字一覧(硬筆)(1年)、当該学年と前学年の配当漢字一覧(硬筆)が巻末にある。(2・3・4・5・6年)

概 要

1 概括的な調査研究

○教科書は各学年1冊で6分冊となっている。

	頁数	単元数	毛筆を扱っている教材数		硬筆を扱っている教材数	硬筆・毛筆の関連を扱っている教材数	伝統と文化を扱っている教材数	日常生活とのつながりを扱っている教材数
			漢字の楷書・仮名	漢字の行書・仮名				
1年	45	4	0	0	18	0	2	4
2年	41	3	0	0	17	0	3	8
3年	59	8	8	0	10	6	4	5
4年	57	7	8	0	8	7	3	7
5年	49	7	9	0	6	5	4	8
6年	49	6	8	1	5	4	5	7
総頁数	300	35	33	1	64	22	21	39

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢・用具の持ち方

- 正しい姿勢が写で、や、の持ち方が写とで示され解説がある。(全学年)
- の持ち方について、筆の持ち方と対比させている。(1・2年)
- を持った時の指の位置を下から見た写で示している。(1・2年)
- の持ち方について写で示している。(3・4年)

(2) 用具

- 発展として、について紹介されている。(2年)筆・ペン・ボールペンの紹介がある。(4年)
- 、、、などの使い方と後片付けの仕方を写で示している。(3・4年)
- 各種筆記用具で書いた線の違いを、写で示している。(1・2・3・4年)
- 使用目的に合わせて筆記用具を選ぶことを写、を用いてで解説している。(5・6年)

(3) 筆順・点画

- 1マスを4部屋に区切り、書き始めを示している。(1・2年)
- 数字、矢印、点書き、始筆の色分けなどで筆順を示している。(全学年)
- 筆順の決まりや、筆順と点画のつながりをで示している。(全学年)
- 穂先の向きと動きを朱墨で表している。(3・4年)

(4) 字形

- 点線、矢印、図形、拡大図などを利用して字形のポイントを示している。(全学年)
- 誤った字形を示し、どこを直せばよいか考えさせるようになっている。(2・3・4・5・6年)

(5) 配列・配置

- 十字線、中心線、点線などで配置を意識するように示されている。(1・2年)
- 縦書きと横書き、それぞれの書き方の注意(数字と漢字、コンマ)や行の整え方のポイントが学年に応じた事例で示されている。(全学年)
- 1マスあけるところを点描の丸で示している。(全学年)
- 看板、ポスター、新聞等を例に見やすいレイアウトをやで示して解説している。(2・3・4・5・6年)

(6) 漢字と仮名の調和

- 漢字と仮名の大きさのバランスについて文字やで示されている。(2・3・4・5・6年)

(7) 硬筆・毛筆との関連

- 力の入れ方と線の太さの違いについて写で示されている。(2・3・4年)
- 毛筆で学んだことを硬筆で生かす構成になっている。(3・4・5・6年)

3 日常生活や学習活動とのつながり(言語活動例など)

○身近にある多様な文字を写やで示している。

○学習活動に関連して日常生活に生かされる内容を数多く取り上げている。(全学年)

- ・学校の文字探検・算数ノート・お礼のカード・連絡帳の書き方(1年)
- ・町の文字探検・観察カード・お礼の手紙・招待状・時間割・生活科掲示物(2年)
- ・教室掲示・原稿用紙の使い方・自由研究のまとめ方・はがきの書き方・図書カード(3年)
- ・ポスターセッション・黒板・掲示物・ノート・メモ・手紙(封書)・報告文・新聞(4年)
- ・世界の文字や身近な外国語について写やで示されている。・ノートのまとめ方(横書き)・ポスター作り・封筒の横書き(5年)
- ・メモ・パンフレット・発表資料・年賀状・短冊・色紙・思い出に残る言葉の掲示・よせがき・卒業文集(6年)

○目的に合わせて書く速さやメモの工夫を、実例を上げて表している。(5・6年)

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

○伝統的な言語文化に関わる教材や資料を取り上げている。(全学年)

- ・書き初め(全学年)・漢字の成り立ち(1・2・3年)・筆、墨、硯、紙の作り方や材料・俳句(3年)
- ・短歌・俳句・看板や提灯など筆文字が使われている場面(4年)・古文(竹取物語)(5年)
- ・文字や用具の変遷・短歌・俳句・古文(枕草子)(6年)・行書の紹介 (6年)

5 その他の特色について

○「めあて」→「ためし書き」→「考えよう」→「ここが大切」→「まとめ書き」→「生かそう」→「ふり返ろう」→「書いて伝えよう」という構成で示している。

○「横書き」を学年に応じて取り上げている。(全学年)

○書写で学ぶ言葉、他教科で生かす教材、発展学習など、印で示している。(全学年)

○毛筆の手本を見開き右ページに掲載している。また、見開きで半紙大の手本を一作品掲載している。(3・4・5・6年)

○当該学年の配当漢字一覧(硬筆)(1年)、当該学年と前学年の配当漢字一覧(硬筆)が巻末にある。(2・3・4・5・6年)

概 要

1 概括的な調査研究

○教科書は各学年1冊で6分冊となっている。

	頁数	単元数	毛筆を扱っている教材数		硬筆を扱っている教材数	硬筆・毛筆の関連を扱っている教材数	伝統と文化を扱っている教材数	日常生活とのつながりを扱っている教材数
			漢字の楷書・仮名	漢字の行書・仮名				
1年	39	6	0	0	20	0	1	3
2年	37	3	0	0	18	0	2	3
3年	55	6	15	0	4	8	3	4
4年	49	5	12	0	7	7	2	4
5年	47	3	8	0	7	5	3	7
6年	49	4	8	1	7	4	3	7
総頁数	276	27	43	1	63	24	14	28

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢・用具の持ち方

- 文字を書く姿勢の写と図・解説がある。(全学年)
- 鉛の持ち方の図と解説(1年), 鉛の持ち方の写と図・解説(2年), 鉛の持ち方の写と解説(5・6年)がある。
- 鉛の持ち方の写(1・2年), 筆の持ち方の写と解説(3・4・5・6年), 小の持ち方の写と解説(3・4・5・6年)がある。
- 鉛の持ち方について, 鉛を置いた後, 鉛を持つ方法を提示している。(1・2年)
- 立って書く時の姿勢・座って書く時の姿勢の写がある。(3・4・5・6年)

(2) 用具

- 目的に合った筆記具として, 鉛・鉛・鉛・大筆(5年), 鉛・鉛・筆ペン(6年)の, 写と解説がある。
- 用具の名前・準備・片付け方について, 写と解説がある。(3・4・5・6年)
- 筆・紙・墨・硯ができるまでの工程を, 写を用いながら解説している。(3・4年)

(3) 筆順・点画

- 筆順が番号で示されている。(全学年)
- 「一年生でならうかん字」(1年)・「ひらがな」「かたかな」の表(2年)には, すべての文字に, 筆順を一画ずつ数字で示している。
- 筆順を誤りやすい「漢字」(2年), 「ひらがな」「かたかな」「漢字」(3・4・5・6年)に関しては, 筆順を示している。
- 注意する点画のポイントを, 点線や矢印などを使ったり, 色を変えたりして示している。(全学年)
- 筆圧や穂先の向き, 点画のつながり等を朱墨を用い, 写で示している。(3・4・5・6年)

(4) 字形

- 字形(外形)を, 「ましかく」等, 図形化して示している。(1年)
- 似ている漢字と片仮名, 似ている2つの片仮名を対比して扱っている。(1年)
- 「字形の整え方」を, 「資料」として巻末にまとめている。(3・4・5・6年)
- 筆順と字形の関係を, 色を変えたり字形(外形)を図形化したりして示している。(4年)
- 部分の組み立て方に関し, 色を変えたり矢印や点線を使ったりしている。(3・4・5・6年)
- 「かまえ」「たれ」の組み立て方は, 写が貼れる工夫をしている。(4年)

(5) 配列・配置

- 行の中心を点線で示したり(3・4・5・6年), 横書きや数字の行を整えて書くために, 赤点線を記したり(3・4年)している。
- 字間を同じくらい空けること(4・5年)・用紙に対する文字の大きさのポイント(5・6年)を解説している。
- 漢字を並べて書く時の, 漢字同士の文字の大きさについて, 外形を点線で示したり色別に字形を表したりしている。(4年)

(6) 漢字と仮名の調和

- 漢字よりかなを小さめに書くことが, 読みやすい文字を書くポイントであることを示している。(4・5年)

(7) 硬筆・毛筆との関連

- 毛筆学習の後には, 硬筆による書き込み欄を設定している。(3・4・5・6年)

3 日常生活や学習活動とのつながり(言語活動例など)

- 学習活動に関連して, 日常生活に生かせる内容を取り上げている。
 - ・友だちに好きなことを教える・観察文(1年)・思い出(1・2年)・招待状(2年)・お礼状(3年)・手紙・リーフレット・棒グラフ(4年),
 - ・インタビュー・歌謡(5年)・紹介文・パンフレット・エアメール・電話メモ(6年)
- 原稿用紙・手紙(2・3・4・5・6年)・漢書の書き方(3・4・5・6年), ノートの工夫<縦書き・横書き>(6年)を取り上げている。
- 書く速さは目的によって変わること・目的に合った筆記具の選択を取り上げている。(5年)
- 新聞を読みやすく書く工夫を取り上げている。(4・5・6年)
- 卒業に向けての取組に関連した教材を取り上げている。(6年)

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化にかかわる教材や資料を取り上げている。
 - ・ことわざ(3年)・和歌(山部赤人)(4年)・随筆(枕草子)(5年)・俳句(松尾芭蕉)・文字の歴史(6年)

5 その他の特色について

- 横書き教材を系統的に取り上げている。(全学年)
- 手書き文字と活字の違い(5年)・速く書く場合の許容される漢字の形(5・6年)を取り上げている。
- 「たいせつ」の項目を設け, その教材で学ぶべき内容を明確にまとめている。(2・3・4・5・6年)
- 全教材の最後に自己評価欄(「できたかな」(1年)・「ふり返ろう」(2・3・4・5・6年))を設けている。
- 教材の冒頭に, 「考える」活動を設けている。(2・3・4・5・6年)
- 超中学校で学習する「行書」を紹介し, 興味関心に応じて取り組む教材を設けている。(6年)
- 毛筆の手本を見開き左ページに掲載している。また, 見開きで半紙大の手本を一作品掲載している。(3・4・5・6年)
- 当該学年の配当漢字一覧(硬筆)(1年), 当該学年(硬筆・毛筆)と前学年の配当漢字一覧(硬筆)が巻末にある。(2・3・4・5・6年)

概要

1 概括的な調査研究

○教科書は各学年1冊で6分冊となっている。

	頁数	単元数	毛筆を扱っている教材数		硬筆を扱っている教材数	硬筆・毛筆の関連を扱っている教材数	伝統と文化を扱っている教材数	日常生活とのつながりを扱っている教材数
			漢字の楷書・仮名	漢字の行書・仮名				
1年	40	6	0	0	27	0	2	3
2年	40	5	0	0	23	0	2	4
3年	52	7	19	0	9	9	3	3
4年	44	6	18	0	10	7	2	3
5年	52	6	11	1	7	7	4	7
6年	52	6	11	1	8	6	9	4
総頁数	280	30	59	2	79	29	22	24

2 具体的な指導事項等について

(1) 姿勢・用具の持ち方

- 書く姿勢の写と図・解説がある。(全学年)
- 鉛と筆の持ち方の写と解説(1・2年), 筆・小・鉛・筆の持ち方の写と解説(3・4年), 筆の持ち方の写と解説(5・6年)がある。
- 立って書く姿勢・床の上で書く姿勢の写がある。(3・4・5・6年)

(2) 用具

- 毛筆用具の名称・置き方・片付け方, 墨の持ち方とすり方について, 写と解説がある。(3・4・5・6年)
- 筆記具の特徴やその筆記具を使う目的を示している。鉛・鉛筆・筆・毛筆ペン・絵の具筆などの写がある。(5・6年)
- 毛筆用具の原料や作り方を, 写を用いて解説している。(5年)

(3) 筆順・点画

- 筆順を番号で示している。(全学年)
- 注意する点画のポイントを, 点線や矢印などを使ったり, 色を変えて示したりしている。(全学年)
- 筆順のきまりを分類して示している。(1・2・3・4・5年)
- 穂先の通り道を朱墨で示し, 筆使いを薄墨で示している。(3・4・5・6年)
- 間違えやすい筆順を取り上げている。(4・5・6年)

(4) 字形

- 字形を, 類似した図形で示したり(1・2年), 点線で示したり(3・4・5・6年)している。
- 類似した片仮名, 平仮名と片仮名を, 対比して扱っている。(2年)
- 漢字の組み立て方に関し, 構成する要素別に, 色を変えたり点線で囲ったりして示している。(3・4・5・6年)
- 字形が整うポイントをまとめている。(3・4・5・6年)
- 半紙を横長に置いて書く単元がある。(3・5年)

(5) 配列・配置

- 読みやすい配列のポイントをまとめた記述を示している。(4・5・6年)
- 漢字を並べて書く時の, 漢字同士の文字の大きさについて, 外形を点線で示している。(4年)
- 余白部分を「まる」で図示している。(5・6年)

(6) 漢字と仮名の調和

- 漢字より平仮名を小さめに書くことが, 読みやすい文字を書くポイントであることを示している。(4・5・6年)

(7) 硬筆・毛筆との関連

- 毛筆教材と同じめあての硬筆教材を, 「いかす」の学習過程段階で設定している。(3・4・5・6年)

3 日常生活や学習活動とのつながり (言語活動例など)










































- 学習活動に関連して, 日常生活に生かせる内容が取り上げられている。
 - ・絵日記・自己紹介(1年)・連絡帳・説明する文(2年)・理科ノート・お礼の手紙(3年)・お願いの手紙・学級新聞・おすすめの本(4年)
 - ・案内状・はがき・ポスター・意見文(5年)・メモ・随筆を書く(6年)
- 国語教科書との関連教材を取り入れている。
- 原稿用紙の書き方を扱っている。(2・3年)
- 手書き文字と活字の比較を示している。(4年)
- 場面によって書く速さが違うことを取り上げている(5年)
- 卒業に向けての取組に関連した教材を取り上げている。(6年)

4 伝統的な言語文化に関する事項の指導について

- 伝統的な言語文化にかかわる教材や資料を取り上げている。
 - ・年賀状(1・2年)・ことわざ・俳句(3年)・百人一首(4年)・いろは歌・古典(竹取物語)(5年)
 - ・文字のでき方と文字の歴史・俳句・論語・随筆(枕草子)(6年)・かきぞめ(全学年)

5 その他の特色について

- 「考える」→「確かめる」→「いかす(書いてみる)」の3段階の学習コーナーを設け, 学習過程が明確になっている。(全学年)
- 横書き教材・数字を系統的に取り上げている。(1・2・3年)
- 各教材の最後に, 自己評価欄がある。(全学年)
- 折り込み教材(巻末四つ折り)・見開き教材がある。(3・4・5・6年)
- 学習の進め方を教科書の最初に示している。(4・5・6年)
- 毛筆の手本を見開き左ページに掲載している。また, 見開きで半紙大の手本を一作品掲載している。(3・4・5・6年)
- 当該学年の配当漢字(硬筆)一覧が巻末にある。

1 年	2 年	3 年
<p>1 しせいともちかた  じをかきしせい  はじめの れんしゅう<どめ>「く」<はらい>「つ(し)」  ひらがなの れんしゅう<どめ>「い(し)」  <書き順>「こ」<はらい>「は」  <形の意>「は」(例)「は」に「は」  せいかつに ひろげよう  のうとに かこり (横書き・数字)  「まがり」と「おれ・おりかえし」  「まがり」>「おれ・おりかえし」>「は」  「は」>「まがり」>「おれ・おりかえし」>「は」  「は」>「まがり」>「おれ・おりかえし」>「は」  なまえをかこり  <いろいろなるなまえをかいてみよう>  ひらがなの かきかた  ひらがなの ひよう<五十音の筆順>  <小さく書く字>「は・は」<似ている字>「は・は」<横書き・縦書き>  かん字の かきかた  「とめ」「は」「は」「は」  <どめ>「は」<はらい>「は」  「はれ」「まがり」「そり」  <おれ>「口」<まがり>「七」<そり>「手」  <片仮名のつれ>「白・目・二」「ホ・ト・へ」  のぼすしるしの書き方(縦・横書き)  ひつじゅん 「六・耳・生・丸」 せいかつに ひろげよう かきぞめをしよう かん字の かきかた かくのながさとほうこう じまのりくわく ひらがなと かん字のかきかた せいかつに ひろげよう できるよように なったよ <姿勢・持ち方・筆順> *ふろく カハバ あじわおう 「花さかじいさん」のうた さんの かたちから できたのかな 1年で 学しゅうする かん字 (80字) 1年で 学しゅうしたこと 1年で 学しゅうしたこと できたよ! シール 1年学しゅうしたこと </p>	<p>1 しせいともちかた  じをかきしせい  最初に最後に名前を書く  漢字とかなのれんしゅう  <止め>「は」<はらい>「は」  かなのひょう  <小さく書く字><のぼすしるし>  ノートに 書く  <山の長さ> 縦画「山」 左はらい「夕」  かん字の書き方  <組む立て方>左右上下動たれぬによる 書きかえ  <生活にひろげよう>  ノートに 書く  <山の長さ> 縦画「山」 左はらい「夕」  かん字の書き方  <組む立て方>左右上下動たれぬによる 書きかえ  <生活にひろげよう>  ノートに 書く <山の長さ> 縦画「山」 左はらい「夕」 かん字の書き方 <組む立て方>左右上下動たれぬによる 書きかえ <生活にひろげよう> ノートに 書く <山の長さ> 縦画「山」 左はらい「夕」 かん字の書き方 <</p>	

1 年	2 年	3 年
<p>1 はじめに 鉛 <字を書く姿勢> 写(姿勢) 図(書く前の唱え歌) 鉛 <鉛筆の持ち方> 写(鉛筆の持ち方) 図(鉛筆の持ち方) 鉛 <ひらがながあつまれ> 写(平仮名の表) 折(折り込み資料) (マス目への書き方、濁点・半濁点の書き方、自分の名前)</p> <p>2 ひらがな 指 <書き順> 「こい」 図(書き順) 指 <「とめ」と「はらひ」と「くつ」> 図(「とめ・はらひ・はね」) 指 <「まがり」と「まね」と「の」と「ろ」> 指 <「むすび」と「ます」> 図(「まがり・おれ・おりかえし」) 指 「すきなこと、なめに」 図(「むすび」のむき、マス目へ) 指 (文の書き始めは空ける、句読点の書き方、線の間に書く時) 指 <にているひらがな> 「ち」「ら」 図(似た平仮名の違い) 指 <じのかたち> 「ひっじ」 図(まじかく・横長・縦長)</p> <p>3 かたかな 指 <かたかなのかきかた> 「ハ・オ・サ・フ・ヒ」 指 <かたかながあつまれ> 図(「とめ・はね・はらひ・おれ・まがり」) 指 <かたかながあつまれ> 図(小さい字・伸ばすしるしの書き方、自分の名前)</p> <p>4 かん字 指 <「とめ」「はね」「はらひ」> 「小」「大」 指 <「とめ・はね・左はらひ、右はらひ」> 指 <「まがり」「まね」「そり」> 「日」「七」「子」 指 <「おれ・まがり」> 図(「おれ・まがり」) 指 <書き順> 「三」「川」「月」 指 <字のかたち> 「十二月」 指 <にているかん字とのかきかた> 「三」「ミ」 指 <似ている漢字と片仮名の違い></p> <p>6 まとめ 指 <かきぞめ> 「えんぴつでかこう」「フェルトペンで書こう」 指 <一年生のまとめ> 図(「はね」「はらひ」「とめ」の書き方、字形、一年生のおもい出をかこう) 指 <よこがきのかきかた> 図(左から右、数字、縦線日記) 指 一年生でならうかん字</p>	<p>1 はじめに 鉛 <字を書く姿勢> 写(姿勢) 図(書く前の唱え歌) 鉛 <鉛筆の持ち方> 写(鉛筆の持ち方) 図(鉛筆の持ち方) 鉛 <ひらがな・おれ・むすび・止め・はね・はらひ> 折(折り込み資料) (守の形、まがり・おれ・むすび・止め・はね・はらひ) 折(折り込み資料)</p> <p>2 かん字の書き方 鉛 <書き順> 「三・川・月・中」 折(折り込み資料) 鉛 (上から下・左から右、外から内、つきぬける線は最後) 鉛 <点と画の名前> 「大」 鉛 (点・横画・縦画・右はらひ・左はらひ・まがり・そり・おれ) 鉛 <「はらひ」のほうこう> 「千・人・天・月」 鉛 <「おれ」のほうこう> 「日・口・子」 鉛 「原稿用紙に書くとき」 図(「おれ」の方向の違い) 鉛 (署名・氏名、句読点、会話文の書き方) 図(原稿用紙の書き方の例) 鉛 <「そり」のほうこう> 「立・小・魚」 図(「そり」の方向の違い) 鉛 <「点」のほうこう> 「書」 図(「点」の方向の違い) 鉛 <画の長さ> 「音」 図(横画)の長さの留意点 鉛 <点や画の間> 「目」 図(点や画の間)の留意点 鉛 <画のつき方と交わり方> 「八・入・文」 鉛 (画と画が「はなれる」「つく」「交わる」) 鉛 <点や画の書き方のまとめ> 図(正しい字・整った字を選ぶ) 鉛 <字の形> 「門・月・西・上・下・手」 図(外形に気を付ける) 鉛 <字の中心> 「本・文・合・二」 鉛 (縦画・点・画と画がつくところ・横画の真ん中)</p> <p>3 まとめ 鉛 <かきぞめ> 「えんぴつでかこう」「フェルトペンで書こう」 鉛 <二年生のまとめ> 写(フェルトペンの持ち方) 鉛 (「おれ」の方向・画の長さ・間・画のつき方と交わり方・字形・中心、一年間の思い出を書こう)</p> <p>しりょう 鉛 <手紙の書き方> 図(横書き、横書き、数字) ひらがな・かたかな 図一覽表 一年生で学んだかん字 図一覽表 二年生で学ぶかん字 図一覽表 もっと知りたい「鉛筆ができるまで」 鉛 <正しい持ち方> 写 写</p>	<p>○ 毛 用具の使い方 毛筆のほほんを知らう 毛 <書くときの姿勢> 写(正しい姿勢) 図(書く前の唱え歌) 毛 <筆の持ち方> 写(二本が一本がけ・じくの傾き) 図(筆の太さ) 漢字の筆使いをたしかめよう 指 <点画の種類> 「二・土・日・木・光・心」 折(折り込み資料) 指 <横画の向きとじくの傾き> 図(点画の種類) 指 <横画の向きとじくの傾き> 図(横画は左斜め上・筆のじくを立てる) 指 <「横画」> 「二」 折(折り込み資料) 指 <「縦画」> 「土」 折(折り込み資料) 指 <手紙の書き方> 写(始筆・送筆・終筆・筆先の向き・筆先の離れ方) 指 <「おれ」> 「日」 図(あいさつ・本文・後づけ・封筒の表裏) 指 <力の入れ方> 写(筆先の向き・一度筆を止める、「おれ」の仕組み) 指 <「左はらひ」> 「右はらひ」> 「木」 写(「はらひ」の書き方) 指 <「点」> 「曲がり」> 「光」 写(「点」> 「曲がり」の書き方) 指 <「そり」> 図(「そり」の書き方、片仮名の筆使い) 平がなの筆使いをたしかめよう 指 <「おれ」> 「つり」 図(漢字と平仮名の筆使いの違い) 漢字の組み立てを知らう 指 <「おれ」> 「つり」 図(漢字の組み立てを知らう) 指 <部分の組み立て方> 図(漢字と平仮名の筆使いの違い)</p> <p>5 文字の配列を考えよう 指 <行の中心> 「立冬」 図(文字の中心を見つげる目安、配列) 指 <横書き> 図(横書きの書き方、数字、ローマ字) 指 <書くぞめ> 「正月」「美しい」 指 <3年生のまとめ> 「水玉」 写(小筆の持ち方・小筆の使い方・すみのすり方) 指 (横線・縦線と「おれ」・「はらひ」・「とめ」の向き) 写(「おれ」・「はらひ」・「とめ」の向き)</p> <p>6 一年生で学習した漢字、三年生で学習する漢字 指 <はがきの書き方> 図(郵便番号・住所・名前) 指 <原稿用紙の使い方> 図(題名・氏名・句点・かきぞめ) 折(折り込み資料) 指 <書きぞめ> 「美しい」 指 <書きぞめ> 「美しい」 指 <「おれ」の向きとじくの傾き> 写(二年生で学習した漢字、三年生で学習する漢字) 指 <「おれ」の向きとじくの傾き> 写(二年生で学習した漢字、三年生で学習する漢字) もっと知りたい「筆ができるまで」 写</p>

【調査票Ⅱ-2】 【15 三省堂】 (小学校 書写)

4 年	5 年	6 年
<p>○みんな毛筆の仲間 折込資料 図・写・コラム(習字道具の材料) 図(作り方)</p> <p>○毛 用具としてい</p> <p>○毛・鉛 点画の書き方を確かめよう(筆で書くときの約束) 図(筆先・腕の動き・力の加え方)</p> <p>点画の書き方</p> <p>①毛・鉛 「曲がり」(曲がるところはなめらかに)「光」 図(始筆・送筆・終筆の筆運び朱筆)</p> <p>②毛・鉛 「そり」(左にあつたは先を上へ)「式」 図(筆運び・点・右上払い朱筆)</p> <p>筆順と字形</p> <p>①毛・鉛 筆順と字形(筆順を守って形よく)「左右」</p> <p>②鉛 気をつける筆順(筆順に気をつけよう)</p> <p>鉛・小学習を生かそう</p> <p>ひらがなの書き方「結び」</p> <p>毛・鉛 く方向をゆくり変えるく「はす」 図(結び朱筆)</p> <p>▼鉛 ひろげよう お札の手紙を書こう 図(ふうとう・便せん)</p> <p>文字の組み立て方</p> <p>①毛・鉛 左右(左と右がゆずり合う)「土地」 図(へんとつくりの図)</p> <p>②毛・鉛 上下(上と下がゆずり合う)「岩山」 図(字の高さと形の図)</p> <p>③毛・鉛 「かまえ」「構え」の中の広さに合わせる「開け」 図(開け)</p> <p>④毛・鉛 「たれ」「たれ」と下は少しずらして「草原」 図(かまえと中の図)</p> <p>⑤毛・鉛 「によう」「によう」は「つかずはなれず」「進む」 図(たれと下の部分の図)</p> <p>文字の大きさや配列</p> <p>①鉛・毛 文字の大きさ(漢字もかなも大小を考えて)「小鳥」</p> <p>②鉛 配列(文字の間かくと行の中心) (行を整えて書こう)</p> <p>▼鉛・フ・色 ひろげよう 新聞で知らせよう ノートを整理して書こう 図(新聞)</p> <p>▼毛 書きぞめ「明るい春」折込資料(毛筆手本)</p> <p>三年生で学んだ漢字 折込資料(三年漢字一覧表)</p> <p>四年生で学んだ漢字 折込資料(四年漢字一覧表)</p> <p>フ・小・絵の具 絵手紙を書こう 図(絵手紙)</p>	<p>○全体の整い</p> <p>一 初めに確かめよう</p> <p>①毛 せいと筆記用具の持ち方 図(せいと筆記用具の持ち方)</p> <p>▼基本点画の書き方</p> <p>②鉛・毛 文字の部分の整え方「仲間」</p> <p>③毛・鉛 文字の組み立て方「新風」</p> <p>二 全体を確かめやすく書こう</p> <p>①毛・鉛 漢字とひらがなの大きさ「知る」</p> <p>②鉛・毛 けい線と文字の大きさ「実りの時」 図(けい線によさわしい文字の大きさで書こう)</p> <p>③鉛・小 配列(行の中心と行間) 図(理科ノート)</p> <p>鉛学習を生かそう (行の中心に気をつけて書こう)</p> <p>図(クラス目標)</p> <p>図(教室図)</p> <p>▼ひろげよう 教室の文字をよりよくしよう</p> <p>▼鉛書き方を確かめよう</p> <p>三 用紙に広げて書こう</p> <p>①鉛 ふうとうとはがき 図(ふうとう・はがき)</p> <p>小学習を生かそう 図(はがき)</p> <p>②鉛 便せんとはがき 図(便せん・はがき)</p> <p>③鉛 原こう用紙 図(原こう用紙)</p> <p>④鉛 学級日記 図(学級日記)</p> <p>▼俳句を書こう フ・小(短冊)</p> <p>▼ひろげよう 調べたことをレポート用紙に書こう 図(レポート用紙)</p> <p>四 学習のまとめ</p> <p>鉛・小・色・フ グループで本を手作りしよう 図(原こう)</p> <p>▼毛・フ 書きぞめ「不言実行」「平和な朝」 折込資料(毛筆手本)</p> <p>四年生で学んだ漢字 折込資料(四年漢字一覧表)</p> <p>五年生で学ぶ漢字 折込資料(五年漢字一覧表)</p> <p>▼毛・コラム 生活の中の文字</p>	<p>○文字で伝える・文字で伝わる 折込資料 写・コラム(昔の人が書いた文字)</p> <p>一 初めに確かめよう</p> <p>①毛 せいと筆記用具の持ち方 図(せいと筆記用具の持ち方)</p> <p>▼基本点画の書き方</p> <p>②鉛・毛 字形の整え方「団結」 フ・色(字形の整え方)</p> <p>③毛・鉛 文字の大きさや配列「晴れた空」 図(文字の大きさ)</p> <p>二 速さを考えながら書こう</p> <p>①鉛・小 場面によさわしい書き速さで 図(日常の文字を書く場面・ふうとう)</p> <p>②鉛・毛 筆順と点画のつながり「飛ぶ」</p> <p>③鉛・毛 つながりと書く速さ「辨待」</p> <p>鉛学習を生かそう(点画のつながりに気をつけて筆順通りにかこう)</p> <p>④鉛・毛 書く速さと読みやすさ「未来への歩み」</p> <p>鉛学習を生かそう(読みやすさに気をつけて速く書こう)</p> <p>▼鉛ひろげよう 聞いて書こう 図(メモ)</p> <p>▼鉛速く書くことに適した書き方</p> <p>発展 図(こんな字を見たことがありますか「行書」) 図(行書)</p> <p>学習を生かそう 図(漢字とひらがなの大きさに気をつけて書こう)</p> <p>三 目的によさわしい筆記用具と書き方</p> <p>①鉛・毛 書く目的と筆記用具、書き方 「卒業式会議」 図(場面と目的に応じた筆記用具・用紙・書き方)</p> <p>②鉛 書く目的と書き方のくふう 図(自己しようかいカード)</p> <p>▼毛 学習を生かそう 白紙に書く 図(ポストター)</p> <p>▼鉛・フ・色 ひろげよう ポスターを書こう 図(ポストター)</p> <p>四 学習のまとめ</p> <p>鉛・小・色・フ お世話になった人へメッセージをおくろう 図(分組表)</p> <p>▼書き方を確かめよう</p> <p>▼資料 書写学習のヒント 図(卒業式発表会案内)</p> <p>▼毛・フ 書きぞめ「追放知新」夢を語ろう 折込資料(毛筆手本)</p> <p>五年生で学んだ漢字 折込資料(五年漢字一覧表)</p> <p>六年生で学ぶ漢字 折込資料(六年漢字一覧表)</p> <p>写・コラム 文字の由来</p>

平成31年度使用

小学校用教科用図書(「特別の教科 道徳」以外)

採択参考資料

社 会

番号・発行者	教科書の記号・番号
2 東京書籍	社会 331・332・531・532・631・632
17 教育出版	社会 333・334・533・534・633・634
38 光村図書	社会 335・336・535・635
116 日本文教出版	社会 337・338・537・538・637・638

社 会

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東京書籍 17 教育出版 38 光村図書 116 日本文教出版

2 調査研究の観点

- (1) 内容が、社会生活を理解し、公民的資質の基礎を養うといった社会科の目標を実現するとともに、言語活動や伝統・文化の充実といった学習指導要領改訂の基本的な考え方を踏まえた、適切なものであるか。
- (2) 内容の程度が、児童の発達段階に応じているほか、表現や資料等の取扱いにも配慮がなされているか。
- (3) 内容の構成・配列が、児童の興味・関心に応じて弾力的に行えたり、問題解決的な学習に応じたりするものであるか。
- (4) 内容が、児童の住む地域の実態に応じて取り扱えるように配慮されているか。
- (5) 表記や表現が適切であり、地図、写真、図表等の資料も適切に取り上げられているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 各教科用図書について、偏りのない公正な立場で調査研究を行った。
- (2) 調査研究は教科用図書全体を対象として行うが、採択参考資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるように、各社の教科用図書の同じ単元等を選定して示すこととした。
- (3) 調査員の主観に陥らないように、教科用図書の記述に即して調査を行った。
- (4) 採択の関係者に見やすいように、各教科用図書の特徴が対比できるように示した。

II 採択参考資料の見方について

1. 採択参考資料は、調査票 I に概要、調査票 II-1 に第 3・4 学年上、調査票 II-2 に第 3・4 学年下、調査票 II-3 に第 5 学年、調査票 II-4 に第 6 学年を、教科用図書ごと発行者番号順にまとめている。


2. 全体を捉えるため、概要を最初に示し、各教科用図書の全体的な特徴が比較できるよう、調査研究の観点に基づいた調査研究結果を示した。

3. 調査票 I 「概要」の調査研究項目は、「2 調査研究の観点」についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究（数値データの単位）
 - ① 単元別の頁数（頁，％）
 - ② 教科用図書ごとの資料数
- (2) 言語活動の充実に関わって
- (3) 基礎的・基本的な知識、技能の習得に関わって
- (4) 問題解決的な学習の充実に関わって
- (5) 教材の選択に関わって

4. 調査票 II では、単元の配列と、学習指導要領の改訂の基本的な考え方が顕著に分かる内容や単元を選定し、そこでの具体的事例と使用されている資料を示した。

学習指導要領の改訂の趣旨が顕著に分かる内容や単元として、第 3・4 学年では、「社会科学習の導入となる単元」及び「法やきまりについて扱う単元」、「地域資源を保護・活用している地域について学習する単元」を取り上げた。また、第 5 学年では、「価格や費用について扱う単元」、「自然災害の防止について学習する単元」等を、第 6 学年では、「室町時代について学習する単元」、「江戸時代の文化・学問について学習する単元」、「国民の司法参加について扱う単元」、「社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの中から、対象や事例を選択して学習する事例」等を取り上げた。

使用されている資料については、次のような文字を使って示し、複数の資料等が重なっている場合には、便宜的に一つの文字で示した。表—表 グラフ—グ 図—図 地図—地 写真—写 文字資料—文 さし絵、吹き出し—絵、用語—語、選択して取り上げる具体的事例—

【調査票Ⅰ】 【2 東京書籍】 (小学校 社会)

概 要

1 概括的な調査研究

① 単元別の頁数

	上巻			下巻		
	単元名	頁	割合	単元名	頁	割合
3・4年	わたしたちのまち みんなのまち	44	35%	くらしを守る	52	28%
	はたらく人とわたしたちのくらし	57	46%	住みよいくらしをつくる	48	26%
	かわってきた人々のくらし	24	19%	きょう土のはってんにつくす	26	14%
5年	わたしたちの国土	61	51%	わたしたちの生活と工業生産	46	37%
	わたしたちの生活と食料生産	58	49%	情報化した社会とわたしたちの生活	40	32%
				わたしたちの生活と環境	38	31%
6年	縄文のむらから古墳のくにへ	18	13%	わたしたちの生活と政治	56	51%
	天皇中心の国づくり	14	10%	世界の中の日本	54	49%
	貴族のくらし	8	6%			
	武士の世の中	10	7%			
	今に伝わる室町文化	8	6%			
	3人の武将と天下統一	12	8%			
	江戸幕府と政治の安定	12	8%			
	町人の文化と新しい学問	10	7%			
	明治の国づくりを進めた人々	14	10%			
	世界に歩みだした日本	14	10%			
	長く続いた戦争と人々のくらし	14	10%			
新しい日本、平和な日本へ	10	7%				

② 教科用図書ごとの資料数

	表	グラフ	図	地図	写真	文字資料	絵	用語
第3・4学年上巻	2	1	50	16	168	29	58	21
第3・4学年下巻	6	18	68	59	320	37	107	42
第5学年上巻	1	57	52	42	259	29	29	31
第5学年下巻	4	44	75	38	281	54	43	28
第6学年上巻	36	9	73	30	279	80	176	55
第6学年下巻	5	14	56	13	284	89	77	35

2 言語活動の充実に関わって

- 学習を進めていく中で、重要な語句・キーワード、例えば「伝統的な産業」(第3・4学年下)「大和朝廷」(第6学年上)といった語句を、「ことば」という欄で取り上げ、説明している。そして小単元の終盤にある「まとめる」では、それらの「ことば」を活用して、レポートや新聞などの作品作りを促す内容になっている。
- 「まとめる」では学習内容を振り返りながら、多様な言語活動を掲載している。例えば第3・4学年上では「市の様子を調べよう」(気付いたことを表に整理)、「ノートにまとめる」(工場の仕事を図にまとめる)、第3・4学年下では「安全を守る人の活動をまとめる」(自分にできることを考えノートのまとめる)、第5学年上では「『米づくり』事典をつくる」(お互いの作品を見て感想を書く)、第6学年下では「日本とつながりの深い国について」(日本と比較して意見を発表する)などの観察や調査で入手した情報を記録する学習、比較・関連付けるためにわかったことを表などに整理する学習、考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく学習など、言語活動を充実させる活動を発達段階を踏まえて取り入れている。

3 基礎的・基本的な知識、技能の習得に関わって

- 学び方については各所に「学び方コーナー」という欄を設置している。例えば第3・4学年上「ぼうグラフを読み取る」、第3・4学年下「等高線を読み取る」などでは資料の読み取り方を、第5学年下「インターネットを活用する」、第6学年下「取材する」などでは調査や取材などの仕方を、第3・4学年上「地図にまとめる」、第5学年下「新聞にまとめる」などでは、学習したことのまとめ方・整理の仕方を、第5学年上「ちがいを考える」、第6学年上「複数の写真から読み取る 戦後から現在までの変化を考える」などでは、変化や要因の考え方や見方といった、多様な学び方の手立てなどが掲載されている。これらの「学び方コーナー」は目次の一覽でみられるようになっている。
- 子供が作った絵地図や表やカードなど作品例が掲載されている。
- 子供のキャラクターやアニメのキャラクターを登場させ、学ぶ視点や学習を進めるポイントなどを示している。
- 第6学年では「江戸幕府」「自由民権運動」といった歴史用語や「国会」「災害救助法」といった重要な法や機関の名称がゴシックになっている。

4 問題解決的な学習の充実に関わって

- 単元の最初には「めあて」があり、各小単元には「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の流れが作られており、見通しをもって学習に取り組むことができる。
- 1単位時間、見開き2ページで学習できるようになっている。「つかむ」では小単元を貫く学習問題が設定されており、その学習問題を解決するために、一単位時間にも「調べる 自動車の各部品はどのようにつくられているのでしょうか。」といったように学習段階が具体的に示されている。第3・4学年には各所に「まなびのポイント」という欄があり、「欄の写真を見て、気づいたことを発表しよう」というような学習を進める具体的な活動が示されている。
- 「いかす」では自分の生活と学習内容を結び付け、自分にできることを考えたり、自分なりの意見を考えたりする場面が設定されており、社会の一員としての意識を養う学習の過程もある。また小単元のおわりには「ひろげる」という小単元での学習内容に関連した他地域や他の社会的現象を取り上げ、発展的な内容にも触れている。

5 教材の選択に関わって

- 第3・4年上で1カ所、第3・4学年下で1カ所、第5学年上で2カ所、第6学年下で1カ所、地域や学校の実情に応じて選択できる小単元がほぼ同じ分量で設定されている。この他にも「食料生産の学習では、庄内平野の米作りと長崎漁港、焼津漁港などの水産業を扱ったあとに「ひろげる」で「きゅうりづくりのさかんな宮崎平野」「関東平野のレタスづくり」「福島盆地の果物づくり」「鹿児島県の肉牛の飼育」といったように地域の実情に即して学習できるような内容が取り上げられている。
- 第3・4年では「まなびのポイント」で「身近な地いきで作られている作物をさがしてみよう。」や「地いきに古くから残るものを見つけて発表しよう。」といった、自分の住んでいる地域にも目を向けるアドバイスが示されている。
- 「地震からくらしを守る」や「自然災害を防ぐ」など、防災教育に関連した教材が、各学年に示されている。

概 要

1 概括的な調査研究

① 単元別の頁数

	上巻			下巻		
	単元名	頁	割合	単元名	頁	割合
3・4年	わたしたちの大好きなまち	44	37%	安全な暮らしとまちづくり	36	23%
	働く人とわたしたちの暮らし	50	42%	健康な暮らしとまちづくり	44	28%
	変わるわたしたちの暮らし	24	20%	昔から今へと続くまちづくり	24	15%
5年	わたしたちの暮らしと国土	48	31%	わたしたちの国のまちづくり	54	34%
	食糧生産を支える人々	56	36%	暮らしを支える情報	26	42%
	工業生産を支える人々	50	32%	国土の自然とともに生きる	36	58%
6年	国づくりへのあゆみ	14	10%	暮らしの中の政治	36	46%
	大陸に学んだ国づくり	16	11%	世界の中の日本	42	54%
	武士の政治が始まる	10	7%			
	今も受けつがれる室町文化	6	4%			
	全国統一への動き	10	7%			
	幕府の政治と人々の暮らし	12	8%			
	新しい文化と学問	12	8%			
	新しい時代の幕あけ	18	13%			
	近代国家に向けて	12	8%			
	戦争と人々の暮らし	16	11%			
平和で豊かな暮らしをみざして	14	10%				

② 教科用図書ごとの資料数

	表	グラフ	図	地図	写真	文字資料	絵	用語
第3・4学年上巻	0	0	61	22	193	46	110	21
第3・4学年下巻	9	21	62	37	316	54	146	39
第5学年上巻	3	66	67	47	337	57	131	37
第5学年下巻	4	12	20	12	132	22	43	18
第6学年上巻	27	14	56	3	189	95	157	55
第6学年下巻	3	23	27	11	184	49	31	19

2 言語活動の充実に関わって

- 全学年を通して、小単元の末尾に「まとめる」という活動が位置付けられており、言語を用いて学習を振り返ることができるようになっている。
- 第3・4学年では「活動」というコーナーで「～について話し合おう」や「～を書こう（書き表そう）」といった学習の流れが示されている箇所があり、言語活動を意識しながら学習を展開できるようになっている。第6学年上では、学習したことに基いて武将の立場になってインタビューに答えたり、歴史的事象に関する絵に解説を付けたりする活動があるなど、様々な言語活動例が示されている。
- 大単元の末尾では「深める」という活動が位置付けられている。ここでは、学習したことをまとめたり、学習したことを基にしながら自分の考えを表現したりすることができるようになっている他、言語活動の手順や留意点、言語を用いた様々な表現について方法や例が示されている。例えば第3・4学年上では、学習したことをポスターにまとめたり地図にまとめたりする活動が、5年上では食糧生産について話し合ったり新聞にまとめたりする活動が、また第6学年下では国民の政治参加について様々な資料を基に話し合う活動が、それぞれ示されている。

3 基礎的・基本的な知識、技能の習得に関わって

- 全学年を通じて、学習を進めるうえで重要な用語が、「キーワード」として抽出して記されている。また、「キーワードの一覧」や「さくいん」、「この教科書に出てくる主な都道府県」や「世界の主な大陸・海洋と主な国」といったページが巻末に設けられており、基礎的な知識が整理されている。
- 全学年を通して随所に「学びのてびき」というコーナーが設けられており、学習を進める上での見通しや必要な技能などが示されている。特に、社会科を初めて学習する第3学年では、巻末に「わくわく社会科ガイド」があり、インタビューの仕方や電話のかけ方、手紙の送り方や情報収集の仕方などが10ページにわたってまとめられている。
- 「やってみよう」というコーナーがあり、第5学年上では農業や工業の単元において、地図を読んだり資料からわかったことをまとめたりと、地図や資料を活用した学習に取り組めるようになっている。また、「世界とつながる日本の工業」では、地球儀を用いた学習に関する記述もされている。
- 小単元の末尾にある「まとめる」では、キーワードを基にしながら学習したことを振り返ったりまとめたりできるようになっているなど、知識や概念の習得が行えるようになっている。

4 問題解決的な学習の充実に関わって

- 学年の冒頭単元に「学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう」が設けてあり、「つかむ」（学習問題の設定）、「調べる」、「まとめる・深める」という問題解決的な学習の進め方が示されている。各小単元では「学習問題」が明示されており、見通しをもった問題解決的な学習が展開できるようになっている。
- 第3・4学年の教科書では随所に「活動」というコーナーがあり、一単位時間ごとの学習の流れについて示されている。
- 全学年を通して、地図や写真、図や表といった問題解決的な学習を展開する上で有効な資料が配置されている。
- 小単元の末尾に「まとめる」という活動が位置付けられており、学習問題について調べて分かったことや考えたことをまとめ、学習を振り返ったり表現したりすることができるようになっている。大単元末尾の「深める」では、より詳しくより深く学習ができるようになっている。第5学年下では、環境にやさしい行動や取組について考える活動が例示されており、社会参画に向けた力の育成を意識した内容になっている。また、「もっと知りたい」では、学習内容に関連したより詳しい内容や資料が掲載されており、学習したことを生かしたより深い発展的な学習が行えるようになっている。

5 教材の選択に関わって

- 第3・4学年の地域について学習する単元では、人口の多いところや川が流れているところ、緑が多いところなど様々な地域の特色に応じて学習が展開できるように内容が扱われている。
- 第5学年上「自然条件と人々の暮らし」で、山梨県に隣接する長野県野辺山高原が、また「果物づくりのさかんな地域」で山梨県甲州市の果物づくりがそれぞれ取り上げられるなど、山梨で学習する子供が興味・関心を持って学習できるように内容が扱われている。
- 防災に関する内容が各学年に位置付けられている。第5学年下では「自然災害とともに生きる」という小単元で、東日本大震災の教訓を踏まえた内容や自然災害の防止や対策といった内容が8ページにわたって扱われている。資料として、津波の被害を受けた岩手県大槌町や阪神大震災で被災した神戸市、長崎県の雲仙や暴風雪の被害を受けた北海道登別市など、全国各地の資料が掲載されている。また、災害に備えたまちづくりを取り上げる中で、「減災」、「自助・共助・公助」といった用語を取り上げ、災害について考える上での視点を示している。

概 要

1 概括的な調査研究

① 単元別の頁数

	上巻			下巻		
	単元名	頁	割合	単元名	頁	割合
3・4年	わたしたちのまちは、どんなまち	36	35%	安全、安心、みんなの暮らし	32	23%
	見つけたよ、まちの人たちの仕事	42	41%	さわやか、すこやか、みんなの暮らし	42	30%
	昔って、おもしろい	24	24%	ふるさとをゆたかに	24	17%
5年	1巻構成(上下の別なし)			いいところいっぱい、わたしたちの県	42	30%
	日本の国土とわたしたちの暮らし	48	22%			
	食料生産とわたしたちの暮らし	54	25%			
	工業生産とわたしたちの暮らし	50	23%			
	情報とわたしたちの暮らし	30	14%			
6年	人と自然が共に生きる国土	38	17%			
	1巻構成(上下の別なし)					
	狩りや狩猟の時代から米作りの時代へ	20	10%			
	強まる天皇の方と貴族の文化	14	7%			
	源平の戦いと鎌倉幕府	12	6%			
	今に生きる室町文化	6	3%			
	戦国の世から泰平の世へ	18	9%			
	都市の発展と江戸の文化	12	6%			
	開国から世界の中の日本へ	26	13%			
	戦争の時代から平和の時代へ	24	12%			
	私たちの暮らしと政治	34	17%			
共に生きる地球	38	19%				

② 教科用図書ごとの資料数

	表	グラフ	図	地図	写真	文字資料	絵	用語
第3・4学年上巻	2	0	53	10	155	12	202	0
第3・4学年下巻	0	13	47	35	218	27	76	13
第5学年	3	69	98	43	408	66	122	34
第6学年	39	26	73	32	389	117	208	37

2 言語活動の充実に関わって

- すべての小単元に学習の成果をまとめ、交流をはかる活動が「ジャンプ(まとめる・広げる)」として位置付けられている。
- 「ジャンプ(まとめる・広げる)」には、学習したことを生かしながら、子供が意欲を持って取り組めるように発達段階に応じた多様な言語活動例が取り上げられている。
- 言語活動例としては、第3・4学年では「まちの安全マップを作る」、「私たちの標語を作る」、「地いきにつくした人たちを紙しばいにまとめる」、など計13例が示されている。同じく第5学年では「日本の国土クイズ大会を開く」、「地域を紹介するパンフレットを作る」、「10年後の自動車の企画書を作る」など計13例が示されており、第6学年では「歴史新聞を作る」、「3人の武将の人物年表を作る」、「憲法の意義をスピーチする」など計12例が示されている。
- 言語活動における表現の手がかりとして、子供の作品例が数多く掲載されている。

3 基礎的・基本的な知識、技能の習得に関わって

- 子供に身に付けさせたい学習方法や重要語句について、「たいせつ」、「ことば」、「ノート例」のコーナーを設けて、示している。加えて、各巻の巻末には、「さくいん」が設けられている。
- 学習した内容を振り返り、活用できるように各巻の巻末に「たいせつ」の一覧が掲載されている。
- 第5・6学年の教科書は、それぞれの内容のつながりを考えながら、学習を積み上げられるように各1巻構成となっている。具体的には、第5学年では「国土と産業を関連付けたり、各産業を比較したりするなどして学習を深めることができるようになっている。また、第6学年では「歴史」、「政治」、「国際」を、「今」を基点とした一連の流れでとらえ、学んだことを振り返りながら学習することができるようになっている。
- 学習を広げ深めるヒントを示したり、既習事項との比較・関連付けを示唆したりするキャラクターを登場させ、学習の積み上げを促すよう配慮されている。

4 問題解決的な学習の充実に関わって

- 各学年の巻頭には、「ようこそ、社会科へ」というページを位置付け、問題解決的な学習をどのように進めればいいのかの手順を示している。
- 小単元の流れを「ホップ・ステップ・ジャンプ」で構成し、子供が主体的に課題を追求していけるように作られている。
- 「ホップ(見つける)」では、一人一人の課題発見を促すとともに、追求する意欲を喚起するようになっている。具体的には、課題発見に向けて地域や学校の別なく活用できる有効な資料や気付きの例が、話し合い活動を中心に示されている。
- 「ステップ(調べる・話し合う)」では、子供の学習を支える写真や資料が豊富に示され、学習を深めるためのヒントとして、話し合い活動などの学習環境が例示されている。
- 「ジャンプ(まとめる・広げる)」では、学習の成果をまとめることに加え、新しい課題を発見し、活動を広げるためのヒントが示されている。
- 子供の興味関心に応じて、学習を深めたり広げたりできるよう、随所にコラム教材が位置付けられている。

5 教材の選択に関わって

- 地域や学校の実態により即した学習が可能となるよう、本教材と置き換えて扱える選択教材が位置付けられている。具体的には、第3・4学年では「くらしをささえる水」の選択教材として「くらしをささえる電気」が、「ものを育てたり、作ったりしている人たち」の選択教材として「ものを作っている人たち」が位置付けられている。第5学年では、「地形の特色と人々の暮らし」の選択教材として「低地の特色と人々の暮らし」と「高地の人々の暮らし」が、「気候の特色と人々の暮らし」の選択教材として「あたたかい地域の人々の暮らし」と「寒い地域の人々の暮らし」が、「わたしたちの食生活と水産業」の選択教材として「わたしたちの食生活と野菜生産」と「わたしたちの食生活と果物生産」「わたしたちの食生活と畜産業」が、用意されている。
- 社会科学習のねらいに合わせて子供の防災意識が高まるよう、すべての学年で防災教育の視点での教材が取り上げられている。
- 第6学年の教科書に、日本の世界遺産の例として、「富士山」が取り上げられている。

概 要

1 概括的な調査研究

① 単元別の頁数

	上巻			下巻		
	単元名	頁	割合	単元名	頁	割合
3・4年	わたしたちの住んでいるところ	46	33%	住みよいくらしをつくる	46	30%
	わたしたちのくらしとまちではたらく人びと	62	45%	安全なくらしを守る	42	28%
	今にのこる昔とくらしのうつりかわり	30	22%	地いきのはってんにつくした人々	22	14%
5年	日本の国土と人々のくらし	44	42%	わたしたちの住んでいる県	42	28%
	わたしたちの食生活と食料生産	60	58%	工業生産とわたしたちのくらし	46	38%
				わたしたちのくらしを支える情報	26	22%
6年				国土の環境を守る	48	40%
	歴史のとびらを開けよう	4	2%	わたしたちのくらしと政治	40	49%
	大昔のくらしと国の統一	16	10%	世界のなかの日本とわたしたち	42	51%
	貴族の政治とくらし	18	11%			
	武士による政治のはじまり	12	7%			
	今に伝わる室町の文化と人々のくらし	12	7%			
	天下統一と江戸幕府	20	12%			
	江戸の社会と文化・学問	16	10%			
	明治の新しい国づくり	14	8%			
	国力の充実をめざす日本と国際社会	18	11%			
アジア・太平洋に広がる戦争	16	10%				
新しい日本へのあゆみ	20	12%				

② 教科用図書ごとの資料数

	表	グラフ	図	地図	写真	文字資料	絵	用語
第3・4学年上巻	3	2	78	23	255	26	144	16
第3・4学年下巻	6	19	85	53	296	48	143	25
第5学年上巻	3	50	51	20	182	23	37	19
第5学年下巻	5	32	64	16	237	38	52	17
第6学年上巻	15	22	76	27	262	50	208	42
第6学年下巻	6	19	44	9	179	51	47	24

2 言語活動の充実に関わって

- 各学年の教科書で、単元末に設けられている「ふりかえってみよう」のページでは、振り返りシートのほか、絵カードや絵地図、ポスターや新聞、図や年表など、様々な方法で学習した内容をまとめ、表現する方法が提示されている。
- 学び方・調べ方コーナーでは、「表現する」というポイントで、学習活動を促す箇所が、各学年で記されており、「予想したことをあらすわポイント」、「発表のしかた」、「地図のまとめ方」、「図や文を使った作品のまとめ方」など、様々な表現活動の方法を具体的に示している。
- 観察や調査・見学など体験的な学習や話し合いの場面が設けられており、「計画メモ」、「学習カード」、「〇〇さんのノート」など、それぞれの事例に対応した表現方法が紹介されている。
- 第5学年の単元「わたしたちのくらしを支える情報」では、情報ネットワークの適切な利用の仕方や情報発信の適切な方法について話し合わせる場面や、情報ネットワーク以外の交流の重要性について考えさせる場面が設定されている。

3 基礎的・基本的な知識、技能の習得に関わって

- 各学年の教科書では、それぞれの単元の学習において重要な内容を示す用語等が「キーワード」として記されている。また、学習内容を理解するうえで、児童には難しい語句についても「むずかしい言葉」として、解説が記されている。
- 各学年の教科書の随所に掲載されている「学び方・調べ方コーナー」では、「読み取る」という項目で、地図や写真、グラフ等の各種の統計資料の読み取り方が、「見る・調べる」という項目では、見学や質問の仕方、資料の集め方や歴史上の人物の調べ方やなど、多様な調査方法が記されている。
- 第3・4学年下の教科書の冒頭にある「地図と仲よくなるよう」では、地図の基本的な見方や活用のしかた、土地利用図や断面図などの見方等が紹介されている。また、47都道府県の白地図を使っての色塗り作業や都道府県に関する問題作り、統計資料を利用したランキング作りなど、多様な学習活動を促している。第6学年上の教科書では、冒頭の歴史地図と時代区分のとじ込みを開くことで、学習している時代が日本史全体のどこに位置するのか確認できるようになっている。

4 問題解決的な学習の充実に関わって

- 各学年の教科書の冒頭で、「ぎもんをもつ」→「問題をつかむ」→「予想を立てる」→「調べる」→「わかる」→「新しいぎもん」というサイクルでの学習展開の方法を提示している。また、各学年の教科書とも、小単元毎の最初に「わたしの問題」が掲載され、学習問題が投げかけられている。そして、いくつかの「わたしの問題」を追求した後、「わたしの見方・考え方」にそれまでの学習で獲得した知識・認識等が例示されている。さらに、各単元の終末には、「ふりかえってみよう」のページがあり、そこで学習した方法や学習して分かったことや自分の考えをまとめ、振り返るといったサイクルを繰り返し、学習を進めていく構成となっている。
- 各単元冒頭の見開きページには、第3・4学年上下の教科書では身近な地域や身近な社会的事象の写真資料が、第5学年上下の教科書では、その大単元で取り上げられている産業とわたしたちのくらしとの関係性を示す写真や挿絵が、第6学年上の教科書では、大判の絵画資料や写真資料が掲載され学習問題をつかませる構成となっている。また、挿絵の一つである「考えるヒント」が随所に掲載されており、写真や地図などの資料の読み取りから思考を促す言葉かけが記されている。

5 教材の選択に関わって

- 学習指導要領の各学年の「内容の取扱い」で示された「…の中から選択」等の内容に対応し、主教材のほかにも、一つ、または複数の選択教材が設けられている。
- 第6学年下の少子高齢化に伴う福祉についての教材や第5学年下の情報化の進展とそれに伴う社会問題等、今日の課題となっている内容が取り上げられているほか、防災・安全にかかわる教材として、第3・4学年下では「地しんにそなえて」、第5学年下では「自然災害から人々を守る」、第6学年下では「災害の発生と政治のはたらき」が取り上げられている。
- 山梨県に関する資料としては、第3・4学年上の「野菜やくだもの産地マップ」で山梨県の産物としてぶどうと桃のイラストが取り上げられているほか、第3・4学年下の「知っている都道府県がどれくらいあるだろう」で富士山が山梨・静岡両県にまたがっていることや、第6学年上では「長篠合戦図屏風」を掲載し、武田軍と織田・徳川軍との戦いを取り上げている。

巻	単元の配列	具体的事例と使用されている資料
第 3 ・ 4 学 年 上	教科書の使い方 (2ページ)	
	1 わたしたちの大好きなまち (全46ページ)	
	[オリエンテーション] (2ページ)	
	1 わたしの住むまちはどんなまち (20ページ)	◎社会科学習の導入部となる単元 [オリエンテーション] 絵
		1 わたしの住むまちはどんなまち ・人にしょうかいしたい場所 写 絵 ・しょうかいしたい場所をさがそう 図 写 絵 語 ・学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう 図 絵 ・北コース 川のまわりをたんけん 図 写 文 語 ・東コース 工場が集まっている所をたんけん 図 写 文 語 ・西コース 駅のまわりをたんけん 図 写 文 絵 語 ・南コース 土地の高い所をたんけん 図 写 文 絵 語 ・みんなで絵地図をつくろう 図 写 地 絵 語 ・地図を見て考えよう 図 写 地 絵 語 ・空からまちをながめよう 写 地 絵 ・(まとめる)
	2 わたしたちの市の様子 (22ページ)	2 わたしたちの市の様子 ・まちから市へ、広げよう 地 写 絵 ・市の地図をながめて 図 地 写 ・市のさまざまな場所を調べよう 図 写 絵 ・①大きな駅のまわり調べ隊 図 地 写 絵 ・②市役所のまわり調べ隊 地 写 ・③海に面した所調べ隊 図 地 写 ・住む人がふえている所 図 地 写 文 絵 ・川が流れている所 図 地 写 文 絵 ・緑の多い所 図 写 文 絵 ・市の土地の様子をまとめよう 図 地 絵 ・(まとめる) ・(探める) ポスターをつくって、市をしょうかいしよう 図 写 絵
	2 働く人とわたしたちの暮らし (全50ページ)	
	[オリエンテーション] (2ページ)	
	1 店で働く人と仕事 (20ページ)	
	2 工場で働く人と仕事 (28ページ)	
	3 変わるわたしたちの暮らし (全24ページ)	
	[オリエンテーション] (2ページ)	
	1 受けつがれる行事 (6ページ)	
	2 昔の道具と暮らし (16ページ)	
	わくわく 社会科ガイド (10ページ)	
	この教科書に出てくる主な都道府県・キーワードの一覧 (1ページ)	

巻	単元の配列	具体的事例と使用されている資料
第 3 年 上	ようこそ、社会科へ (2ページ) 教科書をヒントに、学習を進めよう (2ページ)	
	1わたしたちのまちは、どんなまち (全36ページ) [オリエンテーション] (2ページ) 1わたしたちのまち (22ページ) 2わたしたちの市 (12ページ) 2見つけたよ、まちの人たちの仕事 (全42ページ) [オリエンテーション] (2ページ) 1わたしたちのまちにある店 (24ページ) 2ものを育てたり、作ったりしている人たち (10ページ) ◎ものを作っている人たち (6ページ) 3昔って、おもしろい (全24ページ) [オリエンテーション] (2ページ) 1みんなでさがそう、昔のくらし (14ページ) 2おはやして、何だろう (8ページ) さくいん (1ページ)	<p>◎社会科学習の導入部となる単元</p> <p>[オリエンテーション]</p> <p>1わたしたちのまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちのまちには、何があるでしょう ・どんなことを調べてみようかな ・何があるか、さがしに行こう ・みんなが調べたことを、どうやってまとめようかな ・わたしたちのまちは、どんなまちだろう ・地図記号を使った地図を見よう ・わたしたちのまちのまわりの様子を調べよう <p>2わたしたちの市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空から、市の様子を見てみましょう。どんなことに気がきますか ・わたしたちの市には、どんな所があるのかな ・土地は、どのように使われているのかな ・わたしたちの市のガイドマップを作ろう <p style="text-align: right;">写 絵 園 写 文 園 園 絵 絵 園 園 園 園 地 地 地 写 絵 写 絵 園 地 写 絵 園 地 写 絵 地 地 地 絵</p>

巻	単元の配列	具体的事例と使用されている資料
第 3 ・ 4 学 年 上	<p>教科書の中のいろいろなコーナー (1ページ) 問いのたび (1ページ) この教科書のしくみ (1ページ) 1わたしたちのすんでいるところ (全46ページ)</p> <p>[オリエンテーション] (2ページ) 1わたしたちのまちのようす (18ページ)</p> <p>2わたしたちの市のようす (24ページ)</p> <p>大きくジャンプ (2ページ)</p>	<p>◎社会科学習の導入部となる単元</p> <p>[オリエンテーション] 写 絵 1わたしたちのまちのようす ・屋上が上がって 画 写 絵 ・友だちのスケッチとくらべる 画 写 絵 ・まちたんけんの計画を立てる 画 写 文 絵 ・北コースのたんけん 画 写 文 絵 ・東コースのたんけん 画 写 文 絵 ・西コースのたんけん 画 写 文 絵 ・絵地図を整理する 画 写 文 絵 ・地図を見て話し合う 画 写 文 絵 ・ふりかえてみよう 画 写 文 絵</p> <p>2わたしたちの市のようす ・高いところからながめると 写 絵 ・姫路市の写真や地図を見ながら考えよう 画 写 絵 ・人がたくさん集まる場所 画 写 文 語 ・田や畑が多いところ 画 写 文 語 ・工場が多いところ 画 写 文 語 ・山にかこまれたところ 画 写 文 語 ・島があるところ 画 写 文 語 ・古くからのこるたてもの 画 写 文 語 ・みんながりようするしせつ 画 写 文 語 ・姫路市のようすをまとめる 画 写 文 語 ・ふりかえてみよう 画 写 文 語</p> <p>大きくジャンプ ・まちに出ているいろいろな地図を見つけてみよう 地 写</p>
	<p>2わたしたちのくらしとまちではたらくひとびと (全62ページ)</p> <p>[オリエンテーション] (2ページ) 1店ではたらく人びとの仕事 (26ページ) 2工場ではたらく人びとの仕事 (16ページ) ◎畑ではたらく人びとの仕事 (16ページ) 大きくジャンプ (2ページ)</p> <p>3今にのこる昔とくらしのうつりかわり (全30ページ)</p> <p>[オリエンテーション] (2ページ) 1昔の道具と人びとのくらし (14ページ) 2昔からつたわる行事 (12ページ) 大きくジャンプ (2ページ)</p> <p>さくいん (1ページ) 47都道府県ぬり絵マップ (2ページ)</p>	

巻	単元の配列	具体的事例と使用されている資料
第3・4学年下	<p>4 暮らしを守る (全52ページ)</p> <p>[オリエンテーション] (2ページ)</p> <p>① 火事から暮らしを守る (16ページ)</p> <p>② 地震から暮らしを守る (14ページ)</p> <p>ひろげる 風水害から暮らしを守る (4ページ)</p> <p>2 事故や事件から暮らしを守る (16ページ)</p>	<p>◎法やきまりについて扱う単元 わたしたちの暮らしを守るために [オリエンテーション]</p> <p>① 火事から暮らしを守る ・火事が起きたら 学習の進め方 ・消防しょへ行こう ・通信指令室とさまざまな人々の働き ・まちの消防しせつをさがそう ・地いきの人々の協力 ・火事から暮らしを守る人々の働き 火の用心の7つのポイント</p> <p>② 地震から暮らしを守る ・地震が起きたら ・学校で地震にそなえるもの ・市の地震対策についてしらべよう ・地いきで地震にそなえる ・地いきの協力 ・市や地いきの取り組みをまとめる ・自分からは自分でまもる ひろげる 風水害から暮らしを守る</p> <p>2 事故や事件から暮らしを守る ・身近な地いきのあぶない場所 ・事故や事件が起きないように ・事故が起きたら ・けいさつの仕事 ・安全なまちづくり ・地いきでの取り組み ・安全を守る人の活動をまとめる ・まちの安全マップをつくらう</p>
	<p>5 住みよい暮らしをつくる (全48ページ)</p> <p>[オリエンテーション] 0 (2ページ)</p> <p>1 水はどこから (20ページ)</p> <p>ひろげる 暮らしをささえる電気 (4ページ)</p> <p>2 ごみのしよりと利用 (20ページ)</p> <p>ひろげる 下水しよりと利用 (2ページ)</p>	<p>◎法やきまりについて扱う単元 [オリエンテーション]</p> <p>1 水はどこから ・生活の中での水の使われ方 ・水のじゅんかんについて考える ・水のふるさと ・ダムの働き ・きれいな水をつくるために ・安全でおいしい水をつくるために ・大切な水をくり返し使うくふう ・水の流れをまとめる ・旭川の源流をたずねて ・きれいな川をつなげるために ひろげる 暮らしをささえる電気</p> <p>2 ごみのしよりと利用 ・ごみを分別する ・ごみ置き場の様子 ・ごみのゆくえ ・もえるごみのゆくえ ・もやしたあとにくふう ・ごみが生まれ変わる ・ごみしよりがかかえる問題 ・グループでまとめる ・ごみしよりのくふう ・自分のできることを考える ひろげる 下水しよりと利用</p>
	<p>6 きょう土のはってんにつくす (全26ページ)</p> <p>オリエンテーション (2ページ)</p> <p>1 谷に囲まれた台地に水を引く (18ページ)</p> <p>ひろげる (6ページ)</p> <p>7 わたしたちの県 (全49ページ)</p> <p>オリエンテーション (8ページ)</p> <p>1 県のひろがり (14ページ)</p> <p>2 特色のある地いきと人々の暮らし (27ページ)</p>	<p>◎地域資源を保護・活用している地域について学習する単元</p> <p>2 特色のある地いきと人々の暮らし ・県内の人々の暮らし</p> <p>1 焼き物をつくるまち・篠山市 ・焼き物のふるさと ・原料の土と焼きがま ・丹波立杭焼をつくる ・丹波立杭焼とまちづくり</p> <p>◎2 コウノトリを育てるまち・豊岡市 ・コウノトリのまち ・よみがえったコウノトリ ・コウノトリを守り育てる ・コウノトリを生かす</p>
	<p>3 世界とつながるわたしたちの県 (全8ページ)</p> <p>5年生にむけて (2ページ)</p> <p>この教科書にでてきた主な都道府県 (1ページ)</p>	<p>◎2 城を守るまち・姫路市 ・城のまち ・姫路城を守る取り組み ・姫路城とまちづくり ・世界の宝 姫路城 特色のある地いきのよさをつたえよう</p>

巻	単元の配列	具体的事例と使用されている資料
第3学年下	<p>教科書の使い方 (2ページ)</p> <p>4 安全なくらしとまちづくり (全36ページ)</p> <p>[オリエンテーション] (2ページ)</p> <p>1 事故・事件のないまちを目標として (14ページ)</p> <p>2 災害からまちを守るために (20ページ)</p>	<p>◎法やきまりについて扱う単元 [オリエンテーション]</p> <p>1 事故・事件のないまちを目標として ・グラフで調べて考えよう ・学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう ・学校のまわりを調べよう ・警察署をたずねて調べよう ・くらしの安全を守る警察署 ・地域の人々の取り組みを調べよう ・地域安全マップをつくろう ・(まとめる)</p> <p>2 災害からまちを守るために ・火事について調べよう ・消防署をたずねて調べよう ・消火の仕事の他には ・学校の消防せつびを調べよう ・地域の消防しせつを調べよう ・おそろしい地震 ・地震へのそなえを調べよう ・災害から地域を守るために ・(まとめる) ・(深める) 地域の安全のこれからを考えよう ・(もっとしりたい) 災害にそなえた大田区の公園づくり</p>
	<p>5 健康なくらしとまちづくり (全44ページ)</p> <p>[オリエンテーション] (2ページ)</p> <p>1 ごみはどこへ (18ページ)</p> <p>2 水はどこから (24ページ)</p>	<p>◎法やきまりについて扱う単元 [オリエンテーション]</p> <p>1 ごみはどこへ ・家から出るごみを調べよう ・ごみの収集の様子を調べよう ・清掃工場を見学しよう ・資源ごみのゆくえ ・ごみをもやしたあとの灰のゆくえ ・こんなに費用がかかるなんて ・市で働く人々の取り組み ・市でくらす人々の取り組み ・わたしたちにできることは… ・(まとめる)</p> <p>2 水はどこから ・1日に使う水の量を調べよう ・水が送られてくる道を調べよう ・浄水場を見学して調べよう ・ダムや森林のはたらきを調べよう ・水源を守る取り組みを調べよう ・水をむだにしないくふう ・使ったあとの水のゆくえを調べよう ・(まとめる) ・(深める) くらしの見直しをよひかける言葉を考えよう</p>
	<p>6 昔から今へと続くまちづくり (全24ページ)</p> <p>[オリエンテーション] (2ページ)</p> <p>1 吉田新田はどこにあった (4ページ)</p> <p>2 吉田新田はどうやってできた (18ページ)</p> <p>7 わたしたちの県のまちづくり (全54ページ)</p> <p>[オリエンテーション] (2ページ)</p> <p>1 県の地図を広げて (10ページ)</p>	<p>◎電気はどこから ◎どのようにして、電気をつくるの ◎くらしと電気のこれから ・(もっとしりたい) 住みよいまちづくりに取り組む人々</p>
	<p>2 焼き物を生かしたまちづくり (16ページ)</p> <p>3 昔のよさを未来に伝えるまちづくり (16ページ)</p> <p>4 世界とつながる福岡県 (10ページ)</p> <p>この教科書に出てくる主な都道府県・キーワードの一覧 (1ページ)</p>	<p>◎地域資源を保護・活用している地域について学習する単元</p> <p>2 焼き物を生かしたまちづくり ・物産物や観光で知られる地域 ・東峰村はどのような所なのだろう ・小石原焼が広まったわけは ・小石原焼ができるまで ・小石原焼のよさを伝えるために ・(まとめる) ・(もっとしりたい) 結城軸をつくる人々の努力を支える地 ・(もっとしりたい) 箱根寄木細工のぎじゅつを受けつぐ人々 ・(もっとしりたい) 地域資源のよさを生かしてアニメのまち練馬区</p> <p>3 昔のよさを未来に伝えるまちづくり ・たくさんのおとずれる太宰府市 ・史跡や文化財の多い太宰府市 ・昔からひらかれていた太宰府市 ・昔のものが守られるまでには ・未来に伝えたい太宰府市のよさ ◎松原と海が美しい所 ◎地域のくらしとさつき松原 ◎100年後に美しい松原を残すために</p>

巻	単元の配列	具体的事例と使用されている資料
第 3 ・ 4 学 年 下	教科書をヒントに、学習を進めよう (2ページ)	
	4安全 安心 みんなの暮らし (全32ページ)	
	[オリエンテーション] (2ページ)	
	1 火事からまちを守る (18ページ)	<p>◎法やきまりについて扱う単元 [オリエンテーション] 1 火事からまちを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> 火事の写真やグラフを見て、どんなことを考えましたか 消防署の仕事について調べよう 119番は、どこにつながるのかな 学校では、どのようにして火事にそなえているのかな 地域にも、火事へのそなえはあるのだろうか まちを守る人たちの仕事を調べよう <p>2 安全なまちをみざして</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故の写真やグラフを見て、考えたことを話し合おう 交通事故のれんらくは、どのようにして伝わるのだろうか 警察官の仕事について調べよう どんな人たちが、わたしたちを見守ってくれているのかな 交通事故をふせぐためのせつびには、どんなものがあるのかな 「まちの安全マップ」を作ろう
	2 安全なまちをみざして (12ページ)	
	5 さわやか、すこやか、みんなの暮らし (全42ページ)	
	[オリエンテーション] (2ページ)	
	1 ごみのゆくえ (20ページ)	<p>◎法やきまりについて扱う単元 [オリエンテーション] 1 ごみのゆくえ</p> <ul style="list-style-type: none"> わたしたちは、毎日の暮らしから出るごみを、どのようにしているでしょう 出したごみは、どこに運ばれるのかな 清掃工場の働きについて調べよう 清掃工場の工夫について話し合おう うめ立て場にも工夫があるのかな びんやかん、ペットボトルなどのごみは、どうなるのかな 「わたしたちの標語」を作ろう <p>2 暮らしをささえる水</p> <ul style="list-style-type: none"> わたしたちは、毎日の暮らしの中で、どんなことに水を使っているでしょう 水道のじゃ口から出る水は、どこから来るのかな 水道管の向こうには、何があるのかな 浄水場の働きについて調べよう 浄水場につながる川の上流は、どうなっているのかな 使われた水は、どうなるのかな 「水の旅すごろく」を作ろう
	2 暮らしをささえる水 (18ページ)	
	◎暮らしをささえる電気 (2ページ)	
6 ふるさとをゆたかに (全24ページ)		
オリエンテーション (2ページ)		
1 地域につくした人々 (22ページ)		
7 いいところいっぱい、わたしたちの県 (全42ページ)		
[オリエンテーション] (4ページ)		
1 わたしたちの県 (12ページ)	<p>◎地域資源を保護・活用している地域について学習する単元 [オリエンテーション] 1 わたしたちの県</p> <ul style="list-style-type: none"> わたしたちが住む県を、地図でさがしてみよう 県や市の位置を調べよう 県の地形には、どんな特色があるのかな 土地は、どのように使われているのかな 交通の様子には、どんな特色があるのかな 旅行計画書を作ろう <p>2 行ってみよう、見てみよう、わたしたちの県</p> <ul style="list-style-type: none"> これは、神奈川県絵地図です。調べてみたい所はどこですか 箱根町には、どんな特色があるのかな 三浦市には、どんな特色があるのかな 相模原市には、どんな特色があるのかな 神奈川県と他の地いきには、どんなつながりがあるのかな 「県じまんかるた」を作ろう 	
2 行ってみよう、見てみよう、わたしたちの県 (26ページ)		
学習に役立てよう (2ページ)		
さくいん (1ページ)		

巻	単元の配列	具体的事例と使用されている資料
第5学年上	1 わたしたちの国土 (全61ページ) [オリエンテーション] (3ページ) 世界の国土 (6ページ) 地球儀をつかいこなそう (2ページ) 1 国土の地形と特色 (6ページ) ②2 低い土地のくらし—岐阜県海津市— (10ページ) ②2 高い土地のくらし—長野県川上村・南牧村— (8ページ) ひろげる 山地の人々のくらし (2ページ) 3 国土の気候の特色 (6ページ) ②4 あたためやすい土地のくらし—沖縄県— (8ページ) ②4 寒い土地のくらし—北海道十勝地方— (8ページ) ひろげる 雪国の人々のくらし (2ページ)	◎世界の主な大陸や海洋、国の名称と位置について学習する単元 世界の国土 世界の大陸と海洋 世界の国々とわが国の位置 日本の国土の広がり領土 地 絵 地 写 語 地 写 絵 語
	2 わたしたちの生活と食料生産 (全58ページ) オリエンテーション (2ページ) 1 暮らしを支える食料生産 (10ページ) 2 米づくりのさかんな地域—山形県庄内平野— (18ページ) 3 水産業のさかんな地域 (16ページ) ひろげる きゅうりづくりのさかんな宮城県 (2ページ) ひろげる 関東平野のレタスづくり (2ページ) ひろげる 福島盆地の果物づくり (1ページ) ひろげる 鹿児島県の肉牛の飼育 (1ページ) 4 これからの食料生産とわたしたち (8ページ) さくいん (1ページ)	◎価格や費用について扱う単元 2 米づくりのさかんな地域—山形県庄内平野— ・庄内平野を尋ねて ・米づくりのさかんな庄内平野 ・地形と気候を生かす ・岡部さんの200日 ・米づくりと地域の協力 ・庄内地方の農家を支える人々 ・おいしい米を全国に ・農家のかかえる問題とこれからの米づくり 「米づくり事典」を作る 地 写 絵 語 地 写 語 表 写 文 絵 語 写 文 絵 語 グ 写 絵 語 グ 写 絵 語
	3 わたしたちの生活と工業生産 (全46ページ) [オリエンテーション] (2ページ) 1 工業生産と工業地域 (6ページ) 2 自動車をつくる工業 (16ページ) ひろげる 暮らしを支える製鉄業 (4ページ) ひろげる 暮らしを支える石油工業 (4ページ) ひろげる 食料品をつくる工業 (4ページ) 3 工業生産を支える (10ページ) 4 これからの工業生産とわたしたち (10ページ)	◎価格や費用について扱う単元 2 自動車をつくる工業 ・自動車工業のまち、愛知県豊田市 ・日本の自動車 ・自動車を組み立てる工場 ・自動車づくりのくふう ・自動車の部品をつくる工場 ・世界とつながる自動車 ・人と環境にやさしい自動車づくり ・キャッチコピーにまとめる グ 地 写 絵 写 絵 語 写 文 絵 語 写 文 絵 語 写 文 絵 語 写 文 絵 語
	4 情報化した社会とわたしたちの生活 (全40ページ) オリエンテーション (2ページ) 1 情報産業とわたしたちのくらし (12ページ) ひろげる 新聞社の働き (4ページ) 2 社会を変える情報 (10ページ) ひろげる 社会を変える情報—教育と情報化— (2ページ) ひろげる 社会を変える情報—福祉と情報化— (2ページ) ひろげる 社会を変える情報—防災と情報化— (2ページ) 3 情報を生かすわたしたち	◎情報ネットワークの公共的な利用について扱う単元 2 社会を変える情報 ・病院の中の情報ネットワーク ・活用されている電子カルテ ・地域をつなぐ情報ネットワーク ・情報の発達と医療の進歩 ・表にまとめ、関係図をつくる 地 写 語 地 写 語 地 写 語 表 写 語 地 写 文 地 写 文 グ 地 写 文 グ 地 写 文
	5 わたしたちの生活と環境 (全38ページ) オリエンテーション (2ページ) 1 わたしたちの生活と森林 (12ページ) 2 環境を守るわたしたち (10ページ) ひろげる 公害をこえて (4ページ) 3 自然災害を防ぐ (10ページ) 5年生のまとめ (2ページ) さくいん (1ページ)	◎自然災害の防止について学習する単元 3 自然災害を防ぐ ・東日本大震災 ・災害をふせぐために ・地域のみんなに災害を防ぐ ・カードにまとめる 表 地 写 語 写 文 語 地 写 文 絵 地 写 語

巻	単元の配列	具体的事例と使用されている資料
第5学年上	<p>教科書の中のいろいろなコーナー (1ページ) 問いのたび (1ページ) この教科書のしくみ (1ページ) 1 日本の国土と人々の暮らし (全44ページ)</p> <p>[オリエンテーション] (2ページ) 1 世界から見た日本 (14ページ)</p> <p>2 さまざまな土地の暮らし (26ページ) 大きくジャンプ (2ページ)</p> <p>2 わたしたちの食生活と食料生産 (全60ページ)</p> <p>[オリエンテーション] (2ページ) 1 米作りのさかんな地域 (22ページ)</p> <p>2 水産業のさかんな地域 (18ページ) 3 これからの食料生産 (10ページ) ④畜産業のさかんな宮崎県 (4ページ) ⑤野菜作りのさかんな高知県 (1ページ) ⑥くだもの作りのさかんな青森県 (1ページ) 大きくジャンプ (2ページ)</p> <p>さくいん (1ページ)</p>	<p>①世界の主な大陸や海洋、国の名称と位置について学習する単元 [オリエンテーション] 写 絵 1 世界から見た日本 ・地球儀や地図帳で調べると ・世界のさまざまな国々 ・日本の位置とはんい ・日本の地形の特色 ・四季のある日本の気候 ・ちいきによってちがう気候 ・ふりかえってみよう 図 写 絵</p> <p>②価格や費用について扱う単元 [オリエンテーション] 写 絵 1 米作りのさかんな地域 ・わたしたちの食生活と米 ・米はどこから ・米どころ、山形県庄内平野 ・米作りの1年 ・ぼ場整備と機械化 ・新しい米をつくる ・消費者が求める米作り ・米作りがかわる問題 ・これからの米作り ・ふりかえってみよう グ 写 図 写 文 グ 表 図 写 文 グ 地 写 絵 語 グ 写 文 絵 語 グ 図 写 文 絵 語 グ 表 図 写 グ 写 語 文 絵 語 グ 写 文 絵 語 図 写</p>
	第5学年下	<p>教科書の中のいろいろなコーナー (1ページ) 3 工業生産とわたしたちの暮らし (全46ページ)</p> <p>[オリエンテーション] (2ページ) 1 自動車工業のさかんな地域 (20ページ)</p> <p>2 日本の工業の特色 (18ページ) ⑦わたしたちの暮らしを支える製鉄所 (2ページ) ⑧わたしたちの暮らしを支える製油所 (2ページ) 大きくジャンプ (2ページ)</p> <p>4 わたしたちの暮らしを支える情報 (全26ページ) オリエンテーション (2ページ) 1 情報をつくり、伝える (10ページ) 2 情報化社会を生きる (12ページ)</p> <p>大きくジャンプ (2ページ)</p> <p>5 国土の環境を守る (全48ページ) オリエンテーション (2ページ) 1 環境とわたしたちの暮らし (10ページ) 2 森林とわたしたちの暮らし (12ページ)</p> <p>3 自然災害から人々を守る (18ページ)</p> <p>⑨不老川の環境を取りもどす (4ページ) 大きくジャンプ (2ページ)</p> <p>さくいん (1ページ)</p>

巻	単元の配列	具体的事例と使用されている資料
第 6 学 年	ようこそ、6年生の社会科へ (2ページ) 教科書をヒントに、学習を進めよう (2ページ)	
	1 日本の歴史 (全142ページ)	◎狩猟・採集や農耕の生活について学習する単元 [オリエンテーション] 写 絵
	[オリエンテーション] (4ページ) 1 狩りや狩猟の時代から米作りの時代へ (20ページ)	1 狩りや狩猟の時代から米作りの時代へ ・大昔の暮らしの様子を見て、気づいたことを話し合しましょう
		・地域の遺跡を訪ねて、大昔の人々の暮らしを調べよう ・人々の暮らしは、どのように変わっていったのだろう ・米作りは、いつごろから始まったのかな ・米作りによって、人々の暮らしはどのように変わったのだろう ・どうして古墳がつくられるようになったのだろう ・くには、どのようにまとまっていったのだろう ・大昔の人々の暮らしを劇にしよう
	2 強まる天皇の力と貴族の文化 (14ページ) [オリエンテーション] (2ページ)	表 絵 図 地 写 絵 語
	3 源平の戦いと鎌倉幕府 (12ページ)	絵 図 地 写 絵
	4 今に生きる室町文化 (6ページ)	地 写 文 絵 語 図 写 文 絵 地 写 文 絵 絵 写
	5 戦国の世から泰平の世へ (18ページ)	◎室町時代について学習する単元 4 今に生きる室町文化
	6 都市の発展と江戸の文化 (12ページ)	・上の写真を見て、気づいたことを話し合しましょう ・室町時代の文化には、どんなものがあるのだろう ・人々の暮らしは、どう変わったのだろう ・室町文化を体験しよう
	[オリエンテーション] (2ページ)	◎江戸時代の文化・字間について学習する単元 6 都市の発展と江戸の文化
	7 開国から世界の中の日本へ (26ページ) [オリエンテーション] (2ページ)	・江戸の町の様子や人々の動きを見て、気づいたことを話し合しましょう ・都市の発展は、どんな文化を生んだのだろう ・江戸時代には、どんな字間が広まったのだろう ・江戸時代に暮らしをスピーチで伝えよう ・地域に広げる 江戸時代の紀行家(旅人) 一菅江真澄 ・今につながる 金魚を飼う楽しみ ～奈良県大和郡山口市～
	8 戦争の時代から平和の時代へ (24ページ)	表 絵 図 写 絵 語 図 写 文 絵 図 絵 地 絵 地 写 絵
2 私たちの暮らしと政治 (全34ページ)	◎国民の司法参加について扱う単元 ◎社会保障、災害復旧の取組、地域開発などのなかから、対象や事例を選択して学習する単元	
[オリエンテーション] (4ページ)	[オリエンテーション] 写	
1 みんなの願いと政治の働き (20ページ)	1 みんなの願いと政治の働き ・私たちは、毎日、どんな願いをもって暮らしているでしょう ・市の仕事について調べよう ・保健福祉総合センターでは、どんなことをしているのだろう ・なぜ保健福祉総合センターができたのだろう ・税金とは、どんなものなのだろう ・国は、みんなのための政治をどのように行っているのだろう ・国の政治の仕組みについて考えよう ・「私たちの提案書」を書こう	
2 暮らしの中に生きる憲法 (10ページ)	写 絵 図 地 絵 語 表 図 写 語 表 図 文 語 図 文 語 図 写 文 絵 図 絵 図 地 写 文	
3 共に生きる地球 (全38ページ)	[オリエンテーション] (2ページ)	
1 世界とつながる日本 (18ページ)	2 共に生きる世界をみざして (18ページ)	
学習に役立てよう (8ページ)	さくいん (2ページ)	

巻	単元の配列	具体的事例と使用されている資料
第6学年上	教科書の中のいろいろなコーナー (1ページ)	◎狩猟・採集や農耕の生活について学習する単元
	この教科書のしくみ (1ページ)	1大昔のくらし
	歴史地図・時代区分 (1ページ)	【・オリエンテーション】
	1日本のあゆみ (全166ページ)	・狩りや漁の生活
	【オリエンテーション】 (4ページ)	・変わるくらしのようす
	1大昔のくらしと統一 (16ページ)	・米作りが広がったところ
	1大昔のくらし	・むらからくへ
	2国が統一される	◎室町時代について学習する単元
	2貴族の政治とくらし (16ページ)	4今に伝わる室町の文化と人々のくらし
	大きくジャンプ (2ページ)	【・オリエンテーション】
3武士による政治のはじまり (12ページ)	1室町文化が生まれる	
4今に伝わる室町の文化と人々のくらし (10ページ)	・金閣と銀閣を調べる	
大きくジャンプ (2ページ)	・今に伝わる室町文化	
5天下統一と江戸幕府 (20ページ)	・鎌倉・室町時代を生きた人々のくふうや努力	
6江戸の社会と文化・学問 (14ページ)	・ふりかえってみよう	
大きくジャンプ (2ページ)	大きくジャンプ	
7明治の新しい国づくり (14ページ)	◎江戸時代の文化・学問について学習する単元	
8国力の充実をめざす日本と国際社会 (16ページ)	6江戸の社会と文化・学問	
大きくジャンプ (2ページ)	【・オリエンテーション】	
9アジア・太平洋に広がる戦争 (16ページ)	1人々のくらしのようす	
10新しい日本へのあゆみ (18ページ)	・盛んになった産業	
大きくジャンプ (2ページ)	・力をつける町人	
さくいん (1ページ)	2町人文化と新しい学問	
歴史年表 (6ページ)	・町人文化の広がり	
第6学年下	教科書の中のいろいろなコーナー (1ページ)	◎国民の司法参加について扱う単元
	2わたしたちのくらしと政治 (全40ページ)	◎社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの中から、対象や事例を選択して学習する単元
	【オリエンテーション】 (2ページ)	2わたしたちのくらしと政治
	1わたしたちの願いと政治のはたらき (18ページ)	【・オリエンテーション】
	2わたしたちのくらしと憲法 (12ページ)	1わたしたちの願いと政治のはたらき
	●災害の発生と政治のはたらき (4ページ)	・増える高齢者
	●教訓を生かしたまちづくり (2ページ)	・高齢者のための取組み
	大きくジャンプ (2ページ)	・民生児童委員と高齢者福祉
	3世界のなかの日本とわたしたち (全42ページ)	・みんなの福祉と政治のはたらき
	【オリエンテーション】 (2ページ)	・福祉のための費用と税金
1日本とつながりの深い国々 (22ページ)	・税金の使いみちを決める区議会と選挙	
2国際連合のはたらきと日本人の役割 (16ページ)	・国の政治について調べる	
大きくジャンプ (2ページ)	・選挙制度の問題点	
さくいん (1ページ)	・ふりかえってみよう	